

MSMに対する有効なHIV検査提供と ハイリスク層への介入に関する研究

研究代表者

塩野 徳史 (大阪青山大学)

令和4(2022)年 3月

令和 **3** 年度

総括・分担研究
報告書

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究
総括・分担研究報告書

目 次

I. 総括研究報告	
MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究	1
	塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）
II. 分担研究報告	
1. 北海道における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	12
	塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）、他
2. 東北における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	21
	塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）、他
3. 首都圏における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	36
	金子典代（名古屋市立大学看護学部）、他
4. 東海における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	58
	金子典代（名古屋市立大学看護学部）、他
5. 近畿における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	79
	塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）、他
6. 中国・四国における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	94
	和田秀穂（川崎医科大学）、他
7. 九州における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	116
	塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）、他
8. 沖縄における MSM に対する検査提供と介入の効果評価	130
	健山正男（琉球大学大学院医学研究科）、他
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	156

MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究

研究代表者 塩野徳史 大阪青山大学健康科学部看護学科 准教授

研究要旨

研究目的

ゲイコミュニティが存在し、当事者を中心とした CBO と行政、医療者、研究者との協働体制が構築されている地域、あるいはその可能性が高い地域(北海道、東北、東京都・神奈川県・首都圏、愛知県・東海、大阪府・近畿、岡山県・中国、愛媛県・四国、福岡県・九州、沖縄県)で、より感染リスクの高い層やこれまで介入が届きにくかった層を対象とした検査機会を提供することとしていたが、自粛の影響をふまえ、保健所などの検査機会の現状を共有し、各地域で新たな有効な検査手法を検討し、その効果評価の体制を整備することとした。特に令和2年2月からの新型コロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は7割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。そこで各地域では、郵送検査キットを配布する取り組みを開始した。各地域の状況に合わせて、対面配布とWEB配布する方式を組み合わせ実施した。

研究結果の概要

初年度、各地域の連携のもと、郵送検査キットを1,053キット配布し、受検者アンケートに回答した人は1,048人であった。このうち、実際に利用した人は769人であり、配布数に占める利用者の割合は73.0%であった。このうち、結果画面を視認したと考えられる人は736人(95.7%)であった。新規のHIV陽性率は推定で1.8%、新規の梅毒陽性率は推定で5.6%であった。本年度は、郵送検査キットを1,893キット配布し、受検者アンケートに回答した人は2,016人であった。このうち、実際に利用した人は1,305人であり、配布数に占める利用者の割合は68.9%であった。このうち、結果画面を視認したと考えられる人は1,259人(96.5%)であった。新規のHIV陽性率は推定で0.9%、新規の梅毒陽性率は推定で3.6%であった。

その他、保健所以外の検査機会としては東海、近畿、中四国、沖縄地域でクリニックと協働した検査キャンペーンを実施し、現時点で、東海では3クリニック、年間総計57人が利用した(HIVの陽性2人、梅毒陽性は既往歴と新規感染合わせて12人)。近畿では12クリニック、年間総計233人が利用した(HIV陽性者4人、梅毒陽性は既往歴と新規感染合わせて51人、B型肝炎陽性者1人)。岡山では6クリニック、50人が利用した(HIV陽性6人、梅毒陽性は既往歴と新規感染合わせて14人)。沖縄では5クリニック、26人が利用した(HIV陽性1人)。また大阪ではコミュニティセンターで検査を年6回実施し、検査利用者は144人で、HIV新規陽性者2人、梅毒陽性者20人であった。

研究分担者氏名（所属研究機関名及び所属研究機関における職名）

研究 4 金子典代（公立大学法人名古屋市立大学 看護学部 准教授）

研究 6 和田秀穂（川崎医科大学 教授）

研究 8 健山正男（国立大学法人琉球大学 大学院 医学系研究科 准教授）

A. 研究目的

日本では MSM (men who have sex with men) におけるエイズ対策として、全国 6 ヶ所のコミュニティセンターが設置され、当事者性を活用し、HIV 抗体検査の自発的な受検勧奨を推進しており、MSM における受検割合は 7 割程度まで上昇している。一方で、現状の検査体制では対応できていない未診断感染者が一定程度存在することが指摘されている。世界では ART 普及の効果について、UNAIDS 主導でケアカスケード分析がおこなわれ、各国のエイズ対策の柱となっている。また、ART の早期導入は、HIV 感染症の生命予後が著しく改善されるだけでなく、パートナーへの感染予防効果も示され、「U=U」としてメッセージは広がり、HIV 感染症に対する恐怖やスティグマの低減に加え、受検行動にも影響を与えることが示唆されている。

日本の現状は、感染者の診断率が 6 割から 8 割程度と報告されており、達成目標である 9 割に届いていない。エイズ動向委員会の報告では、新規 HIV 感染報告における感染経路の 7 割は男性同性間の性的接触によるもので、加えて新規感染報告数に占める AIDS 患者割合が約 3 割であり、早期受検、早期治療の重要性をふまえると、MSM における HIV 抗体検査の受検勧奨は必須である。

CBO (Community based organization) が主体的になって取り組んだ検査事業では、陽性割合が保健所より高く、県レベルでの新規感染報告数に占める AIDS 患者割合の減少がみられるなど、一定の成果を得てきたが、日本

全体に影響を及ぼすには、提供できた検査機会が少ない。また、感染リスクの高い層には性行動が活発な人、未受検者や薬物使用者が内包され、都市部と地方の実態も異なる。先行研究では介入認知群の受検割合は 9 割に到達しつつあるが、非認知群では 5 割程度と低いことも明らかとなった。MSM では、これまでの介入が届きにくい層が存在しており、新たな知見を活用し、今後は、感染リスクの高い層に焦点をあてた介入を積極的に展開していく必要がある。加えて今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、新型コロナウイルス感染症の影響で、MSM の検査機会も減少し、エイズ発症割合も増加している。またコミュニティセンターの開館時間も大幅に短縮となり、ゲイ向け商業施設やイベントも激減し、啓発普及の変更を余儀なくされた。一方で保健所等の検査機会も縮小する場合も多く、潜在的な HIV 検査ニーズは高まっていた。郵送検査には自宅都合の良い時間に受けられるメリットもあるが、支援や情報提供が不足しがちになるデメリットもある。そのため本研究では、6 箇所のコミュニティセンターを中心に日本 9 地域で郵送検査やクリニック・診療所での検査を活用し、三密を避けながら保健所以外の場所で、検査を受けられる方策の整備および受検者アンケート体制の構築、オールジャパン統一で広報体制を構築することを目的とした。

B. 研究方法

ゲイコミュニティが存在し、当事者を中心とした CBO と行政、医療者、研究者との協働体制が構築されている地域、あるいはその可能性が高い地域(北海道、東北、東京都・神奈川県・首都圏、愛知県・東海、大阪府・近畿、岡山県・中国、愛媛県・四国、福岡県・九州、沖縄県)で、より感染リスクの高い層やこれまで介入が届きにくかった層を対象とした検査機会を提供することとしていたが、

自粛の影響をふまえ、保健所などの検査機会の現状を共有し、各地域で新たな有効な検査手法を検討し、その効果評価の体制を整備した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をふまえ、保健所などの検査機会の現状を共有し、各地域で新たな有効な検査手法を検討した。郵送検査やクリニック検査等、CBOが介在する保健所以外の検査機会利用前後には無記名自記式のアンケート調査をWEB上および紙面で実施し、その後の結果と一致させ、効果評価を行うことにした。

啓発介入で展開する検査提供が、意図した対象に提供されていたかを評価するために、受検機会を利用した人を対象に質問紙調査の準備を進め、受検経験・性行動などの受検者特性の把握および地域間比較、一部地域では保健所受検者との比較、初期の診断状況を把握する仕組みを検討した。データの集計および統計処理にはIBM SPSS Statistics 23 (Windows) を用いた。有意水準を5%未満とした。

(倫理面への配慮)

本研究は大阪青山大学倫理委員会、また研究分担者や研究協力者所属の研究機関に組織される倫理委員会の承認を得て実施される。ゲイ・バイセクシュアル男性やHIV陽性者は社会からの偏見・差別が強くこれらの点についての配慮が必要である。このため本研究では各地域の当事者を中心とした9地域のCBOやゲイコミュニティのキーパーソン、HIV陽性者当事者団体および支援団体と連携し、意見聴取を行いつつ、調査方法や介入内容を検討し、対象者が本研究参加によって性的指向や感染の有無による差別や偏見を受けないように配慮した。

本研究は血液検査が含まれており、協力依頼時には訓練された専門のスタッフが書面および口頭によって説明し、研究主体、研究目

的、調査参加の任意性、予想されるメリット、デメリット、厳密な個人情報の保護、不参加の際に不利益を受けないこと、途中での中止の自由について十分に理解を得たのちに同意を得たうえで実施する。結果判明後の診療・支援体制についても保健所と同等の環境を整備した上で研究を実施する。また研究結果については、関連学会や出版物などで個人が特定されないように処理したデータの分析結果のみを公表することを説明する。

C. 研究結果

本報告では、各地域で取り組まれた保健所以外の検査機会の拡大における取り組みについて報告する。

研究1 北海道におけるMSMに対する検査提供と介入の効果評価

道内8か所で配布場所を設定し、対面配布で161キット、個別に6キット、WEB配布50キットも組み合わせ、総計217キットを配布した。アンケートに回答し、有効回答であったものは156名であった。95.5%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は3件、梅毒の陽性件数は25件(既感染も含む)であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者95名の属性については、30歳未満が24.2%を占めた。北海道居住者が98.9%であった。生涯初の検査経験割合は32.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち64.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は58.9%を占めた。今回は2回目の取り組みであったが、当事者団体2団体が協力し、道内広域にわたる配布会が実施できた。また広報については仙台地域とも連携できることで効果を発揮できた。

研究2 東北におけるMSMに対する検査提供と介入の効果評価

総計206キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布27件、WEBでの配布が179件であった。

アンケートに回答し有効回答であったものは168名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは126名であった。97.6%が結果サイトにログインしていた。

HIV陽性件数は1件、梅毒の陽性件数は13件（既感染も含む）であった。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た12名においては、30歳未満が8.3%を占めた。東北地域の居住者が100.0%であった。生涯初の検査経験割合は25.0%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち41.7%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は41.7%を占めた。

WEB配布かつID連結の同意を得た62名においては、30歳未満が48.4%を占めた。東北地域の居住者が95.2%であった。生涯初の検査経験割合は22.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち45.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は50.0%を占めた。

東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特にWEBでの申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなった。

研究3 首都圏におけるMSMに対する検査提供と介入の効果評価

東京地域では総計387キットを配布した。コミュニティセンターaktaでの対面配布のみであった。今年度も予約サイトを活用し密を避けて対面での説明を加え対応を行った。

キット受け取り者のうち、実際に検体を郵送会社に郵送したものは314名であった。97.1%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は6件、梅毒の陽性件数は37件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者260名の属性については、29歳以下が28.8%を占めた。アンケート回答者588名においては、東京都の居住者が63.1%であった。検体を送付した260名のうち、生涯初の検査経験割合は15.0%、過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち58.5%であった。キットを受け取り、検体を送付したもののうちMSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は46.9%を占めた。

神奈川地域では、総計174キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布61件、WEBでの配布が113件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

アンケートに回答したものは181名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは130名であった。98.5%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は3件、梅毒の陽性件数は24件（既感染も含む）であった。アンケートに回答した者204名の属性については、40歳未満が77.4%を占めた。南関東地域の居住者が53.4%、東京都の居住者が33.2%であった。204名のうち、これまでに検査を受けたことがないものの割合は26.0%、過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち61.9%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は59.6%を占めた。

研究4 東海におけるMSMに対する検査提供と介入の効果評価

クリニック検査については、広域の地方圏である岐阜市内の利便性が高いクリニックから協力の承諾を得て、検査提供を行った。また名古屋市の利便性の高い繁華街の性感染症クリニックのみならず新たに三河地域においても新規のクリニックを開拓し協力を得た。3クリニックで総計57名の利用があった。

年間のHIVの陽性件数は2件であった。梅毒は既往歴と新規感染合わせて12名の陽性が見られた。

ゆうそう検査は総計75キットを配布した。コミュニティセンターriseでの対面配布が15件、WEBでの配布が60件であった。アンケートに回答したものは75名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは57名であった。HIV陽性件数は0件、梅毒の陽性件数は7件（既感染も含む）であった。郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た14名においては、30歳未満が14.3%を占めた。東海地域の居住者が100.0%であった。生涯初の検査経験割合は7.1%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち21.4%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は35.7%を占めた。WEB配布かつID連結の同意を得た31名においては、30歳未満が25.8%を占めた。東海地域の居住者が58.1%であった。生涯初の検査経験割合は35.5%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち80.6%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は51.7%を占めた。

今年度も新型コロナウイルス感染症に伴う自粛宣言に対応しながら、クリニック検査とゆうそう検査の同時進行にはマンパワーの課題があったが、今後よりよい棲み分け法も考え検討していく必要がある。

研究5 近畿におけるMSMに対する検査提供と介入の効果評価

大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『distaでピタッとちえっくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施し、ゆうそう検査機会の拡大も継続した。

distaでピタッとちえっくんの利用者は144人で、HIV新規陽性者2人、梅毒陽性者20人であった。¥0性病検査！頼れる街のお医者さんの利用者はI期が120人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者30人、B型肝炎陽性者0人であった。II期は113人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者21人、B型肝炎陽性者1人であった。

ゆうそう検査は総計200キットを配布し、実際に検体を郵送会社に郵送したものは83人であった。そのうち97.6%が結果にログインしていた。HIV陽性件数2件（推定新規陽性率1.7%）、梅毒の陽性件数10件（既感染も含む）（推定新規陽性率1.7%）であった。検体を郵送した83人のうち、60人はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た22名においては、30歳未満が18.2%を占めた。近畿地域居住者が95.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は13.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち63.6%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は22.7%であった。

WEB配布かつID連結の同意を得た38人においては、30歳未満が15.8%を占めた。近畿地域の居住者が89.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は15.8%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち34.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあま

り知らない人・全く知らない人の割合は 39.5%であった。

新型コロナウイルス感染症に伴う自粛や休業に対応しながらのゆうそう検査の進行には困難、課題があったが、今後クリニック検査やセンターで実施している検査提供プログラムと棲み分け法も考えつつ最適な検査提供モデルを検討していく必要がある。

研究 6 中国・四国における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

クリニック検査の促進に関する研究では、初年度岡山県ではクリニック検査（もんげー性病検査）を継続できたが、中国・四国の他地域ではコロナ禍の影響で展開が困難であった。今年度は、他地域でクリニック検査の協力機関を増やし実施した。今年度も岡山県ではクリニック検査を継続し、夏季に 50 件の利用があり、HIV 陽性 6 名（12.0%）、梅毒陽性 14 名（28.0%）であり、リスクの高い層の受検機会につながったことが考えられる。

また、2020 年 12 月までの保健所・拠点病院・クリニックでの受検者アンケートの解析を進め、受検者数は減少しているが、MSM 割合ではあまり変化はみられなかったことから、コロナ禍であっても感染リスクの高い層は受検している可能性が示唆された。

郵送検査の促進に関する研究では 2 期に分けて合計 300 セットを配布した。アンケートに回答した人は 364 名であり、有効回答は 351 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 201 名であった。郵送検査利用者のうち、97.5%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 2 件（推定新規陽性率 0.8%）、梅毒の陽性件数は 27 件（既往歴も含む）（推定新規陽性率 3.3%）であった。

検体を郵送した 201 名のうち、121 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 121 名においては、

30 歳未満が 36.4%を占めた。中国・四国地域の居住者が 60.3%、近畿地域が 28.1%、九州地域が 10.8%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 40.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 68.6%であった。MSM 対象予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 63.7%であった。

中国四国地域では、MSM コミュニティでの生涯の HIV 抗体検査受検割合は他地域より低い割合で推移していることが報告されており、コミュニティセンターがないため安定的な活動が難しい現状がある。本研究で実施している郵送検査キット配布の取り組みの利用者では、これまでの受検経験のない人の割合が 40.5%と高く、リスクの高い層に訴求している可能性を示唆している。

研究 7 九州における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

総計 186 キットを配布した。実際にアンケートに回答したものは 217 名であり、有効回答は 197 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 117 名であった。そのうち 95.8%が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件（推定新規陽性率 1.2%）、梅毒の陽性件数は 19 件（既往歴も含む）（推定新規陽性率 3.6%）であった。検体を郵送した 68 名のうち、83 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については対面配布かつ ID 連結の同意を得た 20 名においては、30 歳未満が 50.0%を占めた。九州地域の居住者が 95.0%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 15.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 30.0%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 20.0%であった。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 63 名に

においては、30歳未満が25.4%を占めた。九州地域の居住者が69.8%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は30.2%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち58.7%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は52.4%であった。

九州地域で、対面型とWEBでの検査キットの配布を組み合わせ実施し予定数をすべて配布した。2年目の試みであったが、入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型では不安を軽減する工夫を行い、WEB配布については特設サイトを開設し、必要な情報提供を心掛け計画通りに実施できた。

研究8 沖縄におけるMSMに対する検査提供と介入の効果評価

初年度から継続して取り組んだクリニック検査キャンペーンでは、WEB予約制を導入し、募集枠80人に対して、78人の応募があり、最終的には26人が受検した。アンケート回収率は97.5% (78/80) であった。99%が日本人で、58%が那覇市以南の居住者であった。

初回検査歴は26%であるが、既検査歴者でも2年以上経過した者は39%であった。過去6カ月間に2人以上の複数のパートナーとセックス歴の有る者は72%であった。PrEP (プレップ) 経験者は12%であった。スクリーニング検査結果はHIV陽性1件、梅毒は0件であった。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、予約に占める実受検者の割合は、前年度の78%から大幅に低下した。これはCOVID-19患者数が全国1蔓延し、自粛が強化されたことが原因と考えられる。PrEP経験有無は、有りが12%と予想外に県内でも1割強が実施している実態が明らかとなり、今後は医療機関におけるPrEP実施者に対する外来診療の受け入れ体制も必要となると予想された。キャンペ

ーン告知初期から予約枠が速やかに埋まった理由として、保健所でのHIV検査が中止、縮小されても、強いHIV検査のニーズがあったことが示唆する。また専用サイトで時間、場所に関係なく匿名性を保った形でのID取得ができることが要因として考えられた。

郵送検査キットの配布では総計148キットを配布した。アンケートに回答したものは130名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは117名(79.1%)であった。そのうち92.3%が結果にログインしていた。HIV陽性件数は2件、梅毒の陽性件数は23件(既感染も含む)であった。

HIV陽性件数は2件、梅毒の陽性件数は23件(既感染も含む)であった。検体を郵送した117名のうち、29名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については対面配布かつID連結の同意を得た38名においては、30歳未満が23.7%を占め、沖縄県の居住者が92.1%であった。生涯初の検査経験割合は18.4%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち68.4%であった。MSM対象予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は42.1%を占めた。

WEB配布かつID連結の同意を得た40名においては、30歳未満が42.5%を占め、沖縄県の居住者が82.5%であった。生涯初の検査経験割合は22.5%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち62.5%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は50.0%を占めた。

郵送検査の受検利用者では、沖縄県在住者が高く、地域での配布のニーズが示唆された。初受検者の割合も高く、新規のHIVスクリーニング陽性率1.3%、梅毒は推定スクリーニング陽性率5.7%であり、感染リスクの高い層にリーチしていることが考えられる。したがって、陽性になった場合の受診行動の促進

への取り組みも重要であると考える。

D. 考察

本研究で実施した郵送検査の取り組みについて、初年度は各地域連携のもと、郵送検査キットを1,053キット配布し、実際に利用したのは769人、配布数に占める利用者の割合は73.0%であった。新規HIV陽性率は1.8%、梅毒陽性率は14.7%であった。今年度もおよそ2ヵ月間の配布で、継続あるいは配布方法の選択肢を増やし、12月末時点で、郵送検査キットを1,801キット配布し、実際に利用したのは1,028人、配布数に占める利用者の割合は57.1%であった。新規HIV陽性率は1.9%、梅毒陽性率は14.2%であった。

今年度も、ゲイコミュニティが存在し、当事者を中心としたCBOと行政、医療者、研究者との協働体制が構築されている地域、あるいはその可能性が高い地域で、より感染リスクの高い層やこれまで介入が届きにくかった層、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で定期受検が受けられなかった層を対象として検査機会を提供した。人的資源を鑑み、統一した広報も試行したが、結果的に地域の実状に併せてTwitter等のSNSでの広報を組み合わせで行った。受検者アンケートの結果は解析中であるが、HIV新規陽性率は前年度と同様であり、感染リスクの高い層に訴求効果があったと考えられる。

初年度に実施した二段層化抽出法を用いた形成調査(n=3,205)より、これまでのHIV検査経験は32.5%であり、過去1年間では15.1%、保健所即日検査13.1%、クリニック6.6%、郵送検査2.3%であった。CBOは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下でも、年1回の定期受検を啓発しており、本研究の効果により、クリニックでの受検者や郵送検査利用者が増加することが期待される。

CBOが協働した保健所以外の検査は、本研究開始以前には全国で約1,000件であった。

本研究ではその4倍の検査機会を、より感染リスクの高いMSMに提供することを目標としている。初年度、今年度は予算の関係で、全体で1,000件程度にとどまっているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で既存の検査機会が失われた状況を鑑み、感染拡大以前の水準を維持できたと考えられる。また受検者の特性では、感染リスクの高い層が受検していることが示唆されており、感染対策としての意義はある。

自粛や商業施設の休業に伴い、MSMコミュニティ全体の検査行動が減退しているため、twitter等のSNSを活用した効果的な介入方法を検討し、最終年度も継続して実施していくが重要である。

E. 結論

各地域の取り組みは、年に数回コミュニティセンターやMSM ALL JAPAN.会議において、その成果を還元してきた。そのため、先行事例である診療所・クリニックと連携した検査機会や郵送検査を活用した検査プログラムの手法については実践可能な状況であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定していた対面での打合せ等が進まず、進行が遅くなった。そのため、これまでに提供できた検査件数は目標を下回る結果となった。一方でコミュニティの状況やHIV/AIDSや検査に対する意識も変化していることが指摘されている。各地域の行政も対応に追われており、MSMコミュニティにおけるHIV検査の機会は減少している。またエイズ発症割合も高くなっていると報告されており、検査ニーズはより高まっていると考えられる。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 金子典代, 塩野徳史. コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2):78-86, 2021.
- 2) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代. MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1):18-25, 2021.
- 3) 金子典代, 塩野徳史. MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3):136-146, 2021.
- 4) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa. Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan. AIDS

care : 1-8. 2020.

- 5) 細川陸也, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 阿部桜子, 片倉直子, 若林チヒロ, 大木幸子, 山内麻江, 塩野徳史, 米倉佑貴, 大島岳, 高久陽介. HIV 陽性者の子どもを持つことへの思いと医療機関における相談・情報提供の実状. 日本エイズ学会誌, 22(2) : 87-99, 2020.

2. 学会発表

- 1) ○塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京
- 2) ○塩野徳史. HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

各地域の状況

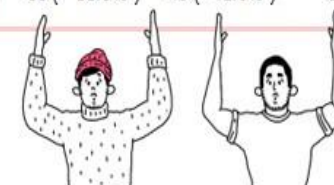
2021年9月21日～2022年1月31日



地域	北海道	東北	東京	神奈川	愛知	大阪	中国・四国	福岡	沖縄	計
CBO	にじいろ ほっかいどう	やろっこ	NPO法人akta	NPO法人SHIP	ANGEL LIFE NAGOYA	mash大阪	HaaTえひめ /BRIDGE	魅惑的倶楽部 福岡支部	nankr沖縄	
コミュニティセンター	-	ZEL	akta	-	rise	dista	-	HACO	mabui	
a 配布総数	217	206	387	174	75	200	300	186	148	1,893
対面配布数	167	27	387	61	15	132		36	59	884
WEB配布数	50	179		113	60	68	300	150	89	1,009
b 受検者アンケート回答者数	156	168	559	181	90	92	351	197	122	1,916
c 利用者数；郵送検査会社での受付数	157	126	314	130	57	83	201	120	117	1,305
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)	72.4%	61.2%	81.1%	74.7%	76.0%	41.5%	67.0%	64.5%	79.1%	68.9%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	150 (95.5%)	123 (97.6%)	305 (97.1%)	128 (98.5%)	53 (93.0%)	81 (97.6%)	196 (97.5%)	115 (95.8%)	108 (92.3%)	1,259 (96.5%)
抗体検査結果	*重複感染（2名）		*重複感染（1名）		*重複感染（1名）		*重複感染（2名）		*重複感染（6名）	
<input type="checkbox"/> HIV感染症										
e 判定不能者数（割合 e/c）	3 (1.9%)	3 (2.4%)	4 (1.3%)	1 (0.8%)	1 (1.8%)	1 (1.2%)	2 (1.0%)	2 (1.7%)	1 (0.9%)	18 (1.4%)
f 陽性数（割合 f/c）	3 (1.9%)	1 (0.8%)	6 (1.9%)	3 (2.3%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)	2 (1.0%)	3 (2.5%)	2 (1.7%)	22 (1.7%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	3.7 (1.2%)	1.2 (0.9%)	0.0 (0.0%)	1.4 (1.7%)	1.6 (0.8%)	1.4 (1.2%)	1.5 (1.3%)	11.6 (0.9%)
<input type="checkbox"/> 梅毒										
g 判定不能者数（割合 g/c）	6 (3.8%)	5 (4.0%)	11 (3.5%)	1 (0.8%)	2 (3.5%)	4 (4.8%)	7 (3.5%)	4 (3.3%)	6 (5.1%)	46 (3.5%)
h 陽性数（割合 h/c）	25 (16.6%)	13 (10.7%)	37 (12.2%)	24 (18.6%)	7 (12.7%)	10 (12.7%)	27 (13.9%)	19 (16.4%)	23 (20.7%)	185 (14.7%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	4.7 (3.1%)	6.5 (5.4%)	8.2 (2.7%)	7.2 (5.6%)	1.2 (2.2%)	1.3 (1.7%)	6.4 (3.3%)	4.2 (3.6%)	5.7 (5.1%)	45.3 (3.6%)
i 追跡可能者実数；無料ID使用者数（割合 i/c）	96 (61.1%)	74 (58.7%)	260 (82.8%)	107 (82.3%)	45 (78.9%)	60 (72.3%)	121 (60.2%)	83 (69.2%)	78 (66.7%)	924 (70.8%)
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）	117 (74.5%)	80 (63.5%)	219 (69.7%)	88 (67.7%)	45 (78.9%)	59 (71.1%)	131 (65.2%)	88 (73.3%)	74 (63.2%)	901 (69.0%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）	80 (51.0%)	49 (38.9%)	190 (60.5%)	76 (58.5%)	38 (66.7%)	44 (53.0%)	87 (43.3%)	66 (55.0%)	49 (41.9%)	679 (52.0%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検（6名）の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

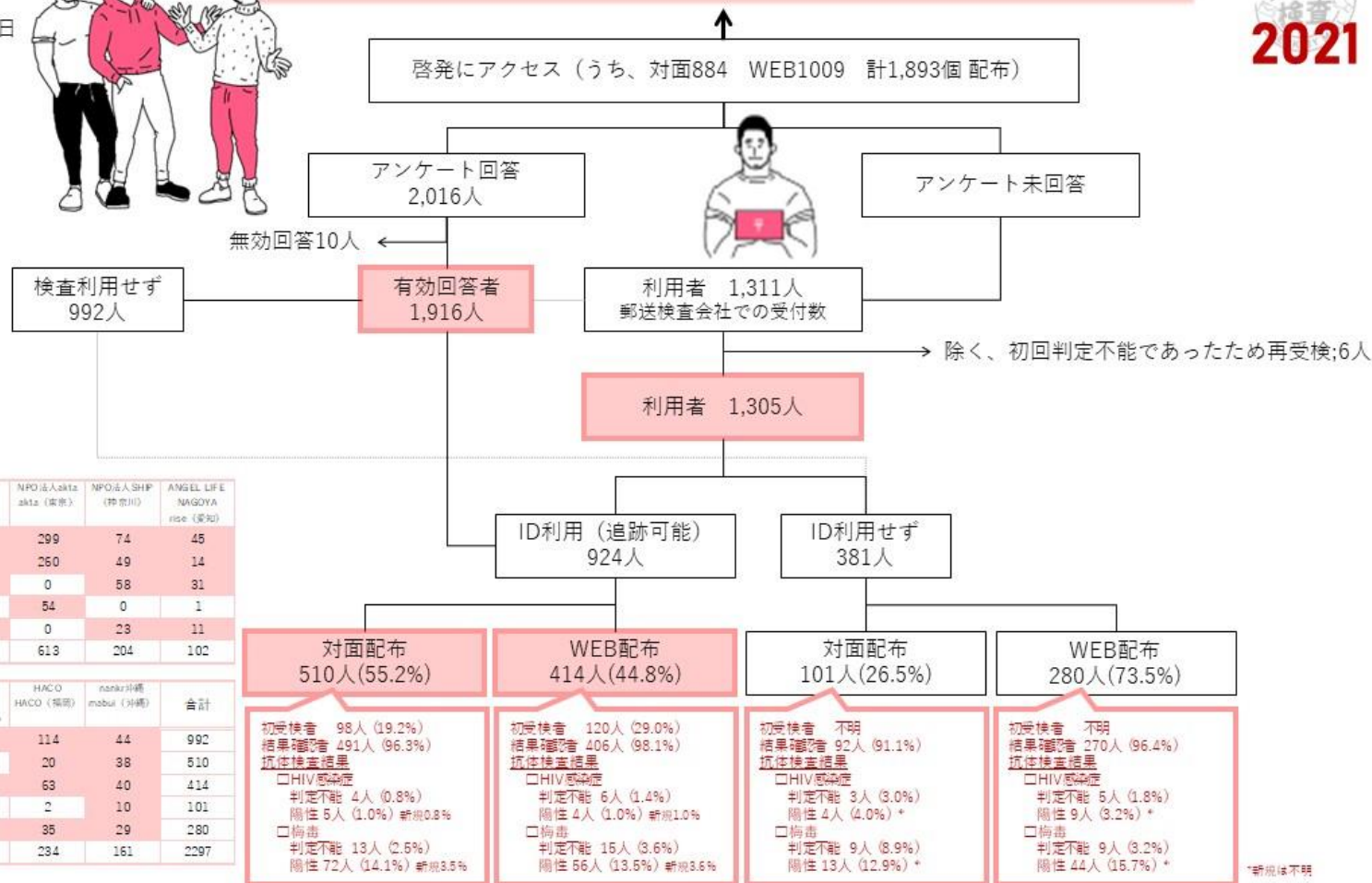


分析対象の概要

2021年9月21日~2022年1月31日
年齢・居住地が不一致な場合も含む



介入対象・MSM & ゲイコミュニティ



*新規は不明

	にじいろ ほっかいどう (北海道)	やろっこ ZEL (東北)	NPO法人akta akta (関東)	NPO法人SHP (神奈川)	ANGEL LIFE NAGOYA rise (愛知)
アンケート回答のみ	60	94	299	74	45
ID使用/対面配布	95	12	260	49	14
ID使用/WEB配布	1	62	0	58	31
ID不使用/対面配布	23	3	54	0	1
ID不使用/WEB配布	38	49	0	23	11
合計	217	220	613	204	102

	mash大塚 data (大阪)	H&A T&E 大地 /BRIDGE (中興・四国)	HACO HACO (福岡)	nanaku沖縄 mobius (沖縄)	合計
アンケート回答のみ	32	230	114	44	992
ID使用/対面配布	22	0	20	38	510
ID使用/WEB配布	38	121	63	40	414
ID不使用/対面配布	8	0	2	10	101
ID不使用/WEB配布	15	80	35	29	280
合計	115	431	234	161	2297

北海道における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：国見亮佑（にじいろほっかいどう）

研究要旨

道内 8 か所で配布場所を設定し、対面配布で 161 キット、個別に 6 キット、WEB 配布 50 キットも組み合わせ、総計 217 キットを配布した。

アンケートに回答し、有効回答であったものは 156 名であった。95.5%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件、梅毒の陽性件数は 25 件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 95 名の属性については、30 歳未満が 24.2%を占めた。北海道の居住者が 98.9%であった。生涯初の検査経験割合は 32.6%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 64.2%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 58.9%を占めた。今回は 2 回目の取り組みであったが、当事者団体 2 団体が協力し、道内広域にわたる配布会が実施できた。また広報については仙台地域とも連携できることで効果を発揮できた。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。

また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。北海道地域では、会場を借りての対面配布と WEB にて配布する方式を組み合わせることで実施した。

B. 研究方法

帯広、札幌、北見、釧路、旭川、函館の計 8 か所、8 日間にわたる配布会を設定した。

受け取り希望者には、google フォームの申し込みサイトを作成し、そのサイトから申し込みをしてもらい、研究協力者が申し込み内容を確認した上で、検査時間や場所、アンケートの協力の依頼をメールで送信した。パソコンからのメールが届かないトラブルがあったので、携帯電話番号を任意で記入してもらうことにした。

広報については、初めの段階ではにじいろほっかいどうの公式サイトと twitter で告知していた。札幌での配布のときには、コミュニティ内の有力者に拡散を依頼した。9 月から東北と北海道で連携したかたちで、アプリ広告を出し、その後研究班独自の広報サイトでの広報に移行させた。地方での配布の前にゲイ向け商業施設へポスターを郵送し、掲示板に広告を掲出した。

会場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後にキットを受け渡す方法をとった。

相談については、キット対面での配布時もスタッフが常駐して対応、また WEB 配布分について、利用方法等、相談があった際は、メールで対応を行った。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1) 検査キットの配布日・配布件数

対面では、9月19日から12月12日にかけて配布した。受け取り者は167名であった。アプリ広告の効果は大きかった。札幌の申し込みが殺到し、150個では足りなくなってしまった。緊急事態宣言中で他の検査場が閉鎖されていたのもあるが、ゆうそう検査が知られてきていることもある。

今年度は配布当初からにじいろほっかいどうとレッドリボンさっぽろのスタッフで配布することとしていた。札幌では一緒に、地方ではそれぞれ担当を分けて行った。

表1 郵送検査キットの配布概要（対面配布）

	配布場所	配布日	担当者数	申込者数	受取者数	初受検者数
①	札幌1 (市民活動プラザ)	9/19	3名	23名	21名	4名
②	札幌2 (サークルさっぽろ)	9/20	5名	79名	69名	23名
③	北見 (北見経済センター)	9/25	1名	3名	2名	0名
④	帯広 (とがちプラザ)	10/2, 3	1名	24名	19名	5名
⑤	旭川 (旭川市民文化会館)	10/2, 3	2名	18名	15名	6名
⑥	釧路 (まなぼつと幣舞)	10/9, 10	1名	9名	7名	1名
⑦	函館 (亀田交流プラザ)	10/9, 10	2名	16名	13名	3名
⑧	札幌3 (中央区民センター)	12/12	3名	21名	15名	2名
計	道内8箇所	8日間		193名	161名	44名

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

道内8か所で配布場所を設定し、対面配布で161キット、個別に6キット、WEB配布50キットも組み合わせ、総計217キットを配布した。

アンケートに回答し、有効回答であったものは156名であった。95.5%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は3件、梅毒の陽性件数は25件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者95名の属性については、30歳未満が24.2%を

占めた。北海道の居住者が98.9%であった。生涯初の検査経験割合は32.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち64.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は58.9%を占めた。

WEB配布でIDを使用している人は数が少なく分析は難しかった。

表2 郵送検査利用者の概要

	地域	北海道
	CBO	にじいろほっかいどう
	コミュニティセンター	-
a 配布総数		217
対面配布数		167
WEB配布数		50
b 受検者アンケート回答者数		156
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		157
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		72.4%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		150（95.5%）
抗体検査結果		*重複感染（2名）
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		3（1.9%）
f 陽性数（割合 f/c）		3（1.9%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		0.0（0.0%）
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		6（3.8%）
h 陽性数（割合 h/c）		25（16.6%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		4.7（3.1%）
i 追跡可能者実数；無料ID使用者数（割合 i/c）		96（61.1%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		117（74.5%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		80（51.0%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

D. 考察

キット確保数については、対面配布用として180個（当初150個準備・追加30個）、web配布用として50個確保した。札幌の申し込みが殺到し、150個では足りなくなってしまった。緊急事態宣言中で他の検査場が閉鎖されていたのもあるが、ゆうそう検査が知られてきていることもあるので、もし今後行うのであれば、個数を多めに確保したい。

配布時の反応については、9月の札幌は緊急事態宣言下での配布だったので、「検査したかったので開催してくれてありがたい」との声が多くあった。地方での配布では、月に1度の保健所検査しかない地域も多く、気軽に検査が受けられると好評であった。この「ゆうそう検査」

で初めて HIV 検査を受ける人からは、HIV に感染した場合の対応や、感染防止の方法などについての質問があった。1 人の対応時間が 20 分だったので、時間が足りずに十分にお答えをすることができない時もあったが、おおむね時間内に説明配布を終了することができた。

広報活動については、にじいろほっかいどうの公式サイトと twitter で告知をしたほか、やろっこと共同で 9 月の 3 週間に GPS 付アプリ広告掲出をした。GPS 付アプリ広告を出すことが決まっていたので、広告で宣伝ができる期間に配布を集中させた。地方での配布については、地方の商業施設でのポスター掲出を行った。

配布にあたっては、札幌市内の商業施設でのポスター掲出、掲示板への広告掲出（有料）、「札幌ハッテン掲示板」への広告掲出（無料）を行った。広告の効果について、GPS 付アプリ広告は北見・釧路では限定的であったが、それ以外では非常に効果が大きかった。今後も GPS 付アプリ広告を出す時期に配布を集中させることにする。商業施設でのポスター掲出、はほとんど効果がなかった。「ハッテン場掲示板」は効果があったので、今後も協力をお願いする。

配布場所の選定について、9 月下旬の配布について、当初札幌市・北見市の公共施設を予約していたが、緊急事態宣言の発出により施設が閉鎖されたため、場所を変更して行った。場所の選定や調整に時間がかかったが、確保することができた。

保健所・拠点病院との連携について、「ゆうそう検査」の開催について、レッドリボンさっぽろから北海道内の保健所と拠点病院にお知らせを送付した。郵送検査キットの精度への疑問などから協力を断ってきた機関があり、関係機関との連携に課題が残った。日常的に関係機関との信頼関係の構築を行うことが必要である。

また、web 申し込みの住所を選ぶ欄が都道府県単位になっている。道内は広いので「北海道」だけではどの地域からの申し込みかわからない。web 申し込みが多く、対面配布をしていない地域が分かれば、そこでの配布も検討できる。北海道を 14 に分ける「振興局単位」か、4 つに分ける「道央・道南・道北・道東」が選べるようになれば傾向がわかる。来年度以降ゆうそう検査を行うのであれば検討した方がよいと思われた。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあった。

東北・北海道広域連携のアプリ広告は、北海道地域でも申し込み件数増加に効果が高かった。HIV 郵送検査キットの配布のお知らせが全面に出っていたので、申し込みやすかったのではないかと考えられる。にじいろほっかいどうのみならず、札幌で長く活動している NPO 法人レッドリボンさっぽろとも協働できたことで、北海道内での HIV 予防啓発の活性化につながったと考えられた。

MSM ALL JAPAN のメンバーからも、配布の進め方を相談したり、啓発資材を供与してもらう、受検者に説明する内容を相談したり、連携、協力ができたことが非常に有意義であった。

E. 結論

北海道地域で、にじいろほっかいどうとレッドリボンさっぽろの 2 つの団体が協働し、ゆうそう検査キットの配布を実施した。新型コロナ感染症拡大の中、状況が読めない状況が続く中、211 キットの配布ができた。保健所の検査機会が少なくなっているばかりでなく、北海道という地域性を考慮すると、CBO が検査機会を創出し、検査行動を促進する取り組みは重要である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.
DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya,

Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

3. 学会発表（国内）

- 1) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代：成人前期（20 歳代）MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 2) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス. GID 学会第 23 回研究大会・総会, WEB 開催, 2022

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用						
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
にじいろほっかいどう（北海道）	60	6.0%	95	18.6%	1	0.2%	23	22.8%	38	13.6%	217	9.4%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			42	44.2%			2	8.7%	0	0.0%	44	28.2%	<0.01
2021年10月			31	32.6%			1	4.3%	6	15.8%	38	24.4%	
2021年11月			4	4.2%			1	4.3%	9	23.7%	14	9.0%	
2021年12月			9	9.5%			6	26.1%	13	34.2%	28	17.9%	
2022年1月			9	9.5%			13	56.5%	10	26.3%	32	20.5%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%			0	0.0%	3	7.9%	3	1.9%	0.04
陰性だった			93	97.9%			23	100.0%	34	89.5%	150	96.2%	
判定不能			2	2.1%			0	0.0%	1	2.6%	3	1.9%	
再罹患			0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			1	1.1%			0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.03
初めて陽性と知った			3	3.2%			4	17.4%	6	15.8%	13	8.3%	
陰性だった			77	81.1%			17	73.9%	31	81.6%	125	80.1%	
判定不能			3	3.2%			2	8.7%	1	2.6%	6	3.8%	
再罹患			11	11.6%			0	0.0%	0	0.0%	11	7.1%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			3	3.2%			3	13.0%	1	2.6%	7	4.5%	0.10
既読			92	96.8%			20	87.0%	37	97.4%	149	95.5%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
年齢階級（10歳区分）													
29歳以下	15	25.0%	23	24.2%			6	26.1%	15	39.5%	59	27.3%	0.76
30-39歳	18	30.0%	29	30.5%			9	39.1%	12	31.6%	68	31.5%	
40-49歳	17	28.3%	25	26.3%			7	30.4%	7	18.4%	56	25.9%	
50-59歳	9	15.0%	15	15.8%			1	4.3%	4	10.5%	29	13.4%	
60歳以上	1	1.7%	3	3.2%			0	0.0%	0	0.0%	4	1.9%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	216	100.0%	

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布			
居住地												
北海道	59	98.3%	94	98.9%	9	75.0%	22	88.0%	184	95.8%	<0.01	
東北	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%		
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
東京	1	1.7%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	2	1.0%		
南関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
東海	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	0.5%		
近畿	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	0.5%		
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
九州	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.0%	3	1.6%		
合計	60	100.0%	95	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	192	100.0%		
国籍												
日本	60	100.0%	93	97.9%					153	98.7%	0.52	
アジア	0	0.0%	2	2.1%					2	1.3%		
欧米	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%		
その他	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%		
合計	60	100.0%	95	100.0%					155	100.0%		
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。												
中心市街地			51	64.6%	6	50.0%	19	76.0%	76	65.5%	0.07	
郊外住宅地			21	26.6%	6	50.0%	3	12.0%	30	25.9%		
農村地域・漁村地域			7	8.9%	0	0.0%	1	4.0%	8	6.9%		
山間部			0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	0.9%		
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
無回答			0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	0.9%		
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	116	100.0%		
性別												
男性	60	100.0%	93	97.9%	23	100.0%	38	100.0%	214	99.1%	0.86	
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
トランスジェンダー	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%		
その他	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%		
合計	60	100.0%	95	100.0%	23	100.0%	38	100.0%	216	100.0%		
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。												
はい			1	1.3%	0	0.0%	3	12.0%	4	3.4%	0.08	
いいえ			77	97.5%	12	100.0%	21	84.0%	110	94.8%		
無回答			1	1.3%	0	0.0%	1	4.0%	2	1.7%		
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	116	100.0%		
居住形態												
独居	38	63.3%	53	55.8%					91	58.7%	0.40	
同居	22	36.7%	42	44.2%					64	41.3%		
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%		
合計	60	100.0%	95	100.0%					155	100.0%		

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	34	56.7%	64	67.4%			98	63.2%	0.23
ない（今回が初めての検査）	26	43.3%	31	32.6%			57	36.8%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	15	25.0%	34	35.8%			49	31.6%	0.21
ない	45	75.0%	61	64.2%			106	68.4%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）									
保健所	5	8.3%	16	16.8%			21	13.5%	0.36
病院/クリニック	7	11.7%	5	5.3%			12	7.7%	0.05
郵送検査	2	3.3%	24	25.3%			26	16.8%	<0.01
その他	4	6.7%	1	1.1%			5	3.2%	0.04
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）									
ゲイバー	15	25.0%	26	27.4%			41	26.5%	0.85
ゲイベント	1	1.7%	1	1.1%			2	1.3%	1.00
ゲイショップ	1	1.7%	1	1.1%			2	1.3%	1.00
有料のハッテン場	14	23.3%	20	21.1%			34	21.9%	0.84
野外のハッテン場	13	21.7%	13	13.7%			26	16.8%	0.27
いずれもない	30	50.0%	51	53.7%			81	52.3%	0.74
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）									
Twitter	19	31.7%	32	33.7%			51	32.9%	0.86
Instagram	4	6.7%	4	4.2%			8	5.2%	0.71
VERO	7	11.7%	6	6.3%			13	8.4%	0.25
9monsters	54	90.0%	78	82.1%			132	85.2%	0.25
Men's Net Japan	4	6.7%	8	8.4%			12	7.7%	0.77
KO-MENSTV	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
その他	3	5.0%	7	7.4%			10	6.5%	0.74
いずれもない	5	8.3%	10	10.5%			15	9.7%	0.78
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。									
受け取っていない	59	98.3%	77	81.1%			136	87.7%	<0.01
受け取ったけど、利用していない	0	0.0%	1	1.1%			1	0.6%	
受け取って、利用した	1	1.7%	17	17.9%			18	11.6%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。									
よく知っている	7	11.7%	11	11.6%			18	11.6%	0.82
少し知っている	18	30.0%	28	29.5%			46	29.7%	
あまり知らない	23	38.3%	42	44.2%			65	41.9%	
全く知らない	12	20.0%	14	14.7%			26	16.8%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況							Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用		合計		
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？									
ある	54	90.0%	89	93.7%			143	92.3%	0.54
ない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	11	18.3%	14	14.7%			25	16.1%	0.55
友達やセフレ	35	58.3%	60	63.2%			95	61.3%	0.67
その場限りの相手	32	53.3%	51	53.7%			83	53.5%	0.69
その他	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0.54
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。									
ある	43	71.7%	77	81.1%			120	77.4%	0.39
ない	11	18.3%	12	12.6%			23	14.8%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。									
ある	18	30.0%	23	24.2%			41	26.5%	0.45
ない	36	60.0%	66	69.5%			102	65.8%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。									
ある	10	16.7%	16	16.8%			26	16.8%	0.70
ない	44	73.3%	73	76.8%			117	75.5%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。									
ある	2	3.3%	0	0.0%			2	1.3%	0.13
ない	52	86.7%	89	93.7%			141	91.0%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。									
ある	0	0.0%	1	1.1%			1	0.6%	0.52
ない	54	90.0%	88	92.6%			142	91.6%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。									
ある	0	0.0%	2	2.1%			2	1.3%	0.38
ない	54	90.0%	87	91.6%			141	91.0%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況									
非常用	43	71.7%	68	71.6%			111	71.6%	0.64
常用	11	18.3%	21	22.1%			32	20.6%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	

表7 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用				ID不使用					合計
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。												
とてもよく知っている	7	11.7%	23	24.2%						30	19.4%	0.16
具体的には知らないが、聞いた	41	68.3%	56	58.9%						97	62.6%	
まったく知らない	12	20.0%	16	16.8%						28	18.1%	
合計	60	100.0%	95	100.0%						155	100.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図												
服薬したくない/どちらかといえば	8	13.3%	21	22.1%						29	18.7%	0.21
服薬したい/どちらかといえば	52	86.7%	74	77.9%						126	81.3%	
合計	60	100.0%	95	100.0%						155	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験												
ない	55	91.7%	89	93.7%						144	92.9%	0.75
ある	5	8.3%	6	6.3%						11	7.1%	
合計	60	100.0%	95	100.0%						155	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）												
梅毒	5	8.3%	13	13.7%						18	11.6%	0.44
A型肝炎	1	1.7%	0	0.0%						1	0.6%	
B型肝炎	3	5.0%	10	10.5%						13	8.4%	0.37
C型肝炎	1	1.7%	0	0.0%						1	0.6%	
クラミジア	4	6.7%	9	9.5%						13	8.4%	0.77
尖圭コンジローマ	4	6.7%	7	7.4%						11	7.1%	
淋病	3	5.0%	2	2.1%						5	3.2%	0.38
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%						0	0.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%						0	0.0%	0.16
毛じらみ	9	15.0%	24	25.3%						33	21.3%	
性器ヘルペス	1	1.7%	3	3.2%						4	2.6%	1.00
その他	1	1.7%	0	0.0%						1	0.6%	
いずれもない	37	61.7%	47	49.5%						84	54.2%	0.19
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）												
アプリ広告で知った			63	79.7%	7	58.3%	4	16.0%		74	63.8%	<0.01
インターネットで知った			14	17.7%	2	16.7%	12	48.0%		28	24.1%	
コミュニティセンターで知った			1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%		1	0.9%	0.39
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	
友達から聞いた			6	7.6%	3	25.0%	5	20.0%		14	12.1%	0.07
その他			3	3.8%	1	8.3%	3	12.0%		7	6.0%	
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。												
簡単だった			46	58.2%	6	50.0%	20	80.0%		72	62.1%	<0.01
どちらでもない			11	13.9%	5	41.7%	2	8.0%		18	15.5%	
難しかった			22	27.8%	0	0.0%	1	4.0%		23	19.8%	0.19
無回答			0	0.0%	1	8.3%	2	8.0%		3	2.6%	
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%		116	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。												
回答した			79	100.0%	10	83.3%	9	36.0%		98	84.5%	<0.01
していない			0	0.0%	2	16.7%	15	60.0%		17	14.7%	
無回答			0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%		1	0.9%	
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%		116	100.0%	

東北における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：太田貴（やろっこ）

研究要旨

総計 206 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 27 件、WEB での配布が 179 件であった。

アンケートに回答し有効回答であったものは 168 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 126 名であった。97.6%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 13 件（既感染も含む）であった。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 12 名においては、30 歳未満が 8.3%を占めた。東北地域の居住者が 100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 25.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 41.7%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 41.7%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 62 名においては、30 歳未満が 48.4%を占めた。東北地域の居住者が 95.2%であった。生涯初の検査経験割合は 22.6%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 45.2%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 50.0%を占めた。

東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特に WEB での申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなった。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

東北地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター ZEL での配布と WEB にて配布を行った。

B. 研究方法

コミュニティセンター ZEL では、本ゆうそう検査に関する説明事項を含むメッセージをやろっこの公式 HP、ポスター、4 種類の SNS、ブ

ログ、フリーペーパーと公式 Twitter 等の SNS で配信した。またゲイ向けアプリの起動時広告も活用した。また北海道地域とも連携し、アプリ広告を活用した広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。

また、インターネット上の広報からアンケートページにつなぎ、その後、郵送検査の自宅・郵便局での受け取りのページに進める WEB 完結型の方法を併用した。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1) 検査キットの配布日・配布件数

①対面配布

2021年9月17日から12月12日

配布キット数 27セット

②WEB 配布

2021年9月17日から12月16日

配布キット数 179セット

受け取り方法：自宅または郵便局で受け取り

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	東北
	CBO	やろっこ
	コミュニティセンター	ZEL
a 配布総数		206
対面配布数		27
WEB配布数		179
b 受検者アンケート回答者数		168
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		126
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		61.2%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		123（97.6%）
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		3（2.4%）
f 陽性数（割合 f/c）		1（0.8%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		0.0（0.0%）
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		5（4.0%）
h 陽性数（割合 h/c）		13（10.7%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		6.5（5.4%）
i 追跡可能者実数；無料ID利用者数（割合 i/c）		74（58.7%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		80（63.5%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		49（38.9%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 206 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 27 件、WEB での配布が 179 件であった。

アンケートに回答し有効回答であったものは 168 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 126 名であった。97.6%が結果サイトにログインしていた。

HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 13 件（既感染も含む）であった。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 12 名においては、30 歳未満が 8.3%を占めた。東北地域の居住者が

100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 25.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 41.7%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 41.7%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 62 名においては、30 歳未満が 48.4%を占めた。東北地域の居住者が 95.2%であった。生涯初の検査経験割合は 22.6%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 45.2%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 50.0%を占めた。

D. 考察

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあった。また検査結果へのログイン割合も昨年度より上昇していた。

会場配布は 27 件であった。ZEL 利用者のみならず、初来館のものもいた。検査キットの会場配布がコミュニティセンターへの来館促進につながったと考えられた。アプリ広告は効果があった。キット受け取り者からは、保健所の検査が休止しているので検査を受けられずにいたのでありがたいとの声。とりあえず受け取っておいて、期限ギリギリまで使わないという行動が多く見られた。

また東北地域は広範囲であるため、会場へのアクセスにも課題がある。そのため、自宅・郵便局受取りのニーズが高いことが明らかとなった。

またこの配布の機会を通じて、キット受け取り者の多様な相談対応につながった。具体的には、PrEP、U=U、陽性判明時の相談、梅毒の治療などの相談が寄せられた。

E. 結論

東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特に WEB での申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなった。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS Care, 2020.
DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

3. 学会発表 (国内)

- 1) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 2) 太田ふとし: 東北地域における、MSM を対象とした郵送 HIV・梅毒検査キット配布の取り組み. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021

- 3) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史: トランスジェンダーとセクシュアルヘルス. GID 学会第 23 回研究大会・総会, WEB 開催, 2022

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用						
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
やろっこ/ZEL (東北)	94	9.5%	12	2.4%	62	15.0%	3	3.0%	49	17.5%	220	9.6%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			5	41.7%	30	48.4%			15	30.6%	50	40.7%	0.22
2021年10月			2	16.7%	15	24.2%			9	18.4%	26	21.1%	
2021年11月			0	0.0%	4	6.5%			9	18.4%	13	10.6%	
2021年12月			2	16.7%	4	6.5%			4	8.2%	10	8.1%	
2022年1月			3	25.0%	9	14.5%			12	24.5%	24	19.5%	
合計			12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%	0	0.0%			1	2.0%	1	0.8%	0.34
陰性だった			12	100.0%	59	95.2%			48	98.0%	119	96.7%	
判定不能			0	0.0%	3	4.8%			0	0.0%	3	2.4%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計			12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.09
初めて陽性と知った			2	16.7%	2	3.2%			3	6.1%	7	5.7%	
陰性だった			9	75.0%	52	83.9%			46	93.9%	107	87.0%	
判定不能			0	0.0%	4	6.5%			0	0.0%	4	3.3%	
再罹患			1	8.3%	4	6.5%			0	0.0%	5	4.1%	
合計			12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			0	0.0%	2	3.2%			0	0.0%	2	1.6%	0.37
既読			12	100.0%	60	96.8%			49	100.0%	121	98.4%	
合計			12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)													
29歳以下	32	34.0%	1	8.3%	30	48.4%			14	28.6%	77	35.5%	0.02
30-39歳	34	36.2%	4	33.3%	15	24.2%			11	22.4%	64	29.5%	
40-49歳	19	20.2%	4	33.3%	11	17.7%			16	32.7%	50	23.0%	
50-59歳	9	9.6%	2	16.7%	5	8.1%			8	16.3%	24	11.1%	
60歳以上	0	0.0%	1	8.3%	1	1.6%			0	0.0%	2	0.9%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	217	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%		0	0.0%	2	1.0%	0.12	
東北	90	95.7%	12	100.0%	59	95.2%		24	85.7%	185	94.4%		
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
東京	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%		0	0.0%	2	1.0%		
南関東	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	1	0.5%		
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
東海	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%		0	0.0%	1	0.5%		
近畿	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%		1	3.6%	2	1.0%		
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
九州	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		3	10.7%	3	1.5%		
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%		28	100.0%	196	100.0%		
国籍													
日本	93	98.9%	12	100.0%	60	96.8%				165	98.2%	0.74	
アジア	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%				2	1.2%		
欧米	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%				1	0.6%		
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%				0	0.0%		
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%				168	100.0%		
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			3	50.0%	14	32.6%		15	53.6%	32	41.6%	0.60	
郊外住宅地			3	50.0%	22	51.2%		10	35.7%	35	45.5%		
農村地域・漁村地域			0	0.0%	6	14.0%		3	10.7%	9	11.7%		
山間部			0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
離島			0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
無回答			0	0.0%	1	2.3%		0	0.0%	1	1.3%		
合計			6	100.0%	43	100.0%		28	100.0%	77	100.0%		
性別													
男性	93	98.9%	12	100.0%	62	100.0%		49	100.0%	216	99.5%	0.73	
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%		
その他	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	1	0.5%		
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%		49	100.0%	217	100.0%		
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			2	33.3%	1	2.3%		0	0.0%	3	3.9%	<0.01	
いいえ			4	66.7%	41	95.3%		27	96.4%	72	93.5%		
無回答			0	0.0%	1	2.3%		1	3.6%	2	2.6%		
合計			6	100.0%	43	100.0%		28	100.0%	77	100.0%		
居住形態													
独居	55	58.5%	7	58.3%	36	58.1%				98	58.3%	1.00	
同居	39	41.5%	5	41.7%	26	41.9%				70	41.7%		
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%				0	0.0%		
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%				168	100.0%		

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	65	69.1%	9	75.0%	48	77.4%					122	72.6%	0.52
ない（今回が初めての検査）	29	30.9%	3	25.0%	14	22.6%					46	27.4%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	37	39.4%	5	41.7%	28	45.2%					70	41.7%	0.77
ない	57	60.6%	7	58.3%	34	54.8%					98	58.3%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）													
保健所	16	17.0%	1	8.3%	14	22.6%					31	18.5%	0.81
病院/クリニック	5	5.3%	1	8.3%	2	3.2%					8	4.8%	0.88
郵送検査	17	18.1%	4	33.3%	18	29.0%					39	23.2%	0.57
その他	3	3.2%	1	8.3%	1	1.6%					5	3.0%	0.78
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）													
ゲイバー	16	17.0%	2	16.7%	20	32.3%					38	22.6%	0.07
ゲイイベント	2	2.1%	2	16.7%	0	0.0%					4	2.4%	<0.01
ゲイショップ	1	1.1%	0	0.0%	6	9.7%					7	4.2%	0.02
有料のハッテン場	15	16.0%	5	41.7%	11	17.7%					31	18.5%	0.10
野外のハッテン場	14	14.9%	4	33.3%	15	24.2%					33	19.6%	0.17
いずれもない	56	59.6%	5	41.7%	27	43.5%					88	52.4%	0.11
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）													
Twitter	28	29.8%	3	25.0%	23	37.1%					54	32.1%	0.54
Instagram	6	6.4%	1	8.3%	3	4.8%					10	6.0%	0.87
VERO	11	11.7%	1	8.3%	5	8.1%					17	10.1%	0.74
9monsters	84	89.4%	9	75.0%	57	91.9%					150	89.3%	0.22
Men's Net Japan	7	7.4%	1	8.3%	10	16.1%					18	10.7%	0.22
KO-MENSTV	19	20.2%	4	33.3%	14	22.6%					37	22.0%	0.58
その他	7	7.4%	1	8.3%	7	11.3%					15	8.9%	0.71
いずれもない	6	6.4%	1	8.3%	3	4.8%					10	6.0%	0.87
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。													
受け取っていない	82	87.2%	8	66.7%	41	66.1%					131	78.0%	0.03
受け取ったけど、利用していない	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%					2	1.2%	
受け取って、利用した	11	11.7%	4	33.3%	20	32.3%					35	20.8%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。													
よく知っている	5	5.3%	3	25.0%	6	9.7%					14	8.3%	0.14
少し知っている	29	30.9%	4	33.3%	25	40.3%					58	34.5%	
あまり知らない	42	44.7%	5	41.7%	21	33.9%					68	40.5%	
全く知らない	18	19.1%	0	0.0%	10	16.1%					28	16.7%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート		ID使用				ID不使用					合計	
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？													
ある	84	89.4%	11	91.7%	58	93.5%					153	91.1%	0.67
ない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）													
彼氏や恋人	11	11.7%	4	33.3%	14	22.6%					29	17.3%	0.21
友達やセクフレ	60	63.8%	7	58.3%	39	62.9%					106	63.1%	0.87
その場限りの相手	52	55.3%	5	41.7%	31	50.0%					88	52.4%	0.64
その他	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	0.67
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。													
ある	71	75.5%	9	75.0%	51	82.3%					131	78.0%	0.86
ない	13	13.8%	2	16.7%	7	11.3%					22	13.1%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。													
ある	19	20.2%	7	58.3%	15	24.2%					41	24.4%	0.06
ない	65	69.1%	4	33.3%	43	69.4%					112	66.7%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。													
ある	19	20.2%	3	25.0%	10	16.1%					32	19.0%	0.79
ない	65	69.1%	8	66.7%	48	77.4%					121	72.0%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。													
ある	3	3.2%	1	8.3%	4	6.5%					8	4.8%	0.75
ない	81	86.2%	10	83.3%	54	87.1%					145	86.3%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。													
ある	5	5.3%	0	0.0%	1	1.6%					6	3.6%	0.57
ない	79	84.0%	11	91.7%	57	91.9%					147	87.5%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。													
ある	0	0.0%	1	8.3%	1	1.6%					2	1.2%	0.13
ない	84	89.4%	10	83.3%	57	91.9%					151	89.9%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況													
非常用	65	69.1%	8	66.7%	47	75.8%					120	71.4%	0.86
常用	19	20.2%	3	25.0%	11	17.7%					33	19.6%	
過去6ヶ月間にない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%					15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%					168	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗			
	アンケート		ID使用				ID不使用			合計		
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布				WEB配布	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。												
とてもよく知っている	15	16.0%	4	33.3%	15	24.2%			34	20.2%	0.17	
具体的には知らないが、聞いた	64	68.1%	5	41.7%	42	67.7%			111	66.1%		
まったく知らない	15	16.0%	3	25.0%	5	8.1%			23	13.7%		
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%			168	100.0%		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図												
服薬したくない/どちらかといえば	20	21.7%	2	18.2%	6	9.7%			28	17.0%	0.15	
服薬したい/どちらかといえば	72	78.3%	9	81.8%	56	90.3%			137	83.0%		
合計	92	100.0%	11	100.0%	62	100.0%			165	100.0%		
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験												
ない	88	95.7%	10	90.9%	53	85.5%			151	91.5%	0.08	
ある	4	4.3%	1	9.1%	9	14.5%			14	8.5%		
合計	92	100.0%	11	100.0%	62	100.0%			165	100.0%		
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）												
梅毒	7	7.4%	1	8.3%	4	6.5%			12	7.1%	0.96	
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
B型肝炎	2	2.1%	1	8.3%	2	3.2%			5	3.0%	0.49	
C型肝炎	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%			1	0.6%	0.67	
クラミジア	8	8.5%	0	0.0%	6	9.7%			14	8.3%	0.54	
尖圭コンジローマ	3	3.2%	1	8.3%	2	3.2%			6	3.6%	0.65	
淋病	6	6.4%	0	0.0%	2	3.2%			8	4.8%	0.48	
HIV感染症	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%			2	1.2%	0.45	
赤痢アメーバ	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%			1	0.6%	0.67	
毛じらみ	20	21.3%	3	25.0%	11	17.7%			34	20.2%	0.79	
性器ヘルペス	7	7.4%	0	0.0%	3	4.8%			10	6.0%	0.53	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%			1	0.6%	0.42	
いずれもない	61	64.9%	7	58.3%	42	67.7%			110	65.5%	0.81	
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）												
アプリ広告で知った			4	66.7%	34	79.1%		23	82.1%	61	79.2%	0.81
インターネットで知った			2	33.3%	7	16.3%		2	7.1%	11	14.3%	0.41
コミュニティセンターで知った			1	16.7%	2	4.7%		0	0.0%	3	3.9%	0.33
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	
友達から聞いた			1	16.7%	3	7.0%		2	7.1%	6	7.8%	0.83
その他			0	0.0%	1	2.3%		1	3.6%	2	2.6%	0.90
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。												
簡単だった			5	83.3%	34	79.1%		19	67.9%	58	75.3%	0.55
どちらでもない			1	16.7%	3	7.0%		1	3.6%	5	6.5%	
難しかった			0	0.0%	4	9.3%		6	21.4%	10	13.0%	
無回答			0	0.0%	2	4.7%		2	7.1%	4	5.2%	
合計			6	100.0%	43	100.0%		28	100.0%	77	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。												
回答した			6	100.0%	42	97.7%		22	78.6%	70	90.9%	0.02
していない			0	0.0%	0	0.0%		6	21.4%	6	7.8%	
無回答			0	0.0%	1	2.3%		0	0.0%	1	1.3%	
合計			6	100.0%	43	100.0%		28	100.0%	77	100.0%	

東北地域の予防啓発に関する 状況と検査機会の取り組み

2021年度の東北地域の状況

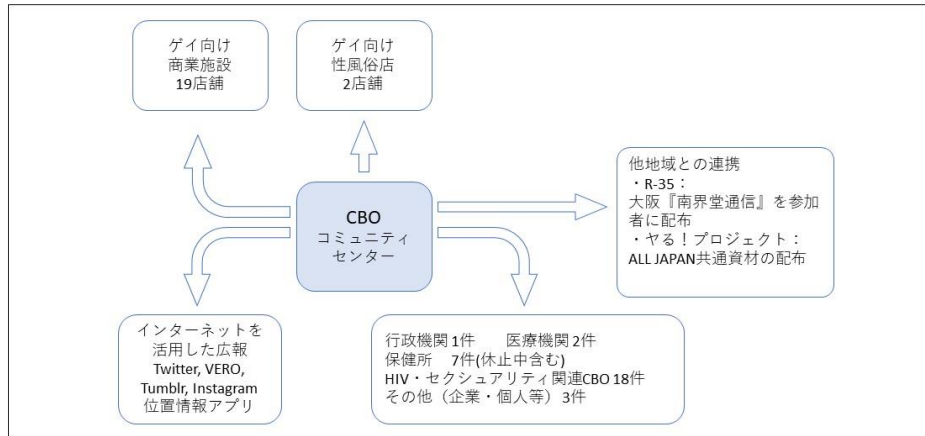
<p>①コミュニティの状況</p> <p>青森：ゲイバー1店舗閉店 地域のMSM向け商業施設ゼロに（観光バーは有り）</p> <p>秋田：変化なし（ゲイバーなし。観光バーは有り）</p> <p>岩手：変化なし</p> <p>宮城：ゲイバー1店舗 コロナ拡大で休業中 ハッテン場は通常営業（客足に変化なし）</p> <p>山形：変化なし</p> <p>福島：ゲイバー2店舗閉店</p>
<p>②検査機会の動向</p> <p>青森：県内すべての保健所で即日検査実施。今年度からほとんどの保健所でインターネット予約可</p> <p>秋田：9ヶ所中最大6ヶ所の保健所で検査休止</p> <p>岩手：県内全ての保健所で検査実施（盛岡市保健所が再開）</p> <p>宮城：9ヶ所中1ヶ所の保健所で検査縮小 仙台：青葉区役所夜間検査再開、5ヶ所中4ヶ所休止、委託検査（夜間・土曜）は継続 保健所検査縮小のため仙台市の検査広報予算を「ゆうそう検査」の広報に使用</p> <p>山形：一部の保健所で検査中止・検査縮小（5ヶ所中4ヶ所で実施を確認）</p> <p>福島：いわき市保健所のみ再開</p>

地域の商業施設数と連携

2021年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カバー率）	備考
ゲイバー	17	16	94%	青森0/0 秋田0/0 岩手3/4 宮城9/9 山形2/2 福島2/2
有料ハッテン場	2	2	100%	
ゲイナイト	0	0	—	
ウリ専	1	1	100%	
ゲイショップ	1	1	100%	
サウナ・ホテル	2	0	0%	
マッサージ	7	1	14%	青森0/0 秋田0/0 岩手0/0 宮城1/5（うたたねグループは1店舗としてカウント：セラピスト7人。ニューハーフマッサージを除く） 山形0/1 福島0/1
ゲイ雑誌	0	0	—	
スマホアプリ	不明	2	—	Blued,9monsters
ウェブサイト	不明	1	—	G-click
ゲイサークル	不明	0	—	

普及啓発活動の状況



コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数 : 常勤 1人
非常勤 1人、ボランティア 10人くらい

開館曜日 : 日・月・火・金・土

開館時間 : 日・祝 15時～20時、平日 18時～22時

総来場者数* : 434名 (前年度比113%)

初来場者数* : 34名 (前年度比92%)

相談件数* : 21件 (うち、セクシュアルヘルスに関する相談 8件)

*2021年4月～2022年1月まで

緊急事態宣言中の開館状況

期間	待機法関連 (対宮城県)	宮城県独自	集会所への制限等	ZEL
3月26日～4月11日	—	宮城県・仙台市緊急事態宣言	公共施設休館	臨時休館
4月12日～5月11日	まん延防止等重点措置	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
5月12日～6月13日	—	宮城県・仙台市緊急事態宣言 リバウンド防止徹底期間	—	通常開館
6月14日～7月11日	—	リバウンド防止徹底期間	—	通常開館
7月12日～8月11日	—	—	—	通常開館
8月12日～8月19日	—	宮城県・仙台市緊急事態宣言	—	通常開館
8月20日～8月26日	まん延防止等重点措置	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
8月27日～9月12日	緊急事態宣言	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
9月13日～9月30日	まん延防止等重点措置	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
10月1日～10月31日	—	リバウンド防止徹底期間	—	通常開館
11月1日～1月31日	—	—	—	通常開館

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	19	43	55	41	39	46	35	67	53	36			434
うち、新規	0	3	5	2	3	9	1	4	5	2			34
相談件数	0	3	1	2	1	3	4	1	5	1			21
WEB blog UU	424	368	403	474	453	1431	483	465	448	535			5484
WEB blog PV	1960	1877	1937	2067	2351	2940	1741	1612	1871	2648			21004
WEB SNSリアクション数	91	103	739	103	141	236	212	221	193	149			2188

ZEL UNDERWEAR+MASK PARTY

プログラムの目的・必要性：性行動が活発なMSMへのセンターの周知、予防行動の促進
 対象：性行動が活発なMSM
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：スタッフ1名・ボランティア2名、支援者から寄贈の景品

実施内容（資料・WEB展開）：
 ①ゲームによる来場者同士の交流
 ②セクシュアルヘルス等の情報提供
 ③セーフターセックス・スターターキットの配布



結果：
 実施日時 6/27(日)15:30-17:00、3/6(日)15:00-17:00（予定）
 参加者数 6/27(日)11名（初参加3名）
 実施した反応）サイズ別コンドームの需要が高かった。



SENDAI GAY GUIDE

プログラムの目的・必要性：仙台転入者へ向けたコミュニティセンターの周知と利用案内
 対象：仙台に転入してきたMSM、商業施設をあまり利用しないMSM、仙台以外の東北各地在住MSM
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：スタッフ1名

実施内容（WEB展開）：
 ①コミュニティセンターの機能紹介
 ②東北・仙台のHIV・性感染症検査情報提供
 ③仙台市内の同性愛者等向け商業施設ガイド



結果：
 実施日時 5/8(土)18:30-19:00
 参加者数 0人
 実施した反応）まん延防止等重点措置の適応期間中だったこともあり参加者がいなかった。

R-35 35歳からのゲイライフ

プログラムの目的・必要性：
コンドームの使用率が低く、HIV検査の受検経験も低い中高年向けの交流会を実施し、中高年が関心を持つ話題であるライフプランやセクシュアルヘルスに関する話題を提供する。
対象：主に35歳以上の中高年MSM
予算：コミュニティセンター事業費
その他の投入資源：スタッフ1名

実施内容（WEB展開）：
①参加者自己紹介
②参加者からの話題提供
③セクシュアルヘルス等の情報提供



結果：
実施日時) 7/10(土)19:00-20:30、10/16(土)19:00-20:30、1/15(土)19:00-20:30
参加者数) 7/10(土)8名、10/16(土)4名、1/15(土)9名 計21名(初来館2名)
実施した反応)
参加者からHIV検査(仙台市の検査、ゆうそう検査)、PrEPについてなど話題提供や質問があった

U=U PrEP勉強会

プログラムの目的・必要性：
情報に敏感で多くの情報に触れる機会が多い大都市圏と異なり情報を入手する機会が少ない東北のMSMがHIV感染症についての最新情報を学べる機会をつくる
対象：HIVについての情報に触れる機会が少ないMSM
予算：コミュニティセンター事業費
その他の投入資源：講師1名、スタッフ1名

実施内容（資料・WEB展開）：
ゲストからの話題提供、質疑応答
※参加できない人向けに勉強会の内容はセンター発行のFree Paperやウェブサイトにも掲載。
SNSにはFree Paperの記事の画像を掲載した。



結果：
実施日時) 11/29(月)20:30-21:30(質疑応答22:00まで延長)
参加者数) 8人
実施した反応)
U=UやPrEPについて積極的に質問が出て、予定時間より30分延長して質疑応答を行った。

HIV陽性者と語ろう

プログラムの目的・必要性：
HIV陽性者やその周囲の人の話を聞くことにより、HIV感染症・エイズについて考え、いまだに存在する差別、偏見等の解消を目的とするとともに、HIVを身近に感じる機会とする。
対象：HIV陽性者の話を聞く機会が少ないMSM
予算：コミュニティセンター事業費
その他の投入資源：ゲストスピーカー1名、スタッフ1名

実施内容（WEB展開）：
①グランドルールの説明
②ゲストからの話題提供
③質疑応答



結果：
実施日時) 3/20(日)18:00-19:30実施予定
参加者数)
実施した反応)

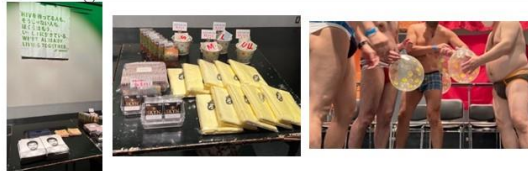
Living Together in SENDAI

プログラムの目的・必要性：
 HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記の朗読により、HIV感染症・エイズのリアリティを伝え、いまだに存在する差別、偏見等の解消を図る。
 対象：性行動が活発なMSM
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：スタッフ1名、ボランティア3名

実施内容（資材・WEB展開）：
 ①HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記の朗読
 ②ゲームによる来場者同士の交流
 ZEL UNDERWEAR+MASK PARTYの要素を入れて性行動が活発なMSMを対象として実施した。



結果：
 実施日時) 11/6(土)15:00-17:00
 参加者数) 12名 (初参加3名)
 実施した反応)
 手記集への関心が高く、新しい手記集はまだ発行されないのかという問合せもあった。



コンドームまつり

プログラムの目的・必要性：
 身近に販売されているコンドームや、センターで配布されているコンドームを形や大きさ、素材がわかる状態で展示し、コンドームの装着方法などの解説もつけて、コンドームの使用促進を図る。
 対象：コンドームの使用に関して悩み等を抱えるMSM
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：スタッフ1名

実施内容（WEB展開）：
 ①様々な形状、大きさ、素材のコンドームの展示
 ②コンドームの装着方法の解説
 ③持ち帰り用コンドームの配布
 ④SNS(VERO)上での同時開催（画像・動画の掲載）



結果：
 実施日時) 6/4(金)~6/15(火)
 参加者数) 期間中の来場者 25名 (初来館2名)
 アクセス数) 投稿(19件)へのいいね総数 530件
 実施した反応)
 簡単装着コンドームを模型に装着する動画には「こんなものがあるとは知らなかった。これは大発明ですね」などのコメントが寄せられた。



community center ZEL Free Paper

プログラムの目的・必要性：
 HIV検査受検促進とコンドーム使用行動促進を図る啓発資材として、作成・配布
 対象：東北地域MSM向け商業施設約20施設、上野MSM向け商業施設1施設、宮城県・仙台市のエイズ対策担当課、宮城県内・仙台市内の保健所、他地域のセンターほか
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：デザイナー1名、スタッフ1名、ボランティア4名

実施内容（資材・WEB展開）：
 ①東北イベント・コミュニティ情報
 ②仙台市HIV検査情報
 ③特集
 5月発行 センター活動報告
 8月発行 検査情報（保健所検査、ゆうそう検査）
 11月発行 レッドリボン30周年、HIV検査情報
 2月発行 U=U、PrEP勉強会報告



結果：
 実施日時) 5月初旬、8月初旬、11月初旬、2月初旬
 配布数) 各1,000部



コンドーム配布

プログラムの目的・必要性：コンドーム使用促進
対象：東北地域MSM向け商業施設約20施設、上野MSM向け商業施設1施設ほか
予算：コミュニティセンター事業費
その他の投入資源：ボランティア2名、寄贈コンドーム、寄贈ローション

実施内容（資材展開）：
アウトリーチ及び発送
仙台市内の商業施設は3カ月に1回程度。
岩手・山形・福島の商業施設は年1回。
その他、商業施設からの要望に合わせて随時対応する。



結果：
実施日時）5月初旬、8月初旬、11月初旬、2月初旬
配布数）約4,000個
実施した反応）
店舗により、Lサイズ多め・Sサイズ多めなどの要望あり。
寄贈の新素材コンドームや抗ウイルス剤入りも、好んで持ち帰る人がいる。
掲載の画像は協力店舗の「届きました」ツイートより。

Go To 検査 TOHOKU

プログラムの目的・必要性：
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で縮小や変更されている保健所の検査情報などをまとめ、HIV検査の受検を促進する。
対象：HIV検査の受検を検討しているMSM
予算：コミュニティセンター事業費
その他の投入資源：スタッフ1名（ロゴデザインは前年度作成のものを再使用）

実施内容（WEB展開）：
①東北各県の保健所HIV検査情報へのリンクをまとめて掲載
②仙台市内のクリニックの検査情報も合わせて掲載
③HIVマップ、HIV検査相談マップなどへのリンクを掲載
随時更新



結果：
実施日時）随時
アクセス数）不明
実施した反応）特になし

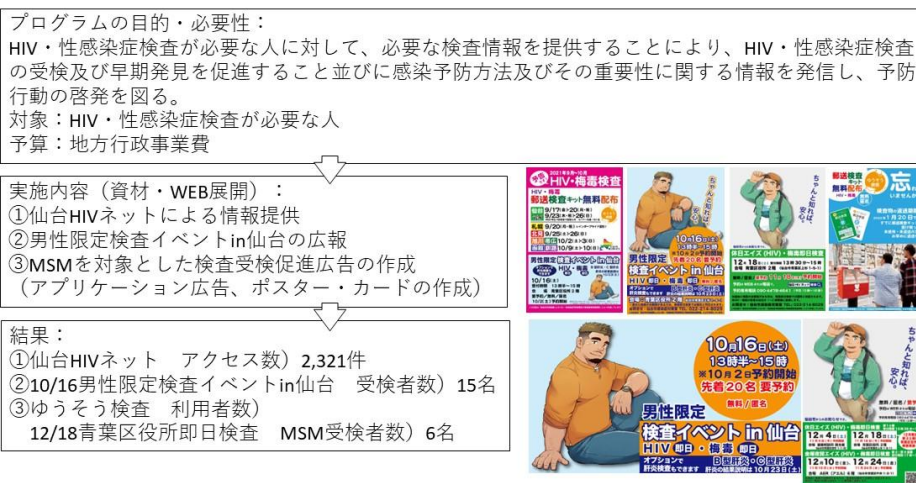
東北ブロック「HIV検査担当者向け研修会」

プログラムの目的・必要性：
HIV検査の現場における受検者への適切な対応・支援の基盤となる、MSMやセクシュアリティへの理解を深める。
対象：HIV検査担当者（保健師、看護師、医師、検査技師など）
予算：コミュニティセンター事業費
その他の投入資源：講師1名、スタッフ1名、ボランティア2名

実施内容（資材・WEB展開）：
①センターが行う同性愛者等に対するHIV/エイズの啓発活動
②セクシュアリティの基礎及び東北地方の同性愛者等を取り巻く環境
③HIV感染症の最新情報
④HIV陽性者やその周囲の人たちによる手記のリーディングワーク
⑤地域の同性愛者当事者が受検者役を演じる模擬対応「セクシュアリティに配慮した相談実施」ほか

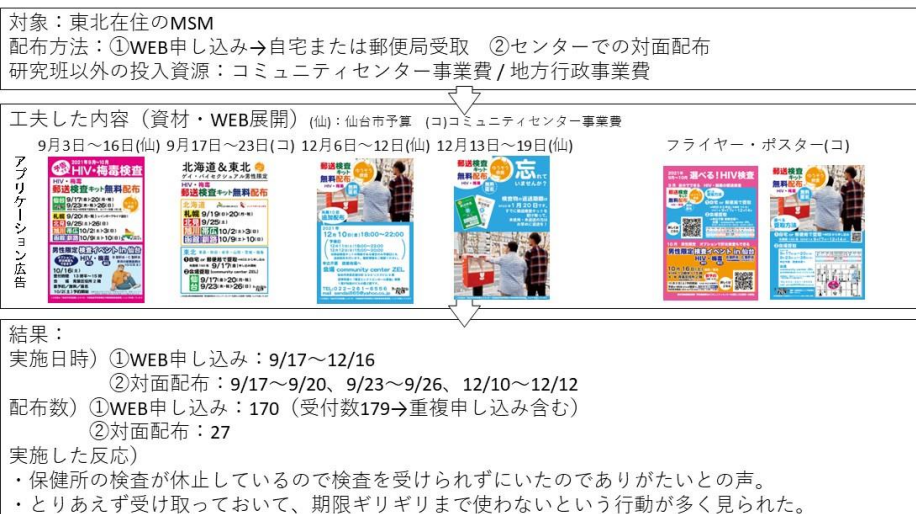
結果：
実施日時）11/29(月)
参加者数）7名
実施した反応）
新型コロナウイルス感染症拡大の影響でHIV検査担当になったものの、実際の対応をしたことがないという担当者の参加が少なからずあり、模擬対応がとても参考になったとのことだった。

仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業



ゆうそう検査の取り組み

2021年度



次年度の取り組みについて

- SNS活用による東北全体への周知
情報拡散と地元情報収集を行う「みちのく特派員」をSNSで公募
年に2回程度「みちのく特派員サミット」をオンラインで公開で開催
- 新規来場者の誘致
性行動が活発な層 → ZUPを小規模にして回数を増やす
商業施設等非利用層 → ボードゲームイベントの新設
LGBTQ → caféイベントはコロナに左右されるので別の形で開催
- 地域の実情に合わせたオンラインの活用
顔出しでのオンライン参加への抵抗感 → Twitterスペース利用、VEROの活用
- ゆうそう検査
仙台市予算で広報できるかはまだ不明。「とりあえずもらう」への対策が必要

21

首都圏における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）
研究協力者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）
岩橋恒太 木南拓也、藤原孝大、荒木順（特定非営利活動法人 akta）
星野慎二、宮島謙介（特定非営利活動法人 SHIP）

研究要旨

東京地域では、総計 387 キットを配布した。コミュニティセンター akta での対面配布のみであった。今年度も予約サイトを活用し、密を避けて対面での説明を加え対応を行った。キット受け取り者のうち、実際に検体を郵送会社に郵送したものは 314 名であった。97.1%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 6 件、梅毒の陽性件数は 37 件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 260 名の属性については、29 歳以下が 28.8%を占めた。アンケート回答者 588 名においては、東京都の居住者が 63.1%であった。検体を送付した 260 名のうち、生涯初の検査経験割合は 15.0%、過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 58.5%であった。キットを受け取り、検体を送付したもののうち MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 46.9%を占めた。

神奈川地域では、総計 174 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 61 件、WEB での配布が 113 件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

アンケートに回答したものは 181 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 130 名であった。98.5%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件、梅毒の陽性件数は 24 件（既感染も含む）であった。アンケートに回答した者 204 名の属性については、40 歳未満が 77.4%を占めた。南関東地域の居住者が 53.4%、東京都の居住者が 33.2%であった。204 名のうち、これまでに検査を受けたことがないものの割合は 26.0%、過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 61.9%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 59.6%を占めた。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるが、保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。そこで、東京地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター akta での

対面で配布した。神奈川地域では、コミュニティセンター、貸し会議室等の会場を借りての対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布し、検査普及における有効性の評価を行う。

B. 研究方法

東京地域では、コミュニティセンター akta において、本プロジェクトに関する説明事項を含むウェブサイト <https://akta.jp/pt/> を開設した。コミュニティセンターでの対面型配布のみとした。公式ホームページ、公式 Twitter

で広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケートに答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。来場者には、①検査キット、②確認検査を受けられる施設情報シート、③アルバ作成 梅毒検査の意味、④ふれいす東京 サポート情報カード、⑤梅毒啓発資材、⑥南新宿移転についての情報の6種類の資材を配布した。

なお、コロナ対策のため、予約制を採用し、ウェブの予約システムを導入して予約制。緊急事態宣言下のため、16-19時で配布した。2レーンで各人15分程度、1日24枠とした。

神奈川地域では、対面型配布とWEB配布2パターンで実施した。対面配布については、福祉保健活動拠点フクシア会場を借り、10月から11月末まで5日間の配布予定を立てた。またSHIPにじいろキャビンでも1日配布を行った。会場の予約時間は17~20時30分、または13:00-16:00、13:00-16:00 (SHIPにじいろキャビン)とした。予約制をとることとし、WEBまたは電話による事前予約とした。2週間前から10分間隔で時間指定予約できる仕組みとした。配布スタッフは、統括予約受付1名、配布担当としてもう2名、総計3名を配置することとした。WEB配布については、アプリ広告、Twitterでの広告を行った。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

東京地域では、すべてコミュニティセンターaktaにおいて対面で口頭説明付きで配布を行った。2021年9月25日から12月3日の49日間の配布を行った。総計387キットを配布した。基本的には月曜日に予約制で対面配布を行った。木曜日から日曜日は、予約なしでも可とし、対面で配布を行った。

ネットでの広報については、そうアクセス単は9月から12月で23,672件であった。

表1 郵送検査利用者の概要 (東京)

	地域	東京
	CBO	NPO法人akta
	コミュニティセンター	
	akta	
a 配布総数		387
対面配布数		387
WEB配布数		
b 受検者アンケート回答者数		559
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		314
利用率; 配布数に占める利用者数(c/a)		81.1%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		305 (97.1%)
抗体検査結果		
*重複感染 (1名)		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		4 (1.3%)
f 陽性数 (割合 f/c)		6 (1.9%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		3.7 (1.2%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		11 (3.5%)
h 陽性数 (割合 h/c)		37 (12.2%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		8.2 (2.7%)
i 追跡可能者実数; 無料ID利用者数 (割合 i/c)		260 (82.8%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		219 (69.7%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		190 (60.5%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地域が不一致な場合も含む。

一方で、神奈川地域の配布実績は下記のとおりである。

西区福祉保健活動拠点・フクシアでの配布

- 第1回:10月1日(金)
定員12名、予約9名、配布9名
- 第2回:10月3日(日)
定員22名、予約22名、配布20名
- 第3回:10月31日(日)
定員22名、予約15名、配布14名
- 第4回:11月7日(日)
定員22名、予約12名、配布8名
- 第5回:11月27日(土)
定員22名、予約8名、配布6名

SHIPにじいろキャビンでの配布

- 第1回:12月10日(水)16:00-20:00
予約なし、配布数4名

WEBでの配布

第1弾は9月18日から9月23日まで、受付数142件であった。広告は出会い系アプリとTwitterの二種類を使用した。

第2弾は12月8日から12月28日まで、受付数は10であった。広告はTwitterのみであった。

表2 郵送検査利用者の概要（神奈川）

	地域	神奈川
	CBO	NPO法人SHIP
	コミュニティセンター	-
a 配布総数		174
対面配布数		61
WEB配布数		113
b 受検者アンケート回答者数		181
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		130
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		74.7%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		128（98.5%）
抗体検査結果		*重複感染（1名）
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		1（0.8%）
f 陽性数（割合 f/c）		3（2.3%）
推定新規陽性者数（新規陽性率）*		1.2（0.9%）
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		1（0.8%）
h 陽性数（割合 h/c）		24（18.6%）
推定新規陽性者数（新規陽性率）*		7.2（5.6%）
i 追跡可能者実数；無料ID利用者数（割合 i/c）		107（82.3%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		88（67.7%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		76（58.5%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

実施についての振り返りと反省点

今年度の実施から気づいたこと、よかったことは、開館時の配布では、早い時間に受け取りに来る人が多かった（開館前も含む）ことがあげられた。また予約枠と比べ、開館時の受け取りは、対象者の検査についての準備性が低かった。

修正が必要なこと、課題となったことは、予約枠は土壇場でのキャンセルが多いことが分かった。開館時は、他の作業やMTG、プログラム等との兼ね合いが難しかった。

また説明動画を倍速で見られる方もいたので、何度も見れる説明やフォローを追加する必要があった。グループでの受け取りは準備性が異なり、一緒に説明することが難しい事例があった。シフトスタッフが少ないときには、検査対応中に電話対応や来場者対応等が必要なこともあり、バランスをとることが難しく感じた。また対象者には、説明を集中して聞いていただけなかったり、注意散漫になりながら説明

を聞く人もあり、対応が難しかった。以前のHIV check利用者では説明をスキップしようとする方もおられた。特に実家暮らしの学生等への資料提示、配布は難しい。

対象者からの質問対応では、結果の受け取りまでの時間や、梅毒に関する基本情報、HIVと梅毒で結果は別々に来るか？など様々なものがあった。聴覚障がい者の方への説明が必要な場面もあり、今後検討が必要であった。

ゆうそう検査を使ってみた動画をインスタで上げたいとの声もあった。メディア対応等が事前にルール化されていると良いと思った。

また外国人が日本人と一緒に来場したときにどのように説明するかが難しかった。

D. 考察

今年度も新型コロナウイルスの影響で、保健所でのHIV検査が休止になったところもあり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあったと考えられる。

郵送検査の方法および確認検査を受ける場所への誘導について口頭で説明する必要があると考え、aktaでは対面で配布する方法をとった。受検者と直接接することで、検査方法を詳細に伝えることができ、問い合わせに対しては現場で答えることで、受検者に対して安心感を与えることができた。私たち自身も受検者がどのような疑問を持っているかを知ることができた。いまだ多くの保健所の検査提供が少なくなっていることもあり、予約枠はすぐ埋まる状況であった。

今後、どのような層にこのゆうそう検査を届けるかを考え、ターゲットを絞った広報、検査提供を考える必要がある。また、東京都以外にも様々な居住地のMSMがキットを受け取りに来る可能性があり、遠方から取りに来たものについての対応も今後検討する必要がある。

E. 結論

東京地域では、HIVCheckを終えて1年以上あけての検査キットの配布を実施した。入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型に限定し不安を軽減する努力をし、昨年度に比べ4倍の387件を配布できた。

神奈川県では、総計174キットを配布した。コミュニティセンターや神奈川県内の公的な場所での対面配布61件、WEBでの配布が113件であった。昨年度に続き、貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020. DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) ○金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来院するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) ○宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) ○金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020
- 5) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行: 名古屋市無料匿名性感染症検査会受検者における性感染症既往認識と検査結果. *日本感染症学会誌*, 31(1), 2020. doi:10.24775/jjsti.S-2019-0003

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.
- 2) Benjamin R. Bavinton, Adam Hill, Natalie Amos, Sin How Lim, Thomas Guadamuz, Noriyo Kaneko, Martin Holt, Adam Bourne: Low PrEP uptake among gay, bisexual, and other men who have sex with men in five Asian countries: Results of the Asia Pacific MSM Internet Survey. The 11th IAS - the

International AIDS Society - Conference on HIV Science, Virtual, 2021.

- 3) Adam O Hill, Benjamin R Bavinton, Noriyo Kaneko, Lise Lafferty, Anthony Lyons, Stuart Gilmour, Jennifer Power, Gregory Armstrong: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. 2021 Joint Australasian Sexual Health and HIV&AIDS Conferences, Virtual, 2021.

3. 学会発表 (国内)

- 1) 金子典代:U=U をめぐる陽性者と HIV 予防対策と医療者のあり方について. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 2) 林田庸総, 柏木恵莉, 土屋亮人, 高野操, 青木孝弘, 瀧永博之, 菊池嘉, 岩橋恒太, 金子典代: 乾燥ろ紙血による HIV Ag/Ab 郵送検査の検査ラボでの結果についての検討. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 3) 荒木順, 金子典代, 木南拓也, 柴田恵, 岩橋恒太, 藤原孝大, 鈴木敦大, 小山輝道, 高久道子, 高久陽介, 市川誠一, 張由紀夫, 生島嗣: ゲイバー等との連携による「LivingTogether のど自慢」の実践とその効果について. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 4) 井上洋士, 後藤大輔, 船石翔馬, 高橋良介, 塩野徳史, 金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 5) 高橋良介, 末盛慶, 金子典代, 石田敏彦: NLGR+への参加状況と HIV 抗体検査受検経験の関連性. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 6) 金子典代: 日本の MSM における HIV 検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大ストラテジー. 第 1 回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021
- 7) 金子典代:MSM を対象とした HIV 検査促進プログラムの変遷と HIV 検査機会拡大にむけた新たな試み. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021
- 8) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjams, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa: Studies

on mitigating stigma and developing an awareness program targeting a population at risk for HIV infection in Mongolia.
第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021

- 9) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス。GID 学会第 23 回研究大会・総会，WEB 開催，2022

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表 3-1 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者概要（東京）

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用							
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布					
配布CBO														
NPO法人akta/akta（東京）	299	30.1%	260	51.0%	0	0.0%	54	53.5%	0	0.0%	613	26.7%		
検査DATA 採取した月														
2021年9月			11	4.2%			1	1.9%			12	3.8%	<0.01	
2021年10月			97	37.3%			7	13.0%			104	33.1%		
2021年11月			79	30.4%			12	22.2%			91	29.0%		
2021年12月			46	17.7%			15	27.8%			61	19.4%		
2022年1月			27	10.4%			19	35.2%			46	14.6%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果														
初めて陽性と知った			3	1.2%			2	3.7%			5	1.6%	0.01	
陰性だった			255	98.1%			49	90.7%			304	96.8%		
判定不能			1	0.4%			3	5.6%			4	1.3%		
再罹患			1	0.4%			0	0.0%			1	0.3%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
検査DATA 梅毒抗体検査結果														
既往あり			2	0.8%			0	0.0%			2	0.6%	<0.01	
初めて陽性と知った			7	2.7%			4	7.4%			11	3.5%		
陰性だった			219	84.2%			45	83.3%			264	84.1%		
判定不能			6	2.3%			5	9.3%			11	3.5%		
再罹患			26	10.0%			0	0.0%			26	8.3%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
検査DATA 結果閲覧の状況														
未読			6	2.3%			3	5.6%			9	2.9%	0.19	
既読			254	97.7%			51	94.4%			305	97.1%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
年齢階級（10歳区分）														
29歳以下	91	30.4%	75	28.8%			13	24.1%			179	29.2%	0.10	
30-39歳	94	31.4%	97	37.3%			19	35.2%			210	34.3%		
40-49歳	75	25.1%	65	25.0%			16	29.6%			156	25.4%		
50-59歳	30	10.0%	20	7.7%			4	7.4%			54	8.8%		
60歳以上	9	3.0%	3	1.2%			1	1.9%			13	2.1%		
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%			1	1.9%			1	0.2%		
合計	299	100.0%	260	100.0%			54	100.0%			613	100.0%		

表 3-2 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者属性（東京）

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	2	0.7%	0	0.0%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.5%	<0.01
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北関東	6	2.0%	8	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	2.4%	
東京	187	62.5%	165	63.5%	19	65.5%	19	65.5%	19	65.5%	371	63.1%	
南関東	88	29.4%	76	29.2%	4	13.8%	4	13.8%	4	13.8%	168	28.6%	
甲信越	1	0.3%	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.7%	
北陸	2	0.7%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.5%	
東海	8	2.7%	4	1.5%	1	3.4%	1	3.4%	1	3.4%	13	2.2%	
近畿	4	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.7%	
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
四国	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	
九州	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%	
沖縄	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	4	13.8%	4	13.8%	4	13.8%	4	0.7%	
合計	299	100.0%	260	100.0%	29	100.0%	29	100.0%	29	100.0%	588	100.0%	
国籍													
日本	271	90.6%	240	92.3%							511	91.4%	0.28
アジア	22	7.4%	16	6.2%							38	6.8%	
欧米	1	0.3%	3	1.2%							4	0.7%	
その他	5	1.7%	1	0.4%							6	1.1%	
合計	299	100.0%	260	100.0%							559	100.0%	
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			112	58.9%	16	55.2%					128	58.4%	0.28
郊外住宅地			65	34.2%	9	31.0%					74	33.8%	
農村地域・漁村地域			3	1.6%	0	0.0%					3	1.4%	
山間部			2	1.1%	0	0.0%					2	0.9%	
離島			0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
無回答			8	4.2%	4	13.8%					12	5.5%	
合計			190	100.0%	29	100.0%					219	100.0%	
性別													
男性	297	99.3%	259	99.6%	53	98.1%					609	99.3%	0.03
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
トランスジェンダー	2	0.7%	1	0.4%	0	0.0%					3	0.5%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%					1	0.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%	54	100.0%					613	100.0%	
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			2	1.1%	0	0.0%					2	0.9%	0.31
いいえ			176	92.6%	25	86.2%					201	91.8%	
無回答			12	6.3%	4	13.8%					16	7.3%	
合計			190	100.0%	29	100.0%					219	100.0%	
居住形態													
独居	183	61.2%	164	63.1%							347	62.1%	0.49
同居	116	38.8%	95	36.5%							211	37.7%	
定住先はない	0	0.0%	1	0.4%							1	0.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%							559	100.0%	

表 3-3 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO 活動認知 (東京)

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	210	70.2%	221	85.0%			431	77.1%	<0.01
ない（今回が初めての検査）	89	29.8%	39	15.0%			128	22.9%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	116	38.8%	108	41.5%			224	40.1%	0.54
ない	183	61.2%	152	58.5%			335	59.9%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）									
保健所	45	15.1%	44	16.9%			89	15.9%	<0.01
病院/クリニック	45	15.1%	40	15.4%			85	15.2%	<0.01
郵送検査	30	10.0%	25	9.6%			55	9.8%	<0.01
その他	29	9.7%	23	8.8%			52	9.3%	<0.01
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）									
ゲイバー	93	31.1%	93	35.8%			186	33.3%	0.28
ゲイイベント	18	6.0%	20	7.7%			38	6.8%	0.50
ゲイショップ	27	9.0%	34	13.1%			61	10.9%	0.14
有料のハッテン場	116	38.8%	99	38.1%			215	38.5%	0.93
野外のハッテン場	26	8.7%	28	10.8%			54	9.7%	0.47
いずれもない	120	40.1%	99	38.1%			219	39.2%	0.66
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）									
Twitter	106	35.5%	85	32.7%			191	34.2%	0.53
Instagram	27	9.0%	28	10.8%			55	9.8%	0.57
VERO	29	9.7%	25	9.6%			54	9.7%	1.00
9monsters	261	87.3%	214	82.3%			475	85.0%	0.12
Men's Net Japan	55	18.4%	41	15.8%			96	17.2%	0.43
KO-MENSTV	4	1.3%	3	1.2%			7	1.3%	1.00
その他	18	6.0%	29	11.2%			47	8.4%	0.03
いずれもない	25	8.4%	25	9.6%			50	8.9%	0.66
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。									
受け取っていない	278	93.0%	243	93.5%			521	93.2%	0.96
受け取ったけど、利用していない	1	0.3%	1	0.4%			2	0.4%	
受け取って、利用した	20	6.7%	16	6.2%			36	6.4%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。									
よく知っている	39	13.0%	38	14.6%			77	13.8%	0.88
少し知っている	110	36.8%	100	38.5%			210	37.6%	
あまり知らない	114	38.1%	92	35.4%			206	36.9%	
全く知らない	36	12.0%	30	11.5%			66	11.8%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	

表 3-4 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動①（東京）

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？									
ある	270	90.3%	243	93.5%			513	91.8%	0.22
ない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	70	23.4%	70	26.9%			140	25.0%	0.30
友達やセクフレ	173	57.9%	156	60.0%			329	58.9%	0.40
その場限りの相手	165	55.2%	140	53.8%			305	54.6%	0.29
その他	3	1.0%	2	0.8%			5	0.9%	0.38
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。									
ある	234	78.3%	197	75.8%			431	77.1%	0.09
ない	36	12.0%	46	17.7%			82	14.7%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。									
ある	117	39.1%	99	38.1%			216	38.6%	0.33
ない	153	51.2%	144	55.4%			297	53.1%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。									
ある	69	23.1%	58	22.3%			127	22.7%	0.36
ない	201	67.2%	185	71.2%			386	69.1%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。									
ある	13	4.3%	15	5.8%			28	5.0%	0.32
ない	257	86.0%	228	87.7%			485	86.8%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。									
ある	18	6.0%	9	3.5%			27	4.8%	0.13
ない	252	84.3%	234	90.0%			486	86.9%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。									
ある	6	2.0%	5	1.9%			11	2.0%	0.40
ない	264	88.3%	238	91.5%			502	89.8%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況									
非常用	207	69.2%	203	78.1%			410	73.3%	0.06
常用	63	21.1%	40	15.4%			103	18.4%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	

表 3-5 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況 (東京)

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」について知っていますか。									
とてもよく知っている	90	30.1%	72	27.7%			162	29.0%	0.06
具体的には知らないが、聞いた	177	59.2%	173	66.5%			350	62.6%	
まったく知らない	32	10.7%	15	5.8%			47	8.4%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」に対する使用意図									
服薬したくない/どちらかといえば	59	20.1%	58	22.4%			117	21.2%	0.53
服薬したい/どちらかといえば	235	79.9%	201	77.6%			436	78.8%	
合計	294	100.0%	259	100.0%			553	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」の使用経験									
ない	255	86.7%	230	88.8%			485	87.7%	0.52
ある	39	13.3%	29	11.2%			68	12.3%	
合計	294	100.0%	259	100.0%			553	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。(複数回答)									
梅毒	41	13.7%	31	11.9%			72	12.9%	0.61
A型肝炎	6	2.0%	2	0.8%			8	1.4%	
B型肝炎	24	8.0%	15	5.8%			39	7.0%	0.32
C型肝炎	2	0.7%	0	0.0%			2	0.4%	
クラミジア	41	13.7%	31	11.9%			72	12.9%	0.61
尖圭コンジローマ	20	6.7%	13	5.0%			33	5.9%	
淋病	27	9.0%	26	10.0%			53	9.5%	0.77
HIV感染症	5	1.7%	1	0.4%			6	1.1%	
赤痢アメーバ	4	1.3%	2	0.8%			6	1.1%	0.69
毛じらみ	89	29.8%	63	24.2%			152	27.2%	
性器ヘルペス	12	4.0%	8	3.1%			20	3.6%	0.65
その他	4	1.3%	6	2.3%			10	1.8%	
いずれもない	144	48.2%	130	50.0%			274	49.0%	0.67
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。(複数回答)									
アプリ広告で知った			133	70.0%	21	72.4%	154	70.3%	0.03
インターネットで知った			31	16.3%	2	6.9%	33	15.1%	
コミュニティセンターで知った			13	6.8%	2	6.9%	15	6.8%	0.07
ゲイバーで知った			4	2.1%	1	3.4%	5	2.3%	
友達から聞いた			19	10.0%	3	10.3%	22	10.0%	0.07
その他			4	2.1%	0	0.0%	4	1.8%	
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。									
簡単だった			111	58.4%	15	51.7%	126	57.5%	0.23
どちらでもない			30	15.8%	2	6.9%	32	14.6%	
難しかった			44	23.2%	10	34.5%	54	24.7%	0.23
無回答			5	2.6%	2	6.9%	7	3.2%	
合計			190	100.0%	29	100.0%	219	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。									
回答した			179	94.2%	22	75.9%	201	91.8%	<0.01
していない			3	1.6%	3	10.3%	6	2.7%	
無回答			8	4.2%	4	13.8%	12	5.5%	
合計			190	100.0%	29	100.0%	219	100.0%	

2021年度の東京地域の状況

①コミュニティの状況

- ・政府や東京都による緊急事態宣言や、時短要請等が相次いだり、度重なる発令に、新宿二丁目の商業施設も独自のガイドラインや都の基準を守りつつ試行錯誤した営業をしていた。
- ・aktaも時短営業や、一部開館日数を制限するなどし営業した。
- ・一時期より感染者数の減少から新宿二丁目の人流も少しずつ回復してきていたが、オミクロン株による感染拡大の影響により、年明けより蔓延防止等重点措置が発令され、新宿二丁目の商業施設では、これまで以上に休店する店舗が見受けられた。(2月は1年の中で最も売上がないことや、開けていても人が来ないなどが原因とされる)
- ・二丁目での飲み習慣が止まることで、二丁目への人流回復に影響が出てきているところもあった。

②検査機会の動向

- ・保健所でのHIV検査は、緊急事態宣言および重点措置等の影響を受け、不安定な状況が2020年度から続いている。
- ・東京都は、東京都新宿厚生労働省の通達を受け、保健所が医療機関などに委託してHIV検査を再開するところ、医療機関への委託の検討・相談を開始するところが増えた。
- ・保健所でのHIV検査が再開され、MSM向けの広報協力等をaktaで行ったが、予約枠が埋まらないケースも散見された。
- ・国立国際医療研究センターSH外来のほか、クリニックでのMSMのHIV検査受検機会活用が目立つ。また、自費診療のクリニックでのMSMの受検状況についても意見交換を行っている。
- ・自己輸入によるPrEPの広報等が、ゲイ向け出会い系アプリ等で行われている状況で、HIV・性感染症の定期的な受検機会など、医療機関での見守り体制の構築が急務である。

2

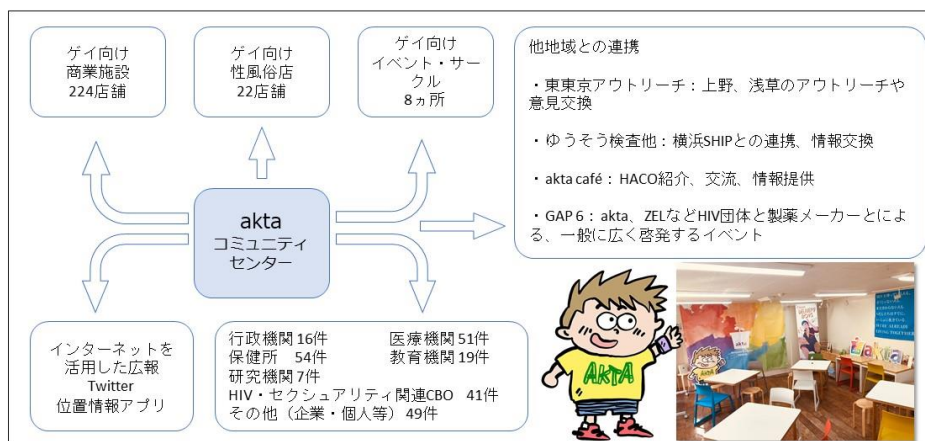
地域の商業施設数と連携

2022年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数(新宿)	連携率(カバー率)	備考
ゲイバー	671 (351)	223 (162)	33.2% (46.1%)	
有料ハッテン場	47 (11)	22 (9)	46.8% (81.8%)	
ゲイナイト	コロナ禍で流動的	1	-	
ウリ専	8 (8)	3 (3)	37.5% (37.5%)	
ゲイショップ	35 (9)	9 (4)	25.7% (44.4%)	
サウナ・ホテル	11 (4)	7 (4)	63.6% (100%)	
マッサージ	不明	0	0%	
ゲイ雑誌	1	0	0%	
スマホアプリ		4	-	
ウェブサイト		4	-	
ゲイサークル	不明	0	0%	
その他()				

3

普及啓発活動の状況



4

コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	: 常勤 4人 非常勤 2人、ボランティア 約 130人
開館曜日	: 木曜日～日曜日の週4日（月曜日～水曜日、年末年始を定休日とする）
開館時間	: 15時～21時
総来場者数*	: 1428名（前年度比 143.37% ）
初来場者数*	: 499名（前年度比 297.02% ）
相談件数*	: 81件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談38件）

政府による緊急事態宣言の発出により、5月、6月は木曜日も閉館とした。

*2021年4月～2022年1月まで

センターにおけるプログラムの展開： *名前とカテゴリ（展覧会・講座・カフェ等）、対象年齢（若年層・中高年層・全般）
・akta café（カフェ・若年層）・YouTube（WEB・全般）・ゆうそう検査（検査・若年層）・専門相談会（相談・全般）・他、各種展覧会、Talk Show、見学対応、ミーティング等スペース貸し出し

5

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	155	67	74	113	69	114	245	331	153	107			1428
うち新規	54	10	24	26	16	38	108	143	39	41			499
相談件数	11	7	6	9	13	17	8	6	5	5			87
WEB akta.jp (ユーザー数)	6,145	14,601	5,515	5,028	5,597	7,354	12,079	10,916	3,461	3,113			73,809
WEB YouTube (視聴数)	2,365	2,786	3,606	2,759	1,936	2,113	2,445	4,266	5,054	3,783			31,113

6

akta cafe

プログラムの目的・必要性：
若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。また「aktaゆうそう検査(HIV・梅毒)」によるaktaの検査イメージと、コミュニティ感覚のバランスを図る。
対象となる人や施設：主に若年層のMSMや、居場所や相談ニーズのあるMSM。
予算：コミュニティセンター事業 その他の投入資源：募金

実施内容（資材・WEB展開）：
2018年より年10回、community center aktaにて利益を目的としない営業範囲に留めcafe営業を開始。2021年度は7月～9月の第2・4日曜日15:00～18:00の夏季限定で実施。過去実施の中では相談ニーズや居場所を求める利用者が多かったことから、相談支援や居場所などの役割をもった他団体や、akta別プログラムとコラボレーションを行い、利用者にとっての相談や居場所の選択肢を増やすと共に、外部とのネットワークを構築する。新型コロナ対策として、オンラインでも参加できる枠を用意し、akta caféスタッフや、akta非公式キャラクター「あくたくん」と話せる機会の提供を行った。



moyamoya aktaで話そう、聞いてみよう

プログラムの目的・必要性：
 セックスについて話をしても大丈夫だという空気感や場・機会を作り、予防行動や知識の向上、コミュニティ全体のリテラシー向上につなげていく。またHIVやセクシュアルヘルスについての「相談」のハードルを下げて、心の中のもやもやを話せる機会をつくる。
対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアルなど、男性と性行為をする男性（MSM）
予算：コミュニティセンター事業

実施内容（資材・WEB展開）：無料・予約制、相談員2名（1回に1名ずつ）
 ・今年は「akta café」と連動することで「相談」のハードルを下げて、コミュニケーションをとりながら、HIVやセックス、セクシュアルヘルスの話をできる機会を提供した。また「ゆうそう検査」のサポート機会とした。
 ・新型コロナウイルス感染症対策として、予約システムを導入し、館内での感染症対策を徹底した。



結果：
 ポスター配布：デリバリーボーイズ(162件)、発送(約330件)、関係機関(5件)他
 パナー広報：9monsters帯パナー(1週間)表示回数：7,056,495回 クリック数：2,099回
 ①8月8日(日) 相談件数：2件（事前予約：0名、当日：2名）
 ②9月12日(日) 相談件数：2件（事前予約：1名、当日：1名）
 ③10月10日(日) 相談件数：2件（事前予約：1名、当日：1名）
 ④11月14日(日) 相談件数：1件（事前予約：0名、当日：1名）
 ※①②は「akta café」とコラボ、③④は「ゆうそう検査」とコラボ
 今後：プログラム全体の中で「相談」の位置づけについて検討が必要である。

akta monthly schedule

プログラムの目的・必要性：
 aktaの周知と、DELIVERY BOYSの配布店舗へのインタビュー記事を通し、活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二目的のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信するフリーペーパー。
対象となる人や施設：新宿二丁目のゲイバー等商業施設や、そこに集うお客さん。他、MSM。
予算：コミュニティセンター事業

実施内容（資材・WEB展開）：
 aktaの利用状況を記載したカレンダーと、裏面にはコンドームアウトリーチにご協力いただいている店舗より、パーママさんや、スタッフさんのインタビューを掲載。2021年度はaktaプログラム関係者のインタビューや、トピック情報も追加され、広くaktaを知る機会の提供とした。また、紙面版では載せきれなかった内容を、ウェブ版にて公開。写真も加わり、より内容を深く掘り下げられます。



発行部数：2021年4月号～2022年1月号まで各号5,000部 発行、配布
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/162店舗、その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/91店舗、保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/93施設、HIV関連NGO/20施設 その他/73施設



デリバリーボーイズ



2021年度

プログラムの目的・必要性：
 セーフアセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。
対象となる人や施設：新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブの顧客と従業員。また、参加するボランティアスタッフも対象となる。 予算：コミュニティセンター事業

実施内容（アウトリーチ/ オンライン交流会）：
 毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブにコンドームをはじめとした性の健康に関する様々なアイデアを配布(アウトリーチ)する活動です。
 ※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、マスクの着用・実施前の検温・消毒(活動中も適宜消毒)を行い、感染症対策を施し実施した。緊急事態宣言期間中など、直接のアウトリーチができない際のアウトリーチ方法として、ポスティングやLINE公式アカウントの開設等を行った。

実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時
登録者数：132名(内毎回5～10名前後のスタッフが参加)
配布店舗数：162店舗
コンドーム配布数：年間4,842個 1回約500～1000個配布。
稼働日数：22日※ポスティング7回を含む。



今年度作成した、コンドームパッケージ
 今年度はコロナの影響でアウトリーチを中止した機関があった為、コンドームの製作数を減らした。

10

新プロジェクト HAVE A NICE SEX ファクトシート

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではなく性感染症の情報、HIVの常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携をとり、医療現場での情報周知にも役立てる内容とする。
対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアリティなど男性と性行為をする男性 (MSM)
予算：コミュニティセンター事業

実施内容 (資材)：
 今年度は「①HIV/梅毒の動向」「②B型肝炎」「③PrEP」の3つのテーマで作成。
 主に、東京都委託事業によるトークショーテーマと併せる形で、内容を編集。
 専門家の医療監修を受け、コミュニティ、特に若い層に需要のあるイラストを使用し、キャッチーさを演出。



※画像はラフ段階のイメージです。

発行部数：A5折、各種5,000部を予定。
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/162店舗、その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/91店舗、保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/93施設、HIV関連NGO/20施設、その他/73施設を予定。

11

akta YouTube チャンネル

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルスの情報発信を、YouTube aktaオフィシャルチャンネルから発信する。
対象となる人や施設：YouTubeを見るゲイ・バイセクシュアリティなど男性と性行為をする男性 (MSM)
予算：コミュニティセンター事業/東京都委託事業/NPO法人akta

実施内容 (WEB展開)：
 いくつかのコンテンツに分け、月に2本動画を制作。今年度は、バーママさんたちのチャンネルとコラボをし、新たな新規視聴層の獲得と情報発信に心がけた。

<p>akta大学 大学の講義形式で、トピックについてポイント解説を行う。</p>	<p>3分×3分 aktaスタッフが、視聴者の疑問に3分以内に回答するコーナー。</p>	<p>資料紹介 aktaが作成している資料等について、紹介するコーナー。</p>
--	---	---

視聴回数：49,197回 (1月末日時点)
登録者数：606人(前年度より273人増)
参考：
 2020年4月～2021年1月→視聴回数 9,199回(前年度の3.2倍増)
 2021年4月～2022年1月→視聴回数 29,000回

<p>コラボ企画!!</p>	<p>NEW! コラボ企画 人気のゲイバーのママさん4人で構成されるYouTubeチャンネルとコラボ！この動画をキッカケに登録者数がグンと伸びた！</p>
-----------------------	---

12

Living Together LIVING TOGETHER

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 HIVを自分の事として身近に捉える機会を提供すると共に、陽性者の声を可視化しながら、スティグマを低減させる。また、自分の行動を振り返り、予防行動・検査行動へとつなげる。
対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアルなど男性と性行為をする男性 (MSM)
予算：東京都委託事業

実施内容 (WEB展開)：
 ゲストがHIV陽性者や、その周囲の人の手記を朗読し、感想を話す。
 今年度は「オンラインリーディング」として、動画に収録したものを、編集し、オンライン上で広く配信した。
 他にも「オンライン配信ライブショー」として、手記の朗読と感想に加え、LIVEパフォーマンスを生配信し、その後アーカイブとして配信。

<p>第5回ゲスト： かつまきさん (スナック九州男ママ)</p>	<p>第6回ゲスト： 保野悠樹さん (第35回日本エイズ学会学術集会・総会 学会長/国立感染症研究所エイズ研究センター長)</p>
<p>第7回ゲスト： ドリファン・コロプリダさん (ドラァククイーン) ※TOKYO AIDS WEEKS 2021参加</p>	<p>ゲスト：Hugestさん (DJ) / レイチェル・ダムールさん (ドラァククイーン) LIVE：つつき</p>

総視聴回数：オンラインリーディング1,675回 (1月末日時点)
 LIVEショー当日80回/アーカイブ1,778回

13

行政連携（検査機会の提供）

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 ゲイ・バイセクシュアル男性があんしんして検査を受けられる環境を整備して、セクシュアリティに配慮した検査普及を行い、HIV感染の早期発見をし、エイズ発症により感染を知るケースを減少させる。
 対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアリティなど男性性と性行為をする男性（MSM）
 予算：東京都/新宿区/港区/千葉県

連携内容（資料/WEB展開）：
 ゲイに人気のアプリやネット媒体(9monsters、MENS NET JAPAN)にて、バナー広告を展開。セクシュアリティや地域性を考慮したイラスト、デザインでのバナー広告を展開した。他、HIV検査の受検者へ配布する啓発資料の作成。



14

ゆうそう検査の取り組み



2021年度

主に対象となる人や施設：
 18歳以上（2021年4月時点で高校を卒業している）で、日本語での説明を読み、同意する事ができ、事前にアンケートに回答している、男性とセックスをする男性（MSM）
 配布方法：月曜日（予約制/対面）・木曜日～日曜日（予約なし/対面）
 研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費

工夫した内容（資料・WEB展開）：
 ・説明を動画にまとめ、事前に確認してもらう事でのスムーズな受け渡し。
 ・医療機関のつなぎ等、重要な部分はスタッフから口頭で説明。
 ・月曜日を予約制とし、受験者同士の接触の機会を減らした。
 ・確認検査受入機関として、行政の他、東京都内15の医療施設と連携。



結果：
 実施日時 2021年9月25日(土)～2021年12月3日(金) 49日間
 検査キット配布数 387件（月曜日予約件数121件/受取数103件）
 アクセス数 PV数 23,672件(2021年9月～12月)
 実施した反応
 ・グループでの受け取りは準備性がバラバラ。一緒だと説明が難しい。
 ・質問では、結果の受け取りまでの時間や、梅毒に関する基本情報、HIVと梅毒で結果は別々に来るか? など
 ・ろう者の方への説明。
 ・グループで外国人×日本人の組み合わせの場合の説明、結果受け取りの意味の伝え方。



15

+

次年度の取り組みについて

コミュニティセンターの機能再検討・来場者を集める

上野・浅草プロジェクト（東京アウトリーチ）
 go to 2丁目プロジェクト→ヤローページ(新宿版)

aktaゆうそう検査・ディスペンサープロジェクト
 クリニック検査等。保健所検査の再開支援。

PrEPやU=Uなど、予防に関連する新しい情報
 → コンビネーション予防の情報提供・広報・リテラシー向上

若い人たちに関わってもらう施策(スタッフ・利用者集客・認知向上)



16

表 4-1 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者概要 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況												Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用				合計		
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
NPO法人SHIP (神奈川県)	74	7.5%	49	9.6%	58	14.0%	0	0.0%	23	8.2%	204	8.9%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			0	0.0%	39	67.2%			11	47.8%	50	38.5%	<0.01
2021年10月			26	53.1%	12	20.7%			2	8.7%	40	30.8%	
2021年11月			14	28.6%	2	3.4%			3	13.0%	19	14.6%	
2021年12月			6	12.2%	4	6.9%			1	4.3%	11	8.5%	
2022年1月			3	6.1%	1	1.7%			6	26.1%	10	7.7%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%	1	1.7%			2	8.7%	3	2.3%	0.13
陰性だった			48	98.0%	57	98.3%			21	91.3%	126	96.9%	
判定不能			1	2.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.8%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.09
初めて陽性と知った			2	4.1%	4	6.9%			5	21.7%	11	8.5%	
陰性だった			41	83.7%	46	79.3%			18	78.3%	105	80.8%	
判定不能			1	2.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.8%	
再罹患			5	10.2%	8	13.8%			0	0.0%	13	10.0%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			0	0.0%	0	0.0%			2	8.7%	2	1.5%	<0.01
既読			49	100.0%	58	100.0%			21	91.3%	128	98.5%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)													
29歳以下	33	44.6%	13	26.5%	19	32.8%			6	26.1%	71	34.8%	0.23
30-39歳	24	32.4%	26	53.1%	24	41.4%			13	56.5%	87	42.6%	
40-49歳	14	18.9%	7	14.3%	10	17.2%			2	8.7%	33	16.2%	
50-59歳	2	2.7%	2	4.1%	3	5.2%			1	4.3%	8	3.9%	
60歳以上	1	1.4%	1	2.0%	2	3.4%			0	0.0%	4	2.0%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			1	4.3%	1	0.5%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	204	100.0%	

表 4-2 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者属性 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.01
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北関東	4	5.4%	1	2.0%	3	5.2%	1	8.3%	9	4.7%	9	4.7%	
東京	30	40.5%	10	20.4%	19	32.8%	5	41.7%	64	33.2%	64	33.2%	
南関東	33	44.6%	37	75.5%	29	50.0%	4	33.3%	103	53.4%	103	53.4%	
甲信越	4	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.1%	4	2.1%	
北陸	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.5%	
東海	1	1.4%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	3	1.6%	3	1.6%	
近畿	1	1.4%	0	0.0%	2	3.4%	1	8.3%	4	2.1%	4	2.1%	
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	3	5.2%	0	0.0%	3	1.6%	3	1.6%	
沖縄	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	2	1.0%	2	1.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	12	100.0%	193	100.0%	193	100.0%	
国籍													
日本	71	95.9%	48	98.0%	55	94.8%			174	96.1%	174	96.1%	0.70
アジア	3	4.1%	1	2.0%	3	5.2%			7	3.9%	7	3.9%	
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	181	100.0%	
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			13	36.1%	15	37.5%	7	58.3%	35	39.8%	35	39.8%	0.58
郊外住宅地			19	52.8%	22	55.0%	5	41.7%	46	52.3%	46	52.3%	
農村地域・漁村地域			0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答			4	11.1%	2	5.0%	0	0.0%	6	6.8%	6	6.8%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	88	100.0%	
性別													
男性	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	22	95.7%	203	99.5%	203	99.5%	0.05
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	1	0.5%	1	0.5%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	23	100.0%	204	100.0%	204	100.0%	
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.19
いいえ			30	83.3%	37	92.5%	12	100.0%	79	89.8%	79	89.8%	
無回答			6	16.7%	3	7.5%	0	0.0%	9	10.2%	9	10.2%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	88	100.0%	
居住形態													
独居	49	66.2%	33	67.3%	37	63.8%			119	65.7%	119	65.7%	0.92
同居	25	33.8%	16	32.7%	21	36.2%			62	34.3%	62	34.3%	
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	181	100.0%	

表 4-3 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO 活動認知 (神奈川)

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗
	アンケート		ID使用				ID不使用		合計		
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布					
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	50	67.6%	38	77.6%	46	79.3%			134	74.0%	0.25
ない（今回が初めての検査）	24	32.4%	11	22.4%	12	20.7%			47	26.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	30	40.5%	20	40.8%	19	32.8%			69	38.1%	0.59
ない	44	59.5%	29	59.2%	39	67.2%			112	61.9%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）											
保健所	8	10.8%	6	12.2%	8	13.8%			22	12.2%	0.29
病院/クリニック	12	16.2%	6	12.2%	5	8.6%			23	12.7%	0.30
郵送検査	10	13.5%	9	18.4%	8	13.8%			27	14.9%	0.32
その他	8	10.8%	3	6.1%	6	10.3%			17	9.4%	0.26
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）											
ゲイバー	18	24.3%	9	18.4%	5	8.6%			32	17.7%	0.06
ゲイイベント	3	4.1%	0	0.0%	0	0.0%			3	1.7%	0.11
ゲイショップ	2	2.7%	2	4.1%	2	3.4%			6	3.3%	0.91
有料のハッテン場	22	29.7%	22	44.9%	12	20.7%			56	30.9%	0.03
野外のハッテン場	12	16.2%	3	6.1%	2	3.4%			17	9.4%	0.03
いずれもない	37	50.0%	19	38.8%	41	70.7%			97	53.6%	<0.01
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）											
Twitter	30	40.5%	19	38.8%	21	36.2%			70	38.7%	0.88
Instagram	5	6.8%	5	10.2%	8	13.8%			18	9.9%	0.41
VERO	10	13.5%	7	14.3%	5	8.6%			22	12.2%	0.60
9monsters	68	91.9%	44	89.8%	51	87.9%			163	90.1%	0.75
Men's Net Japan	15	20.3%	5	10.2%	12	20.7%			32	17.7%	0.27
KO-MENSTV	1	1.4%	0	0.0%	2	3.4%			3	1.7%	0.37
その他	6	8.1%	0	0.0%	2	3.4%			8	4.4%	0.09
いずれもない	2	2.7%	5	10.2%	3	5.2%			10	5.5%	0.20
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。											
受け取っていない	69	93.2%	40	81.6%	50	86.2%			159	87.8%	0.14
受け取ったけど、利用していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
受け取って、利用した	5	6.8%	9	18.4%	8	13.8%			22	12.2%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。											
よく知っている	10	13.5%	4	8.2%	4	6.9%			18	9.9%	0.29
少し知っている	22	29.7%	15	30.6%	18	31.0%			55	30.4%	
あまり知らない	23	31.1%	24	49.0%	26	44.8%			73	40.3%	
全く知らない	19	25.7%	6	12.2%	10	17.2%			35	19.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	

表 4-4 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動① (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？													
ある	66	89.2%	47	95.9%	53	91.4%					166	91.7%	0.41
ない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？ (複数回答)													
彼氏や恋人	10	13.5%	6	12.2%	5	8.6%					21	11.6%	0.62
友達やセクフレ	44	59.5%	30	61.2%	33	56.9%					107	59.1%	0.73
その場限りの相手	42	56.8%	28	57.1%	36	62.1%					106	58.6%	0.64
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。													
ある	61	82.4%	39	79.6%	47	81.0%					147	81.2%	0.38
ない	5	6.8%	8	16.3%	6	10.3%					19	10.5%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。													
ある	18	24.3%	19	38.8%	11	19.0%					48	26.5%	0.15
ない	48	64.9%	28	57.1%	42	72.4%					118	65.2%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、複数人 (3人以上) で同時にセックスをしたことがありますか。													
ある	12	16.2%	12	24.5%	12	20.7%					36	19.9%	0.61
ない	54	73.0%	35	71.4%	41	70.7%					130	71.8%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。													
ある	3	4.1%	3	6.1%	3	5.2%					9	5.0%	0.74
ない	63	85.1%	44	89.8%	50	86.2%					157	86.7%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。													
ある	3	4.1%	3	6.1%	2	3.4%					8	4.4%	0.71
ない	63	85.1%	44	89.8%	51	87.9%					158	87.3%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。													
ある	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%					1	0.6%	0.42
ない	66	89.2%	47	95.9%	52	89.7%					165	91.2%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況													
非常用	50	67.6%	32	65.3%	42	72.4%					124	68.5%	0.47
常用	16	21.6%	15	30.6%	11	19.0%					42	23.2%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	

表 4-5 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗		
	アンケート		ID使用				ID不使用			合計	
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布					
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」について知っていますか。											
とてもよく知っている	19	25.7%	10	20.4%	10	17.2%		39	21.5%	0.81	
具体的には知らないが、聞いた	50	67.6%	36	73.5%	43	74.1%		129	71.3%		
まったく知らない	5	6.8%	3	6.1%	5	8.6%		13	7.2%		
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%		181	100.0%		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」に対する使用意図											
服薬したくない/どちらかといえば	20	27.0%	10	20.4%	14	24.1%		44	24.3%	0.70	
服薬したい/どちらかといえば	54	73.0%	39	79.6%	44	75.9%		137	75.7%		
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%		181	100.0%		
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」の使用経験											
ない	69	93.2%	42	85.7%	53	91.4%		164	90.6%	0.36	
ある	5	6.8%	7	14.3%	5	8.6%		17	9.4%		
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%		181	100.0%		
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。(複数回答)											
梅毒	9	12.2%	6	12.2%	8	13.8%		23	12.7%	0.96	
A型肝炎	0	0.0%	2	4.1%	2	3.4%		4	2.2%	0.24	
B型肝炎	2	2.7%	3	6.1%	4	6.9%		9	5.0%	0.50	
C型肝炎	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%		1	0.6%	0.48	
クラミジア	9	12.2%	6	12.2%	9	15.5%		24	13.3%	0.83	
尖圭コンジローマ	5	6.8%	5	10.2%	4	6.9%		14	7.7%	0.75	
淋病	4	5.4%	2	4.1%	4	6.9%		10	5.5%	0.82	
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%		
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%		
毛じらみ	17	23.0%	14	28.6%	19	32.8%		50	27.6%	0.45	
性器ヘルペス	2	2.7%	0	0.0%	1	1.7%		3	1.7%	0.52	
その他	2	2.7%	0	0.0%	1	1.7%		3	1.7%	0.52	
いずれもない	40	54.1%	26	53.1%	28	48.3%		94	51.9%	0.79	
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。(複数回答)											
アプリ広告で知った			26	72.2%	31	77.5%	8	66.7%	65	73.9%	0.47
インターネットで知った			4	11.1%	5	12.5%	3	25.0%	12	13.6%	0.49
コミュニティセンターで知った			1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0.45
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%	1	0	0	0.0%	
友達から聞いた			2	5.6%	1	2.5%	0	0.0%	3	3.4%	0.51
その他			0	0.0%	1	2.5%	1	8.3%	2	2.3%	0.31
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。											
簡単だった			22	61.1%	24	60.0%	8	66.7%	54	61.4%	0.93
どちらでもない			4	11.1%	7	17.5%	1	8.3%	12	13.6%	
難しかった			8	22.2%	7	17.5%	3	25.0%	18	20.5%	
無回答			2	5.6%	2	5.0%	0	0.0%	4	4.5%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。											
回答した			32	88.9%	38	95.0%	11	91.7%	81	92.0%	0.62
していない			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答			4	11.1%	2	5.0%	1	8.3%	7	8.0%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	

資料2 MSM ALL JAPAN. ミーティングおよび班会議資料 (神奈川)

ゆうそう検査横浜 2021 報告 (特定非営利活動法人SHIP 星野慎二)

(1) 対面による配布

月日	曜日	時間	会場	広報	スタッフ数	予約	定員	事前予約	配布数
10月1日	金	17:30~20:30	福祉保健活動拠点 フクシア	Twitter+9モンパ ナー広告	3	事前予約 制	12	9	9
10月3日	日	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	22	20
10月31日	日	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	15	14
11月7日	日	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	12	8
11月27日	土	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	8	6
12月10日	水	16:00~20:00	SHIPにじいろキャ ビン	Twitterのみ	1	予約なし	---	---	4
計							100	66	61

(2) 郵送による配布

月日	受付数	広報
9月18日~9月23日まで	142	9monsterバナー広告、Twitter
12月8日~12月28日まで	10	Twitter
合計	152	

9monsters バナー広告 掲載

期間	種別	バナー画像
9月20日~2週間	地域限定 (関東)	
10月20日~2週間	地域限定 (関東)	
11月21日~1週間	地域限定 (関東)	

HIV性感染症即日検査 (今村班) (1月まで)

MSM限定のHIV即日検査を毎月1回実施

(1) 月別受検者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員	15	15	15	15	中止	中止	15	15	15	15			120
相談件数	12	14	14	15			12	14	14	14			109

(2) 検査結果

	受検者数	リピーター	HIV	梅毒 (TP抗体)	B型肝炎 (HBs抗原)
人数	109	73	0	12	0
(%)		(67%)	(0%)	(11.01%)	(0%)

コミュニティ支援部門 (1月まで)

LGBTコミュニティの居場所づくり

(1) コミュニティスペース「SHIPにじいろキャビン」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日 (回)	17	16	16	17	12	13	17	11	16	11			146
利用者数 (人数)	33	20	29	26	9	12	38	23	24	14			228

(2) 交流会 (セクシュアリティ・年齢別)

	1月	4月	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数 (回)	4	6	5	6	5	1	6	5	5	4			43
参加者数 (人数)	14	24	9	25	21	2	23	19	29	14			166

健康支援部門 (1月まで)

LGBTコミュニティ向けの相談

(1) 臨床心理士による対面相談「SHIPカウンセリング」(有料)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3			57
相談件数	12	8	9	7	5	5	9	10	8	9			82

(2) 電話相談「SHIPほっとライン」(無料)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4			43
相談件数 (人数)	23	20	15	25	18	26	21	18	24	21			211

啓発部門

(1) 講演・研修 (2021年4月～2022年1月まで)

対象者	回数
行政職員向け	15
福祉関係	4
保健師向け	1
教職員	35
児童・生徒向け	13
学生向け	11
PTA向け	0
一般市民	1
NPO職員向け	3
合計	83

東海における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学 大学院看護学研究科 准教授）

研究協力者：石田敏彦、藤浦裕二、藤井良樹（ANGEL LIFE NAGOYA）

研究要旨

クリニック検査については、広域の地方圏である岐阜市内の利便性が高いクリニックから協力の承諾を得て、検査提供を行った。また名古屋市の高利便性の高い繁華街の性感染症クリニックのみならず、新たに三河地域においても新規のクリニックを開拓し協力を得た。3クリニックで総計57名の利用があった。年間のHIVの陽性件数は2件であった。梅毒は既往歴と新規感染合わせて12名の陽性が見られた。

ゆうそう検査は、総計75キットを配布した。コミュニティセンターriseでの対面配布が15件、WEBでの配布が60件であった。アンケートに回答したものは75名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは57名であった。HIV陽性件数は0件、梅毒の陽性件数は7件（既感染も含む）であった。郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た14名においては、30歳未満が14.3%を占めた。東海地域の居住者が100.0%であった。生涯初の検査経験割合は7.1%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち21.4%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は35.7%を占めた。

WEB配布かつID連結の同意を得た31名においては、30歳未満が25.8%を占めた。東海地域の居住者が58.1%であった。生涯初の検査経験割合は35.5%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち80.6%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は51.7%を占めた。

今年度も新型コロナウイルス感染症に伴う自粛宣言に対応しながら、クリニック検査とゆうそう検査の同時進行にはマンパワーの課題があったが、今後よりよい棲み分け法も考え検討していく必要がある。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所のHIV検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は7割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、東海地域では大阪や中四国で成功を収めてきた民間医療機関を活用したHIVと梅毒の検査提供（通称クリニック検査）をモデルとし展開することとした。

また自己採血のDBS検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査もコミュニ

ティセンターでの対面配布、WEB配布を実施した。MSMが利用しやすいHIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行う。

B. 研究方法

1) クリニック検査

大阪や中四国で成功を収めてきたクリニック検査の先行事例を解析し、その方法を参考に実施した。東海地域の中でも、面積が広く、検査アクセスに課題がある岐阜県において民間医療機関を開拓、協力を依頼し、新たな検査プログラムを実施した。また名古屋市内の利便性の高い場所に開所している民間医療機関にも協力を依頼し、実施した。本年度から三河地域において新たにクリニックを1件開拓し、総計3機関で検査を提供した。

第1期を令和3年8月1日から9月30日まで、第2期を令和4年1月31日から2月26日までとし、HIV検査と梅毒の検査提供を行った。医療機関への協力依頼、Twitter等SNSでの告知、出会い系アプリやSNSアプリを使った広報はANGEL LIFE NAGOYAが担当した。

受検者には検査提供医療機関で自記式アンケートも実施し、協力を要請した。

2) ゆうそう検査

コミュニティセンターでの対面型配布は250件を予定した。WEB申し込み型の配布は50件を予定した。

東海地域在住のMSMや名古屋市のMSM向け商業地域(コミュニティセンターriseの所在地)にアクセスできるMSMを対象に、ポスターやコミュニティペーパーなど紙媒体による広報展開も実施した。対面配布を10月1日～10月31日、11月27日～12月25日の2回に分けて行った。WEBでの申し込み期間は10月1日～12月25日とした。

2021年9月1日から配布を開始し、対面配布で15件、WEB配布で60件の実績があった。

本研究計画はいずれも名古屋市立大学看護学部倫理審査委員会により実施の承認を得た。

C. 研究結果

1) クリニック検査

これまでの東海地域で実施してきた各種の調査データを用い、啓発戦略を策定した。東海地域では、2003年より名古屋医療センター、ANGEL LIFE NAGOYA、行政(名古屋市)が連携して大規模検査会を実施してきている。

その際にも検査を知るきっかけはSNS、口コミ、出会い系アプリでの広告が最も多いことに鑑み、本プログラムでもMSM向けの出会い系アプリ広告を活用した。

新型コロナウイルス感染症の再拡大が起き、緊急事態宣言が出されていたため、紙資材を用いたゲイバー等への情報アウトリーチは十分に展開できなかった。岐阜市内のクリニックは8名の利用者がいた。また名古屋市内のクリニックは46名、豊橋市内のクリニックは3名の利用があった。令和2年度、令和3年度の受検者の詳細については資料1で示した。

30歳未満が34.5%を占めた。愛知県の居住者が90.9%であった。生涯初の検査経験割合は23.6%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は38.9%を占めた。

とうかいクリニック検査 実施結果

2020年度		受検者31名 (HIV陽性1名、梅毒陽性9名)
2021/1/12 - 2/26		
2021年度		
第1期	2021/8/1 - 9/30	受検者48名 (HIV陽性1名、梅毒陽性9名)
第2期	2022/1/31 - 2/26	受検者9名 (HIV陽性1名、梅毒陽性3名)

2年間の合計
受検者88名 (HIV陽性率3.4%、梅毒感染率23.9%)

2) ゆうそう検査

新型コロナウイルス感染症の再拡大が起き、緊急事態宣言が出されていたため、紙資材を用いたゲイバー等への情報アウトリーチは十分に展開できなかった。

総計75キットを配布し、コミュニティセンターriseでの対面配布が15件、WEBでの配布が60件であった。アンケートに回答したものは90名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは57名であった。HIV陽性件数は0件、梅毒の陽性件数は7件(既感染も含む)であった。

表1 郵送検査利用者の概要

	地域 CBO コミュニティセンター	愛知 ANGEL LIFE NAGOYA rise
a 配布総数		75
対面配布数		15
WEB配布数		60
b 受検者アンケート回答者数		90
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		57
利用率; 配布数に占める利用者数(c/a)		76.0%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		53 (93.0%)
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		1 (1.8%)
f 陽性数 (割合 f/c)		0 (0.0%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		0.0 (0.0%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		2 (3.5%)
h 陽性数 (割合 h/c)		7 (12.7%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		1.2 (2.2%)
i 追跡可能者実数; 無料ID利用者数 (割合 i/c)		45 (78.9%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		45 (78.9%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		38 (66.7%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に掛けて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た14名においては、30

歳未満が 14.3%を占めた。東海地域の居住者が 100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 7.1%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 21.4%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 35.7%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 31 名においては、30 歳未満が 25.8%を占めた。東海地域の居住者が 58.1%であった。生涯初の検査経験割合は 35.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 80.6%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 51.7%を占めた。

D. 考察

クリニック検査やゆうそう検査いずれも、資料は作成したが配布直前から緊急事態宣言による時間短縮があり、主要なゲイバーがほとんど営業しないことになり、紙媒体配布の効果は薄くなった。

愛知県と名古屋医療センターが行っている無料 HIV・性感染症検査会にコロナ禍以前の過去 5 年は毎年 600~700 名の MSM が受検していた。検査意識の高い層をクリニック検査やゆうそう検査に受検促進する広報が不十分であったといえる。

東海地域はクリニック検査 2 年目を実施した。MSM や HIV に理解のある理解名古屋で 1 機関、三河地域で 1 機関、と岐阜市内で 1 機関のクリニックの協力を得た。出会い系アプリでの広報の展開などを実施した結果として、クリニックは 57 名の受検者があり、昨年度から 1.8 倍となった。今後も協働関係を継続していくことが重要であると考えられる。

またゆうそう検査キットの配布を継続していくなかで、受検意識が高い層は東海地域クリニック検査を利用していることもあり、アウトリーチの範囲を広げていく必要がある。WEB 配布では若年層が利用する割合が高い一方で、東海地域以外の特に関東居住の利用者の割合も高くなる。全国で連携して行っているため、メリットでもあるが、サポート体制等の強化も必要となり、その点を工夫していく必要がある。

他研究班による検査提供や、本研究班のクリニック検査の時期とかぶったなかで検査機会の促進に取り組んでいることから、他の検査提供機会と時期を調整しつつ、必要な層に訴求していくことが求められる。

E. 結論

新しく新規に HIV 検査と梅毒検査が提供可能なクリニックを岐阜県に開拓し、協力を得た。初めての試みであったが 5 名の利用があった。また名古屋市のクリニックでも 26 名の利用があった。

ゆうそう検査とクリニック検査を同時期に実施することによる受検促進の困難があった。次年度以降はうまくすみ分ける方法を考えていく必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Hill A. O., Bavinton B. R., Kaneko N, Lafferty L, Lyons A, Gilmour S, Armstrong G.: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. Archives of Sexual Behavior, Accepted on July 1st, 2021.
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来院するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

2. 学会発表 (国外)

- 1) Benjamin R. Bavinton, Adam Hill, Natalie Amos, Sin How Lim, Thomas Guadamuz, Noriyo Kaneko, Martin Holt, Adam Bourne: Low PrEP uptake among gay, bisexual, and other men who have sex with men in five Asian countries: Results of the Asia Pacific MSM Internet Survey. The 11th IAS - the International AIDS Society - Conference on HIV Science, Virtual, 2021.
- 2) Adam O Hill, Benjamin R Bavinton, Noriyo Kaneko, Lise Lafferty, Anthony Lyons, Stuart Gilmour, Jennifer Power, Gregory Armstrong: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. 2021 Joint Australasian Sexual Health and HIV&AIDS Conferences,

Virtual, 2021.

3. 学会発表（国内）

- 1) 金子典代：日本のMSMにおけるHIV検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大戦略。第1回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021
- 2) 金子典代：MSMを対象としたHIV検査促進プログラムの変遷とHIV検査機会拡大にむけた新たな試み。日本エイズ学会シンポジウム, 第35回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021
- 3) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjants, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa: Studies on mitigating stigma and developing an awareness program targeting a population at risk for HIV infection in Mongolia. 第35回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021
- 4) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス。GID学会第23回研究大会・総会, WEB開催, 2022

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

		配布方法とIDの利用状況										合計	Pearson カイ2乗	
		アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用						
				対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO														
ANGEL LIFE NAGOYA/rise (愛知)		45	4.5%	14	2.7%	31	7.5%	1	1.0%	11	3.9%	102	4.4%	
検査DATA 採取した月														
2021年9月				0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.89
2021年10月				3	21.4%	10	32.3%			2	18.2%	15	26.8%	
2021年11月				1	7.1%	5	16.1%			2	18.2%	8	14.3%	
2021年12月				8	57.1%	13	41.9%			6	54.5%	27	48.2%	
2022年1月				2	14.3%	3	9.7%			1	9.1%	6	10.7%	
合計				14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果														
初めて陽性と知った				0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.66
陰性だった				14	100.0%	30	96.8%			11	100.0%	55	98.2%	
判定不能				0	0.0%	1	3.2%			0	0.0%	1	1.8%	
再罹患				0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計				14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果														
既往あり				0	0.0%	1	3.2%			0	0.0%	1	1.8%	0.29
初めて陽性と知った				0	0.0%	1	3.2%			2	18.2%	3	5.4%	
陰性だった				13	92.9%	24	77.4%			9	81.8%	46	82.1%	
判定不能				1	7.1%	1	3.2%			0	0.0%	2	3.6%	
再罹患				0	0.0%	4	12.9%			0	0.0%	4	7.1%	
合計				14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況														
未読				1	7.1%	1	3.2%			2	18.2%	4	7.1%	0.25
既読				13	92.9%	30	96.8%			9	81.8%	52	92.9%	
合計				14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)														
29歳以下		8	17.8%	2	14.3%	8	25.8%			1	9.1%	19	18.8%	0.46
30-39歳		17	37.8%	6	42.9%	11	35.5%			3	27.3%	37	36.6%	
40-49歳		11	24.4%	0	0.0%	7	22.6%			3	27.3%	21	20.8%	
50-59歳		7	15.6%	5	35.7%	3	9.7%			4	36.4%	19	18.8%	
60歳以上		2	4.4%	1	7.1%	2	6.5%			0	0.0%	5	5.0%	
年齢不明		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計		45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	101	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用		合計		
			対面配布		WEB配布		対面配布	WEB配布			
居住地											
北海道	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0.04
東北	3	6.7%	0	0.0%	2	6.5%	0	0.0%	5	5.2%	
北関東	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
東京	2	4.4%	0	0.0%	5	16.1%	0	0.0%	7	7.2%	
南関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	1.0%	
甲信越	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
北陸	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.1%	
東海	31	68.9%	14	100.0%	18	58.1%	5	71.4%	68	70.1%	
近畿	3	6.7%	0	0.0%	2	6.5%	0	0.0%	5	5.2%	
中国	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	3	9.7%	0	0.0%	3	3.1%	
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%	1	1.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	1.0%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%	7	100.0%	97	100.0%	
国籍											
日本	45	100.0%	13	92.9%	29	93.5%			87	96.7%	0.32
アジア	0	0.0%	1	7.1%	1	3.2%			2	2.2%	
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%			1	1.1%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。											
中心市街地			5	41.7%	8	30.8%	2	28.6%	15	33.3%	0.82
郊外住宅地			6	50.0%	15	57.7%	5	71.4%	26	57.8%	
農村地域・漁村地域			1	8.3%	1	3.8%	0	0.0%	2	4.4%	
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答			0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%	2	4.4%	
合計			12	100.0%	26	100.0%	7	100.0%	45	100.0%	
性別											
男性	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%	11	100.0%	101	100.0%	
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%	11	100.0%	101	100.0%	
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。											
はい			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.47
いいえ			12	100.0%	24	92.3%	7	100.0%	43	95.6%	
無回答			0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%	2	4.4%	
合計			12	100.0%	26	100.0%	7	100.0%	45	100.0%	
居住形態											
独居	25	55.6%	8	57.1%	18	58.1%			51	56.7%	0.98
同居	20	44.4%	6	42.9%	13	41.9%			39	43.3%	
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用			合計
			対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。										
ある	34	75.6%	13	92.9%	20	64.5%		67	74.4%	0.13
ない（今回が初めての検査）	11	24.4%	1	7.1%	11	35.5%		23	25.6%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%		90	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。										
ある	13	28.9%	11	78.6%	6	19.4%		30	33.3%	<0.01
ない	32	71.1%	3	21.4%	25	80.6%		60	66.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%		90	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）										
保健所	6	13.3%	2	14.3%	2	6.5%		10	11.1%	<0.01
病院/クリニック	2	4.4%	2	14.3%	2	6.5%		6	6.7%	<0.01
郵送検査	3	6.7%	8	57.1%	3	9.7%		14	15.6%	<0.01
その他	2	4.4%	0	0.0%	1	3.2%		3	3.3%	<0.01
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）										
ゲイバー	12	26.7%	7	50.0%	9	29.0%		28	31.1%	0.25
ゲイイベント	4	8.9%	0	0.0%	0	0.0%		4	4.4%	0.12
ゲイショップ	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%		2	2.2%	0.36
有料のハッテン場	12	26.7%	2	14.3%	5	16.1%		19	21.1%	0.43
野外のハッテン場	11	24.4%	0	0.0%	10	32.3%		21	23.3%	0.06
いずれもない	17	37.8%	6	42.9%	13	41.9%		36	40.0%	0.91
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）										
Twitter	18	40.0%	6	42.9%	15	48.4%		39	43.3%	0.77
Instagram	6	13.3%	0	0.0%	3	9.7%		9	10.0%	0.35
VERO	5	11.1%	0	0.0%	4	12.9%		9	10.0%	0.39
9monsters	36	80.0%	13	92.9%	27	87.1%		76	84.4%	0.45
Men's Net Japan	13	28.9%	1	7.1%	5	16.1%		19	21.1%	0.15
KO-MENSTV	2	4.4%	0	0.0%	2	6.5%		4	4.4%	0.62
その他	5	11.1%	1	7.1%	1	3.2%		7	7.8%	0.45
いずれもない	5	11.1%	0	0.0%	4	12.9%		9	10.0%	0.39
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。										
受け取っていない	40	88.9%	5	35.7%	29	93.5%		74	82.2%	<0.01
受け取ったけど、利用していない	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%		1	1.1%	
受け取って、利用した	4	8.9%	9	64.3%	2	6.5%		15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%		90	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。										
よく知っている	10	22.2%	5	35.7%	7	22.6%		22	24.4%	0.01
少し知っている	23	51.1%	4	28.6%	8	25.8%		35	38.9%	
あまり知らない	12	26.7%	5	35.7%	10	32.3%		27	30.0%	
全く知らない	0	0.0%	0	0.0%	6	19.4%		6	6.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%		90	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況								合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用				
			対面配布		WEB配布		対面配布	WEB配布			
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？											
ある	35	77.8%	12	85.7%	28	90.3%			75	83.3%	0.34
ない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）											
彼氏や恋人	7	15.6%	4	28.6%	10	32.3%			21	23.3%	0.37
友達やセクフレ	20	44.4%	7	50.0%	20	64.5%			47	52.2%	0.45
その場限りの相手	24	53.3%	5	35.7%	11	35.5%			40	44.4%	0.08
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。											
ある	29	64.4%	10	71.4%	22	71.0%			61	67.8%	0.67
ない	6	13.3%	2	14.3%	6	19.4%			14	15.6%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。											
ある	17	37.8%	1	7.1%	8	25.8%			26	28.9%	0.06
ない	18	40.0%	11	78.6%	20	64.5%			49	54.4%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。											
ある	9	20.0%	3	21.4%	5	16.1%			17	18.9%	0.60
ない	26	57.8%	9	64.3%	23	74.2%			58	64.4%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。											
ある	3	6.7%	1	7.1%	2	6.5%			6	6.7%	0.70
ない	32	71.1%	11	78.6%	26	83.9%			69	76.7%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。											
ある	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%			2	2.2%	0.01
ない	35	77.8%	10	71.4%	28	90.3%			73	81.1%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。											
ある	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			1	1.1%	0.51
ない	34	75.6%	12	85.7%	28	90.3%			74	82.2%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況											
非常用	31	68.9%	11	78.6%	26	83.9%			68	75.6%	0.64
常用	4	8.9%	1	7.1%	2	6.5%			7	7.8%	
過去6ヶ月間 にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用				ID不使用					合計
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布				
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。												
とてもよく知っている	14	31.1%	3	21.4%	3	9.7%			20	22.2%	0.12	
具体的には知らないが、聞いた	27	60.0%	11	78.6%	23	74.2%			61	67.8%		
まったく知らない	4	8.9%	0	0.0%	5	16.1%			9	10.0%		
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図												
服薬したくない/どちらかといえば	8	17.8%	1	7.1%	6	19.4%			15	16.7%	0.57	
服薬したい/どちらかといえば	37	82.2%	13	92.9%	25	80.6%			75	83.3%		
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%		
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験												
ない	38	84.4%	13	92.9%	29	93.5%			80	88.9%	0.41	
ある	7	15.6%	1	7.1%	2	6.5%			10	11.1%		
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%		
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）												
梅毒	4	8.9%	0	0.0%	5	16.1%			9	10.0%	0.23	
A型肝炎	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%			2	2.2%	0.36	
B型肝炎	4	8.9%	1	7.1%	2	6.5%			7	7.8%	0.92	
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
クラミジア	5	11.1%	2	14.3%	4	12.9%			11	12.2%	0.94	
尖圭コンジローマ	4	8.9%	1	7.1%	1	3.2%			6	6.7%	0.62	
淋病	1	2.2%	1	7.1%	1	3.2%			3	3.3%	0.67	
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%			1	1.1%	0.06	
毛じらみ	14	31.1%	4	28.6%	5	16.1%			23	25.6%	0.33	
性器ヘルペス	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			1	1.1%	0.60	
その他	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			1	1.1%	0.60	
いずれもない	23	51.1%	6	42.9%	17	54.8%			46	51.1%	0.76	
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）												
アプリ広告で知った			1	8.3%	13	50.0%	2	28.6%	16	35.6%	0.06	
インターネットで知った			1	8.3%	5	19.2%	3	42.9%	9	20.0%	0.30	
コミュニティセンターで知った			9	75.0%	1	3.8%	0	0.0%	10	22.2%	<0.01	
ゲイバーで知った			0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	1	2.2%	0.67	
友達から聞いた			1	8.3%	2	7.7%	0	0.0%	3	6.7%	0.70	
その他			1	8.3%	3	11.5%	2	28.6%	6	13.3%	0.52	
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。												
簡単だった			7	58.3%	16	61.5%	3	42.9%	26	57.8%	0.59	
どちらでもない			2	16.7%	3	11.5%	1	14.3%	6	13.3%		
難しかった			3	25.0%	4	15.4%	3	42.9%	10	22.2%		
無回答			0	0.0%	3	11.5%	0	0.0%	3	6.7%		
合計			12	100.0%	26	100.0%	7	100.0%	45	100.0%		
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。												
回答した			11	91.7%	25	96.2%	6	85.7%	42	93.3%	0.42	
していない			1	8.3%	0	0.0%	1	14.3%	2	4.4%		
無回答			0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	1	2.2%		
合計			12	100.0%	26	100.0%	7	100.0%	45	100.0%		

とうかいクリニック検査 アンケート集計結果

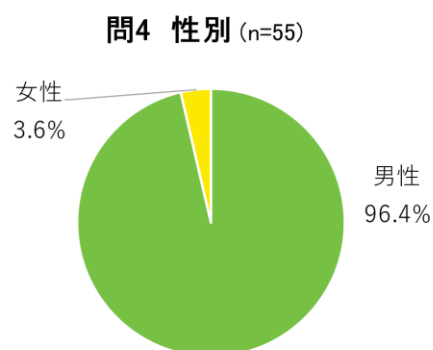
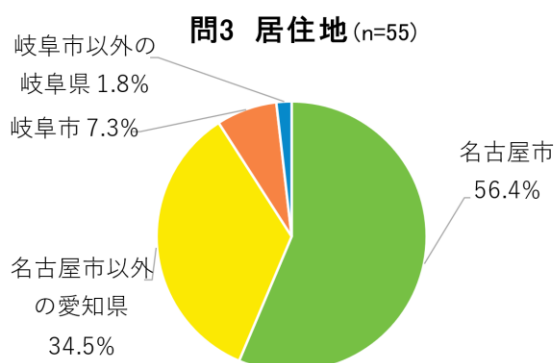
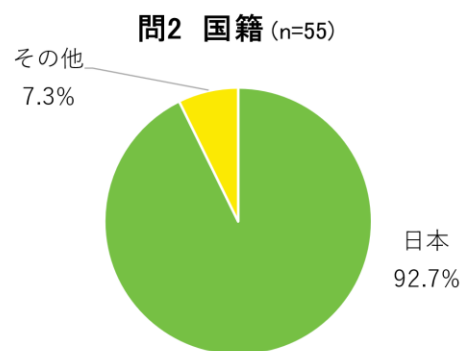
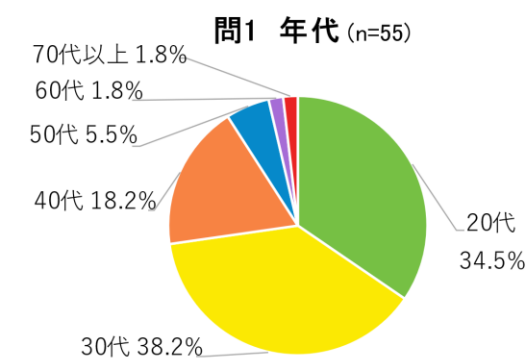
2021年度

全体 55名 (第1期46名、第2期9名)

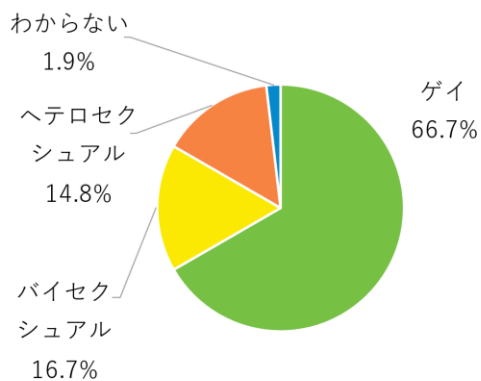
たわだ泌尿器科 44名 (第1期36名、第2期8名)

いむれ内科クリニック 3名 (第1期3名、第2期0名)

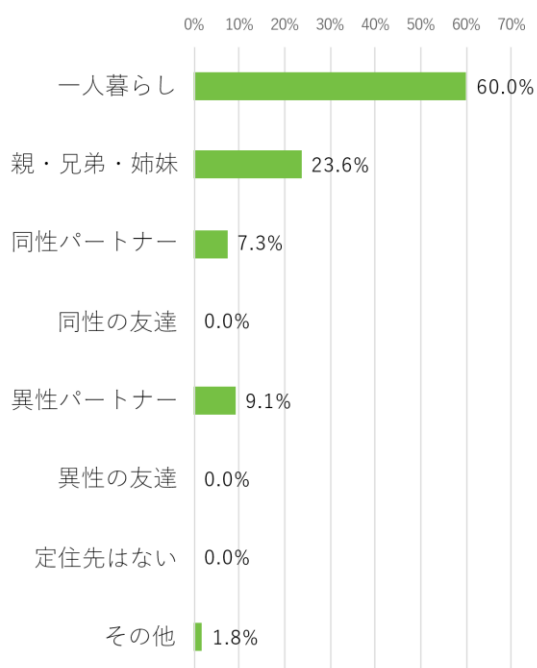
操健康クリニック 8名 (第1期7名、第2期1名)



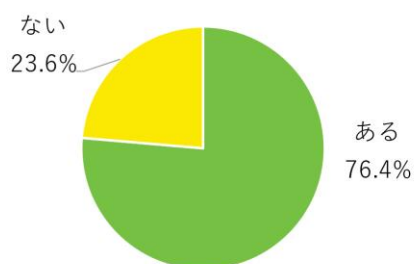
問5 セクシュアリティ(n=55)



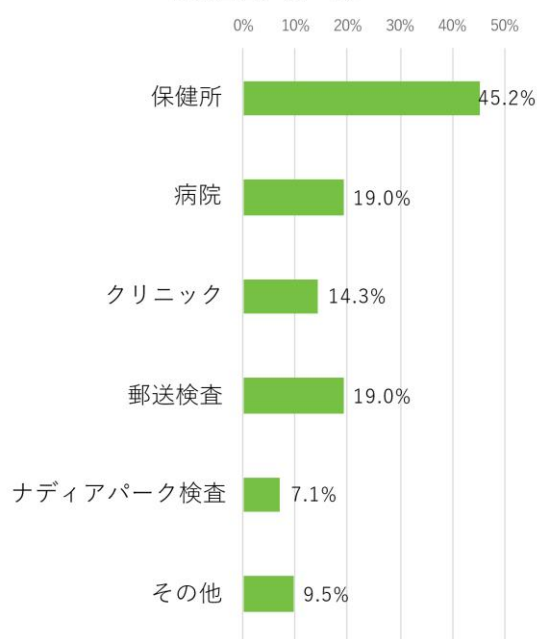
問6 現在の同居者(複数回答)(n=55)



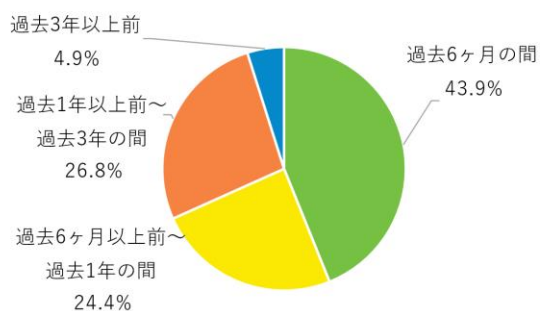
問7 HIV検査のこれまでの受検経験(n=55)



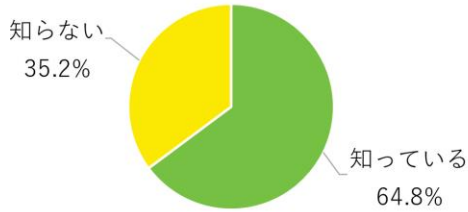
問7-1 過去1年間にHIV検査を受けた場所(受検経験有のみ対象、複数回答)(n=42)



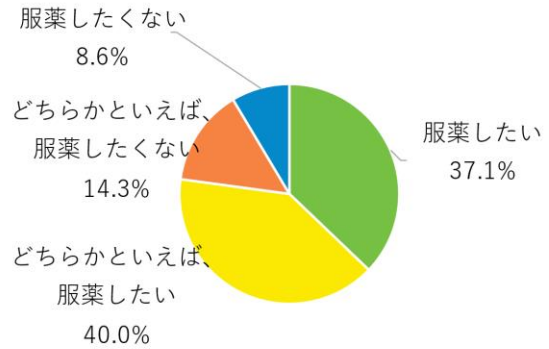
問7-2 直近のHIV検査の受検時期(受検経験有のみ対象)(n=41)



問8 「HIV感染予防のための
セックス前の服薬(PrEP)」に
関することを知っているか(n=54)

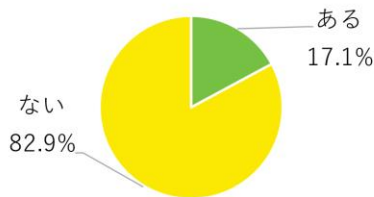


問8-1 「HIV感染予防のための
セックス前の服薬(PrEP)」の
服薬希望(PrEP知っている人のみ対象)(n=35)

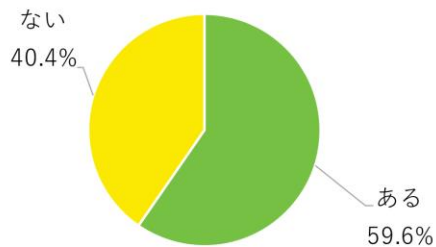


問8-2 過去6か月間の「HIV感染
予防のためのセックス前の服薬
(PrEP)」の服薬経験

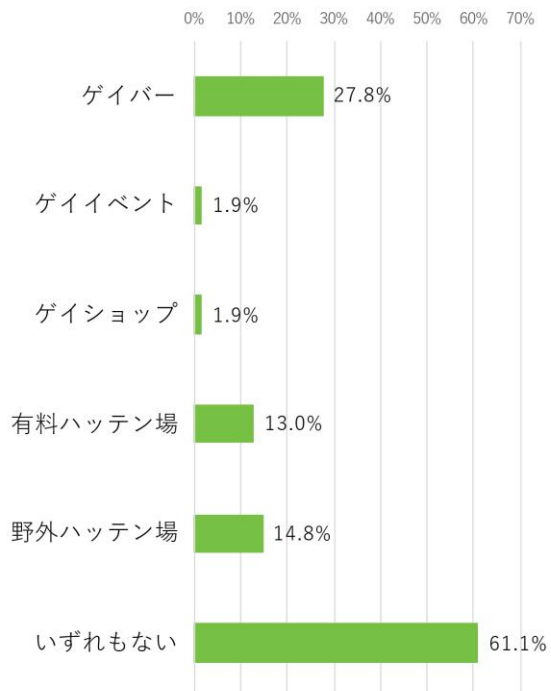
(PrEP知っている人のみ対象)(n=35)



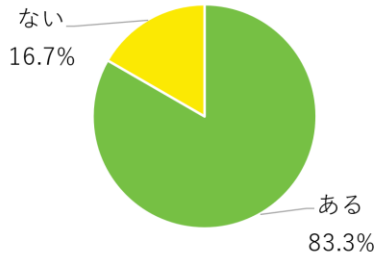
問9 「HIVに感染していても、抗
HIV薬によって血液中のウィルス
が検出できないレベルになっている
人は、セックスパートナーHIV
を感染させることはない」という
ことを聞いたことはあるか
(n=52)



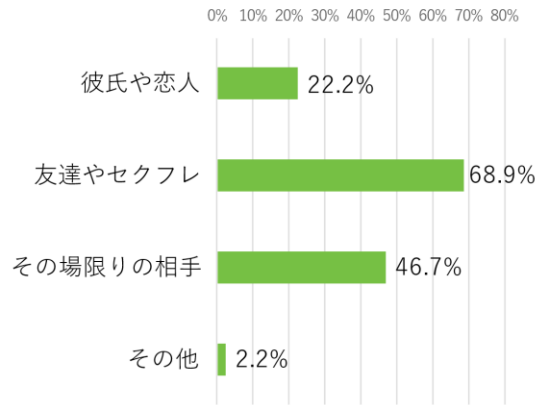
問10 過去6か月間に利用したゲ
イ向け施設(複数回答)(n=54)



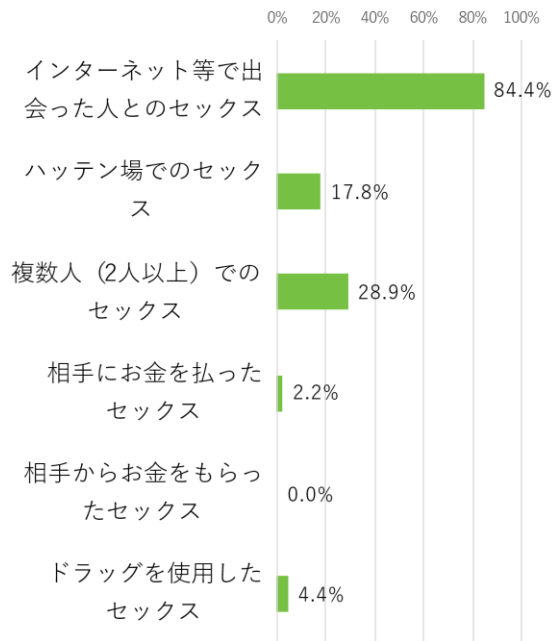
問11 過去6か月間の男性とのセックス経験(n=54)



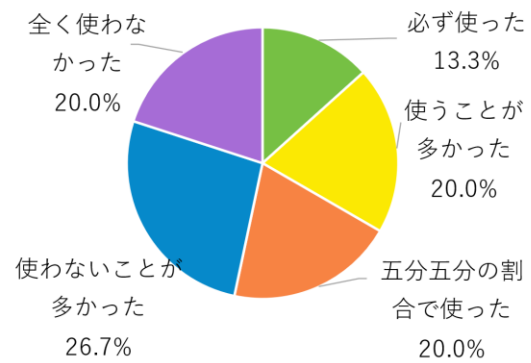
問11-1 過去6ヶ月間のセックス相手 (セックス経験有のみ対象、複数回答) (n=45)



問11-2~11-7 過去6か月間の様々なセックス経験 (セックス経験有のみ対象、n=45)

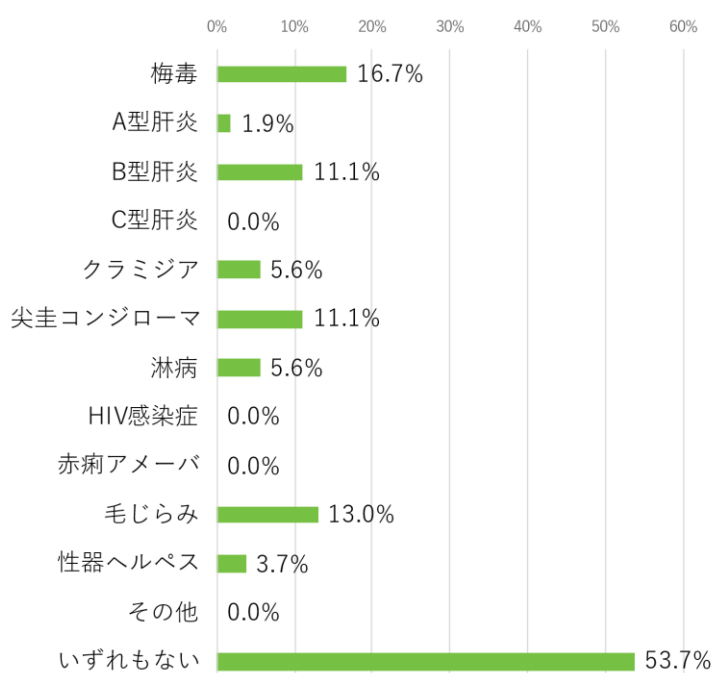


問11-8 過去6か月間のセックス時のコンドーム使用状況 (セックス経験有のみ対象、n=45)



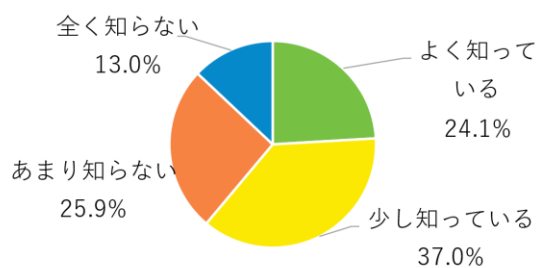
問12 罹患歴のある性感染症(複数回答)

(n=54)



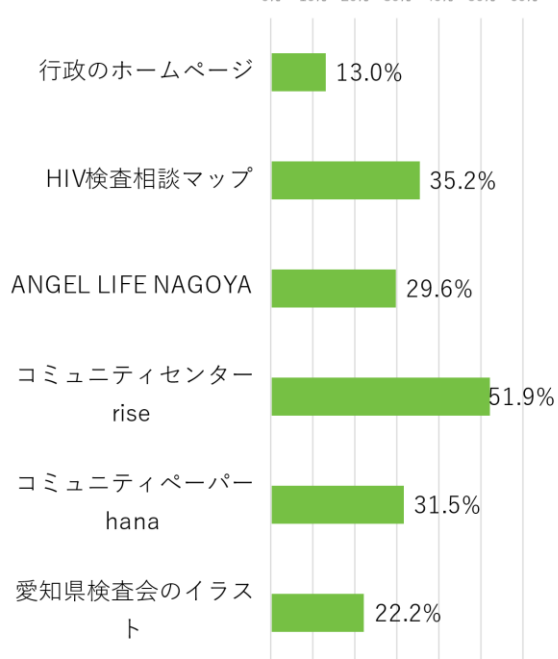
問13 MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターを知っているか

(n=54)

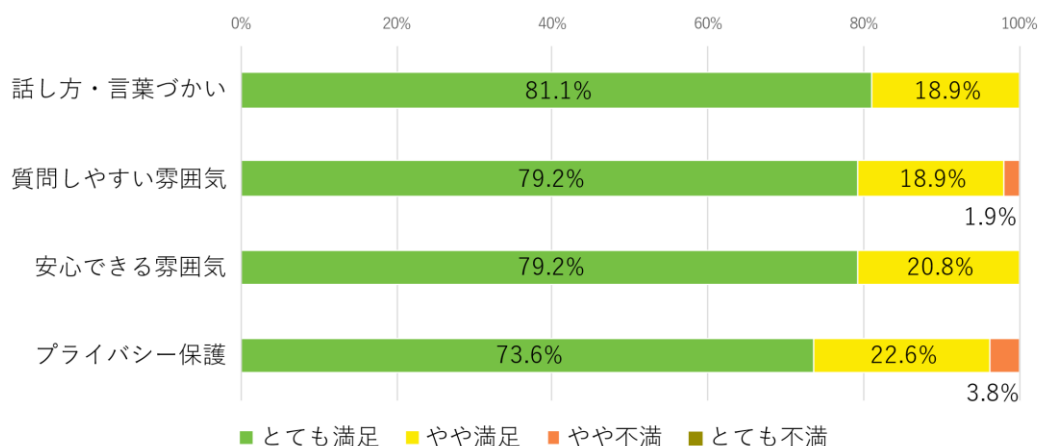


問14 HIV関係の印刷物やホームページ等の認知(複数回答)(n=54)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



問15 今回の検査の満足度(n=53)



自由記載：

- 500円で受けられるのが、とてもありがたい。もっと広く知られるべきだと思った。
- 名前ではなく、番号札で呼んでほしかった。
- 機会を下さりととても助かりました。

資料2 MSM ALL JAPAN. ミーティングおよび班会議資料

2021年度の名古屋地域の状況

①コミュニティの状況

ほとんどのMSM向け商業施設は時短営業・休業、イベントは中止されていた
一部のバーで、週末のみイベントを開催した時期もあったが、翌月から中止になることが多かった

期間	発令宣言・措置	期間	発令宣言・措置
3月22日～4月19日	警戒領域	10月31日～11月21日	制限緩和
4月20日～5月11日	まん延防止等重点措置	11月22日～12月19日	警戒領域
5月12日～6月20日	緊急事態宣言	12月20日～1月7日	制限緩和
6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置	1月8日～1月14日	警戒領域
7月12日～8月11日	愛知県嚴重警戒措置	1月15日～1月20日	愛知県嚴重警戒措置
8月12日～8月26日	まん延防止等重点措置	1月21日～3月6日	まん延防止等重点措置
8月27日～9月30日	緊急事態宣言		
10月1日～10月17日	愛知県嚴重警戒措置		
10月18日～10月30日	警戒領域		

2021年度の名古屋地域の状況

②検査機会の動向

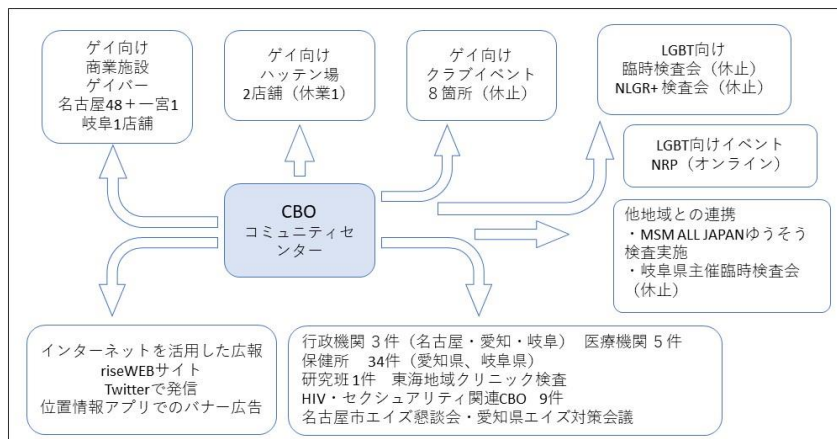
- ・名古屋市の保健センターでの平日昼間検査は9月まで中止、9月から再開したが、12月から再度休止
- ・土曜検査と日曜検査は業務委託をしていたので、委託先では予約数を減らして実施を継続
- ・愛知県では、半数の保健所が検査休止、9月から再開したが、12月に再度休止
- ・12月の世界エイズデーに合わせて、臨時検査が実施された
- ・名古屋医療センターが10月1日から、平日2時間だけの有料（1000円）検査を実施
- ・岐阜県の保健所検査は各保健所に問い合わせないと不明状態
- ・三重県の保健所検査は各保健所に問い合わせないと不明状態

地域の商業施設数と連携

2022年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率 (カバー率)
ゲイバー	栄39伏見7名西7 一宮1岐阜1	栄39伏見5名西4 一宮1岐阜1	90.9%
有料ハッテン場	1	1	100%
ゲイナイト	8 (休止中8)	8 (休止中8)	100%
ウリ専	3	2	66.6%
ゲイショップ	1	0	0.00%
サウナ・ホテル	2 (休止中1)	休止中1	50%
マッサージ	不明		
ゲイ雑誌	0	0	
スマホアプリ		9monsters、Blued	
ウェブサイト	不明		
ゲイサークル	9	9	100%
その他 ()	パレード1	パレード1	100%

普及啓発活動の状況



コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	：常勤	0人
	非常勤	4人、ボランティア 2人くらい
開館曜日	：日、月、木、金、土	
開館時間	：日14時～20時、月18時～21時、木19時～22時、金19時～22時、土16時～22時	
総来場者数*	： 728名（前年度比 95.6%）	12月中旬～2月中旬は暖房不足
初来場者数*	： 33名（前年度比 49.2%）	
相談件数*	： 22件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談 10件）	

*2021年4月～2022年1月まで

センターにおけるプログラムの展開：
 JOINT→（友達づくり） 全年齢のMSM／虹色グラカフェ（座談会） 全年齢全セクシュアリティ
 HOW TO!!（勉強会） 全年齢全セクシュアリティ／レインボー名古屋 全年齢全セクシュアリティ
 僕らのゲイライフプロジェクト（座談会） 中高年のMSM

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	79	88	75	68	46	63	83	85	77	64			728
うち、新規	5	4	6	5	1	2	2	1	4	3			33
相談件数	1	3	1	4	0	2	3	1	6	1			22
WEB活動 アクセス数													平均 220
WEB活動 その他													

勉強会 HOW to!!

< 計画時 >

プログラムの目的：MSM向けにHIVやSTIの基礎知識と検査や予防の必要性を解説し、知識の取得と予防意識の向上を図る。
 対象：東海地域のMSMで来場できる人
 毎月1回／年12回

実施内容：HIVの基礎→検査について→Safer SEX→HIV以外の性感染症→特集の5回シリーズテーマで毎月1回継続開催
 ※誰が担当でも担当説明できる資料の作成
 ※二部制 前半：テーマ内容 後半：検査会報告、コンドーム特集など
 ※直後にアンケート依頼、事後に振り返りをスタッフ共有

< 変更時 >

プログラムの目的：変更なし
 対象：東海地域のMSMで来場者およびZOOMで参加できる人（ただし、MSMに限定しない）
 毎月1回／年12回

実施内容：ウイルス感染など、HIVとCOVID-19の両方に関連する内容に

結果：毎月1回／年12回
 参加者：毎回ZOOMで他県からの参加を含め3～6名
 参加者の意見「県越えをしなくても隣県からZOOMで参加できるのは良い」

8

友達づくりイベント JOINT→

< 計画時 >



< 変更時 >

プログラムの目的：新たにゲイコミュニティにデビューした若年層や東海地域に転入してきたMSMに対して友達づくりの機会を提供することで、センターの認知を向上させるとともに、参加後にHIVやSTIの情報に触れる機会を図る
対象：東海地域のMSMでrise来場者

実施内容：毎月1回、riseの屋内屋外で継続開催
花見、池田公園で花火大会、ハロウィンパーティ、紅葉狩り、クリスマスパーティ、初詣、ゲイバー飲みなど
※参加費はほぼ材料代のみ

プログラムの目的：変更なし
対象：東海地域のMSMで公共施設に来場できる人

実施内容：毎月1回、感染対策をしながら、riseの屋外でのみ継続開催
参加は事前予約制
花見、池田公園で花火大会、紅葉狩り、イルミネーション見物、初詣、など
※参加の交通費は自己負担

結果：毎月1回
参加人数 2～6名
参加者の意見「住居は県外で、予防情報に触れる機会がなかったので良かった」

9

コミュニティペーパーHANA

プログラムの目的：東海地域のMSMに向けて必要な情報（を提供し、HIVやSTIの基礎知識と検査や予防の必要性を開設し、知識の取得と予防意識の向上を図る。
対象：東海地域のMSM向け商業施設および利用者
予算：コミュニティセンター事業費（デザイン費、印刷費）

< 計画時 >

5月発行 2500部
臨時検査会

10月発行 2500部
臨時検査会

1月発行 2500部
東海クリニック検査

< 変更時 >



6月発行 2500部
東海クリニック検査
ゆうそう検査

12月発行 2500部
ゆうそう検査
名古屋市臨時検査会
愛知県臨時検査会

2月発行 2500部
東海クリニック検査

10

オリジナルコンドーム

< 計画時 >

プログラムの目的：東海地域のMSMに向けて、セーフターセックスに最も有効なコンドーム使用への抵抗感を減らすとともに、携帯しやすいデザインにすることで予防意識の向上を図る。
対象：東海地域のMSM向け商業施設および利用者
予算：コミュニティセンター事業費

実施内容（資材展開）：
ゲイ同人誌やネットにて人気が高いイラストレーターに依頼をし、そのイラスト画像のパッケージで15000個を製作し、毎月1回のアウトリーチにてパーやハッテン場に配布、クラブイベントや臨時検査会時にも配布。

啓発動画配信（予定）

< 変更時 >

コンドームアウトリーチはコンドーム会社から提供された在庫で継続



プログラムの目的：東海地域のMSMに向けて、riseのTwitterアカウントから拡散効果の高い啓発動画を制作し、SNSを通じて発信することで、セクシュアルヘルスに関する意識の向上を図る。
対象：riseのTwitterアカウントをフォローしている層を対象に、これまで来場しなかったMSMや、ゲイコミュニティから遠ざかっていたMSM
予算：コミュニティセンター事業費

実施内容：撮影や編集は動画制作会社に依頼し、動画の企画(センター紹介案と出演者の調整中。3月中旬に撮影予定)

11

NLGR+2021

< 計画時 >

プログラムの目的：LGBTのお互いの多様性を認め合う（自己肯定をする）機会を提供すると同時に、**HIVをはじめとする感染症など、LGBT自身の健康について考える機会を提供する。**パレードのように社会への可視化を目的とはしていない。

対象：東海地域在住のMSMを中心に、NLGR+2021当日に来場したMSM（ただしMSMに限定しない）

実施内容：池田公園および周辺地域
5月の第4土曜～日曜

< 変更時 > 開催中止（実施不可能）

メイン会場である池田公園は1）完全なオープンスペースであり、来場者が三密を避けた行動をするようにコントロールすることができない環境である、2）出演者、ブース出展者などの協力者は、緊急事態宣言下で他県から移動できない、3）NLGR+検査会が中止となり、検査会イベントとしての意義が半減していることを鑑みて、中止を決定した。

12

NLGR+2021検査会研修会

< 計画時 >

プログラムの目的：NLGR+2021と同時開催される「NLGR+2021検査会」に従事するスタッフおよび**他地域も含めた保健センターおよび保健所従事者**へ、HIV感染者の多くの割合を占め、個別施策層でもあるMSMのセクシュアリティについて説明を行う。また同時に、コミュニティセンターriseが行っているMSM向け啓発活動の紹介と検査を提供する必要性について説明を行い、従事するスタッフにはロールプレイングの研修を行う。

対象：NLGR+2021検査会に従事する医療関係者、保健センターおよび保健所従事者、医学部および看護学部の学生ボランティア

（検査会に従事しない者も参加可能）
実施内容：受検者のセクシュアリティ（MSM）と検査会の流れ
5月の第2土曜

< 変更時 > 開催中止（実施不可能）

主催者である名古屋市健康福祉部感染症対策課担当者および委託先の名古屋医療センターのスタッフの従事が困難であり、中保健センターで受検者が三密を避けた検査環境を提供するのが困難であると判断し、中止を決定した。

13

NLGR+2021検査会

< 計画時 >

プログラムの目的：普段商業施設の利用やコミュニティに出ない層が来場する機会に、HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎の4種必須検査を提供し、受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、受検への抵抗感を低減するとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。

対象：東海地域在住のMSMを中心に、NLGR+2021当日に来場したMSM（ただしMSMに限定しない）
予算：地方行政事業費

実施内容（イベント実施）
中保健センター（中区役所3階）
5月の第4土曜 採血受付
翌日 結果通知

感染予防啓発資材の作成

< 変更時 >

プログラムの目的：名古屋市在住のMSMにHIVとCOVID-19の感染予防の情報を提供する。
1000部作成し、配布を行った。



14

性感染症検査会（昨年度は中止）

プログラムの目的・必要性：世界エイズデーに合わせ、HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎の4種必須検査を提供し、受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。
 対象となる人や施設：東海地域在住のMSMを中心に、誰でも受験できる（MSMに限定しない）
 予算：地方行政事業費その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費）

実施内容（広報実施）：ナディアパーク6階
 12月5日 10時～16時 採血受付 先着 200名 受検者：198名 HIV+：0名
 12月6日～ **スマホ・PCで検査結果サイトにアクセス**
 陽性者には医療機関への紹介状をネットより発行

広報内容：東海地域在住のMSM向け
 ・riseのWEBサイトおよびTwitterでの定時配信
 ・ポスターおよびコミュニティペーパーなどの紙資材での広報
 ・スマホ用出会い系アプリの**起動時広告**は空気がなくて**未実施**

15

M検in岐阜

<計画時>

プログラムの目的：世界エイズデーに合わせ、HIV検査を提供し、岐阜県在住のMSMの受検者に自己の健康チェックをもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。
 対象：岐阜県在住のMSM向けだが、MSMに限定しない
 予算：地方行政事業費
 その他：コミュニティセンター事業費（アプリ起動時広告、印刷費）

実施内容：
 ハートフルスクエアG（JR岐阜駅隣接）
 11月中旬午後前半 採血受付
 同日午後後半
 スクリーニング検査結果
 陽性者に岐阜大病院の紹介状を発行

岐阜県クリニック検査

<変更時>

プログラムの目的：変更なし
 対象：**岐阜県在住のMSM**
 （広報をMSMに限定する）
 予算：地方行政事業費
 その他：コミュニティセンター事業費

実施内容：
 松波総合病院（岐阜県羽島市）
 来年1月中旬～3月中旬
 広報の画面（画像）を見せたMSMは、無料でHIV+梅毒のセット検査が受検できる
 陽性者は松波総合病院で治療

委託先と調整（電子カルテの準備・平日のみの受検など）がうまく行かず、実施は中止

16

研究者との連携 やってみそ！

プログラムの目的：研究者と共同で昨年度に実施したMSM向けメンタルヘルス相談「はなしてみそ」の発展形として、MSM自身がメンタルヘルスについての知識を修得し、ストレスや悩みへの対処法を身に付けるプロジェクトと協力することで、メンタルヘルスの改善により、予防意識が向上するプログラム作りを行う。
 対象：愛知県および岐阜県下在住のMSMで参加申請者
 予算：研究費

実施内容（資材・WEB展開）：
 期間：<第一回> 11月1日～11月30日
 募集は9月15日～10月31日
 <第二回> 3月13日～4月24日
 募集 1月30日～3月12日
 専用の案内パンフレットを作成した紙資材での広報と、riseのWEBサイトおよびTwitterでの定時配信を行なう。

<第一回> 申込3名、参加者1名



17

研究班との連携 東海地域クリニック検査

プログラムの目的：東海地域在住のMSMの早期受検を促進し、早期治療につなげるためにクリニックと協働した検査事業を展開するとともに、アンケートから受検したMSMが感染のハイリスク層であるか、広報を担当したriseの活動の認知の浸透、およびHIV陽性であったMSMが感染初期であったかを検証する。

対象：愛知県および岐阜県下在住のMSM

予算：研究費



実施内容（資材・WEB展開）：

期間：＜第一回＞8月1日～9月30日の各クリニック診察時間
＜第二回＞1月31日～2月26日の各クリニック診察時間

専用の案内デザインを作成し、ポスターおよびコミュニティペーパーなどの紙資材での広報と、riseのWEBサイトおよびTwitterでの定時配信を行った。さらに、MSM向けスマホ用出会い系アプリの起動時広告も行った。



受検結果：名古屋市 46名、豊橋市 3名、岐阜市 8名、
HIV陽性 1名（昨年度 名古屋市 26名、岐阜 5名）



ゆうそう検査の取り組み

2021年度

主に対象となる人や施設：東海地域在住のMSMや名古屋市のMSM向け商業地域（コミュニティセンターriseの所在地）にアクセスできるMSM

配布方法：コミュニティセンターrise（アンケート後に手渡し）およびネット申込
研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費（広報費用）



工夫した内容（資材・WEB展開）：

ポスターやコミュニティペーパーなど紙媒体による広報展開も実施したが、商業施設の休業や時短営業により、配布が不十分であった。TwitterおよびWEBサイトでの広報展開を行った。



結果：

実施日時）＜対面＞10月1日～10月31日、11月27日～12月25日
＜WEB申込＞10月1日～12月25日

配布数やアクセス数 対面：15名、WEB申込：60名
実施した反応）

- ・対面での受検勧誘は、「最近では性交渉をしていない」と断られるケースが多い。
- ・受検意識が高い層は東海地域クリニック検査で受検済み

郵送検査キットを無料配布中！
自分で採血→郵送→結果はネット通知



直接受取 11/27～12/25 コミュニティセンター rise
ネット申込 10/1～12/25 専用サイト

次年度の取り組みについて

- ・コミュニティセンターとしての活動の見直し（ミッション・ビジョン・バリューの再認識）を行い、今のプログラムの精査をしていく。
- ・（商業施設をベースとした）コミュニティへの広報は、時短営業および休業により、効果が得られなかったため、商業地域やコミュニティセンターに来場しなくても受け取れる情報サービスを動画配信以外を再度検討する。
- ・今年度から動画配信などを積極的に取り入れていくが、顔出しなどプライバシーへの課題があるため、慎重に検討を重ねる。
- ・東海地域でPrEPを処方してくれるクリニックの開拓

20

近畿における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）
研究協力者：町登志雄（MASH 大阪）、宮田りりい（SWASH/MASH 大阪）
陰山朋久、宮階真紀（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

研究要旨

大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『distaでピタッとちえつくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施し、ゆうそう検査機会の拡大も継続した。

distaでピタッとちえつくんの利用者は144人で、HIV新規陽性者2人、梅毒陽性者20人であった。¥0性病検査！頼れる街のお医者さんの利用者はI期が120人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者30人、B型肝炎陽性者0人であった。II期は113人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者21人、B型肝炎陽性者1人であった。

ゆうそう検査は総計200キットを配布し、実際に検体を郵送会社に郵送したものは83人であった。そのうち97.6%が結果にログインしていた。HIV陽性件数は2件（推定新規陽性率1.7%）、梅毒の陽性件数は10件（既感染も含む）（推定新規陽性率1.7%）であった。検体を郵送した83人のうち、60人はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た22名においては、30歳未満が18.2%を占めた。近畿地域の居住者が95.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は13.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち63.6%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は22.7%であった。

WEB配布かつID連結の同意を得た38人においては、30歳未満が15.8%を占めた。近畿地域の居住者が89.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は15.8%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち34.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は39.5%であった。

新型コロナ感染症に伴う自粛や休業に対応しながらのゆうそう検査の進行には困難、課題があったが、今後クリニック検査やセンターで実施している検査提供プログラムと棲み分け法も考えつつ最適な検査提供モデルを検討していく必要がある。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所のHIV検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和2年2月からの新型コロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は7割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、大阪地域では自己採血のDBS検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査のコミュニティセンターdistaでの対面配布、WEB配布を実施した。MSMが利用しやすいHIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行う。また大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『distaでピタッとちえつくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施した。

B. 研究方法

コミュニティセンターdista での検査会『distaでピタッとちえっくん』の方法は大阪市と協働し、過去に報告した内容と同様の方法で行った。今年度は曜日を固定し、隔月で6回の検査を行った。

大阪府、大阪健康安全基盤研究所と協働としたクリニック検査『¥0 性病検査！頼れる街のお医者さん』は、1期を2021年8月1日～9月30日、2期を2021年11月1日～12月18日で開催し、MASH大阪は広報を担った。

郵送検査キットは、コミュニティセンターdistaでは、MASH大阪では主に4つの方法で配布した。

- ①dista 来場者へ配布
- ②TwitterDM/メールを使った配布
- ③ハッテン場やイベント会場での配布

④ゲイ向け商業施設利用者向け資材「イクなび」(MASH大阪寄付金制作)、情報を掲載し、ゲイ向け商業施設アウトリーチした。またゲイ・バイセクシュアル男性がよく利用するアプリでのバナー広報、twitterでの広報を実施した。dista 来場者への郵送検査キット配布は情報を伝え、手渡した。ガイドンスには下図のようなガイドンスシートを作成し、使用した。

1	ゆうそう検査キット事前説明
下記の内容がわからないことはありませんか？内容を理解したら、「次に進む」と返信ください。	
①	ゆうそう検査は、HIVのスクリーニング検査と梅毒の抗体検査の結果がわかります。
②	HIV検査結果が陽性の時は、確認検査（本当にHIVに感染しているかどうかを調べる検査）を受ける必要があります。
③	ゆうそう検査では、特設サイトに申込IDとパスワードを入力して、自分一人で結果を知ることができます。そのため申込IDとパスワードは大切に保存・保管ください。
④	結果が陽性の時は、確認検査を受ける場所を自分で探しますが、distaや、ゆうそう検査サイトでも相談ができます。
⑤	採血は、2枚のろ紙に2cm位まで血を染み込ませる必要があります。
⑥	感染の機会から3ヶ月経過してからの結果がわかります。

Twitterではダイレクトメールを活用して以下のようなやりとりをふまえて配布した。
例)

Q：郵送検査キットを受けたいです。

= 1回目の返信=

D：このままDMで説明いたします。事前説明の後、webアンケートへの回答をお願いします。

D：事前説明のための画像をお送りします。内容をよくご確認ください。

D：(事前説明画像送信)

D：内容が確認できましたら、次にWEBアンケートへの回答をお願いします。

D：https://www.gmhp.jp/SH-2020/945495

D：最終画面に数字8桁のIDが表示されます。

(IDは申し込み用紙記入時に必要になるため、スクショなど画面を保存することをお勧めいたします。)

Q：アンケートに答えました。

= 2回目の返信=

D：下記サイトから、ゆうそう検査キットの受取登録ができます。

D：https://www.std-lab.jp/e/DST01

D：ご案内は以上となります。

D：今は、HIVは適切な治療を行うことで、性行為で感染しない時代となりました。U=U

(https://uu.japan.jp/)など、HIVの情報も日々アップデートされています。ご利用ありがとうございました。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1) distaでピタッとちえっくんの概要

外国人向けに通訳も配置し、気軽に立ち寄れる雰囲気配慮した。採血の際や結果受取時の不安等、検査の前や後の相談を行っており、初めての人やこれまで情報を届けられなかった層においては性感染症に関する知識や情報を提供できる機会も設けた。利用者は144人で、HIV新規陽性者2人、梅毒陽性者20人であった。

2) ¥0性病検査！頼れる街のお医者さんの概要

結果はI期が120人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者30人、B型肝炎陽性者0人であった。II期は113人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者21人、B型肝炎陽性者1人であった。

3) 検査キットの配布日・配布件数

2021年10月1日から12月26日まで配布した。①dista来場者へ配布では59人、②TwitterDM/メールを使った配布では68人、③ハッテン場での配布では32人、イベント会場では41人が受け取り、総計200キットを配布した。

4) 検査キット検体の送付状況とアンケートの結果

アンケートに回答したもので有効回答であったのは92人であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは83人であった。そのうち97.6%が結果にログインしていた。HIV陽性件数は2件（推定新規陽性率1.7%）、梅毒の陽性件数は10件（既感染も含む）（推定新規陽性率1.7%）であった。

検体を郵送した83人のうち、60人はアンケート結果との連結に同意していた。

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	大阪
	CBO	mash大阪
	コミュニティセンター	dista
a 配布総数		200
対面配布数		132
WEB配布数		68
b 受検者アンケート回答者数		92
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		83
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		41.5%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		81（97.6%）
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		1（1.2%）
f 陽性数（割合 f/c）		2（2.4%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		1.4（1.7%）
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		4（4.8%）
h 陽性数（割合 h/c）		10（12.7%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		1.3（1.7%）
i 追跡可能者実数；無料ID利用者数（割合 i/c）		60（72.3%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		59（71.1%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		44（53.0%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に掛けて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た22名においては、30歳未満が18.2%を占めた。近畿地域の居住者が95.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は13.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち63.6%であった。

過去6ヶ月間の男性との性交経験は77.3%であり、ハッテン場を利用した性交経験が45.5%であった。3人以上の複数人での性交経験も40.9%であった。また過去6ヶ月間のPrEPの使用経験は13.6%であった。 Condom 常

用割合は22.7%であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は22.7%であった。

WEB 配布かつID連結の同意を得た38人においては、30歳未満が15.8%を占めた。近畿地域の居住者が89.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は15.8%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち34.2%であった。

過去6ヶ月間の男性との性交経験は86.8%と高く、ハッテン場を利用した性交経験が34.2%であった。3人以上の複数人での性交経験も28.9%であった。また過去6ヶ月間のPrEPの使用経験は10.5%であった。 Condom 常用割合は21.1%であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は39.5%であった。

5) 実施しての振り返り

『distaでピタッとちえっくん』では、コロナ禍では自粛の影響や周囲の商業施設が休業していることもあり利用者数が減少していたが、今年度は平均で20人前後の利用があり、回復傾向にあった。しかし、コロナ以前では平均で30人前後であったため、検査控えは続いている印象がある。

『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』では医療機関は12か所に協力していただいているが、受検者数は減少傾向となった。コロナによる行動自粛の影響も受けている可能性があり、一方で初受検者数が少なかったことから、定期的な利用者にとっては、コロナの影響は低いと考える。今年度は、商業施設営業状況から紙資材配布が半減し、アプリによる広報は効果的であった。しかし、アプリによる広報は、掲載期間の短さから行動につながらなかった可能性もある。また同じ医療機関へ依頼することで、利用者が固定化しやすい可能性もある。かかりつけの医療機関があることが本取り組みのメリットではあるが、今後PrEP使用者が増えるとキャパシティ拡大することも重要であるため、新たな医療機関の開拓も必要と考える。ゆうそう検査では、商業施設へのアウトリーチ、アプリ掲載、SNSを活用（動画）した。配布方法や検査キットの使い方に加えて、U-Uや他の検査情報など交えた動画を作成した。ハッテン場での配布は、ハイリスク層へのアプローチを考慮して実施したが、協力を得られたのは1件のみであった。配布している中ですでにク

リニック検査や dista でピタッとちえつくんを受けている人がおり、検査実施時期や配布場所については検討が必要と考える。

D. 考察

緊急事態宣言や自粛要請もあり、進行は困難を極めたが、センターが持つネットワークを駆使して、宣伝、配布数増に努めた。

ゆうそう検査の取り組みでは、解析対象となる人数が少ないものの、WEB 配布でこれまで MSM 向け啓発をあまり・全く知らなかったものが全体の 4 割を占める一方で、対面配布では 2 割程度にとどまった。しかし、ハッテン場での配布の影響もあってか、対面配布の利用者の方がハッテン場を利用した性交経験が 45.5%、3 人以上の複数人での性交経験も 40.9%と感染リスク層であったことを考えると、対面、WEB 配布のいずれの手法も一定の効果は得られると考えられる。WEB 利用層にはこれまで届いていなかった層に、対面配布では配布基点を増やす等の取り組みに発展させていくことが、コミュニティ全体のセクシュアルヘルスにつながる可能性がある。

今後、コミュニティ内で対面型アウトリーチと組み合わせてどのように検査のニーズがある感染リスク層にどのようにリーチするかが課題である。

E. 結論

新型コロナ感染症に伴う自粛や休業に対応しながらのゆうそう検査の進行には困難、課題があったが、今後クリニック検査やセンターで実施している検査提供プログラムと棲み分け法も考えつつ最適な検査提供モデルを検討していく必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS Care, 2020.

DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339

2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.

3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020

2. 学会発表 (国外)

1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

3. 学会発表 (国内)

1) 井上洋士, 後藤大輔, 船石翔馬, 高橋良介, 塩野徳史, 金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020

2) 塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京

3) 塩野徳史. HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用						
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
mash大阪/dista (大阪)	32	3.2%	22	4.3%	38	9.2%	8	7.9%	15	5.4%	115	5.0%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.02
2021年10月			5	22.7%	9	23.7%			0	0.0%	14	18.7%	
2021年11月			4	18.2%	19	50.0%			6	40.0%	29	38.7%	
2021年12月			10	45.5%	6	15.8%			4	26.7%	20	26.7%	
2022年1月			3	13.6%	4	10.5%			5	33.3%	12	16.0%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			1	4.5%	0	0.0%			1	6.7%	2	2.7%	0.17
陰性だった			21	95.5%	38	100.0%			13	86.7%	72	96.0%	
判定不能			0	0.0%	0	0.0%			1	6.7%	1	1.3%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			1	4.5%	1	2.6%			0	0.0%	2	2.7%	0.06
初めて陽性と知った			1	4.5%	0	0.0%			3	20.0%	4	5.3%	
陰性だった			17	77.3%	33	86.8%			10	66.7%	60	80.0%	
判定不能			0	0.0%	2	5.3%			2	13.3%	4	5.3%	
再罹患			3	13.6%	2	5.3%			0	0.0%	5	6.7%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			1	4.5%	1	2.6%			0	0.0%	2	2.7%	0.70
既読			21	95.5%	37	97.4%			15	100.0%	73	97.3%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)													
29歳以下	10	31.3%	4	18.2%	6	15.8%			8	53.3%	28	26.2%	0.04
30-39歳	14	43.8%	8	36.4%	22	57.9%			4	26.7%	48	44.9%	
40-49歳	7	21.9%	5	22.7%	6	15.8%			3	20.0%	21	19.6%	
50-59歳	1	3.1%	4	18.2%	1	2.6%			0	0.0%	6	5.6%	
60歳以上	0	0.0%	1	4.5%	3	7.9%			0	0.0%	4	3.7%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	107	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0.45
東北	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東京	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
南関東	1	3.1%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東海	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
近畿	30	93.8%	21	95.5%	34	89.5%	9	90.0%	94	92.2%	94	92.2%	
中国	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%	
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	1.0%	1	1.0%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%	10	100.0%	102	100.0%			
国籍													
日本	32	100.0%	20	90.9%	36	94.7%			88	95.7%	0.26		
アジア	0	0.0%	2	9.1%	2	5.3%			4	4.3%			
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			92	100.0%			
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			8	44.4%	14	53.8%	4	40.0%	26	48.1%	0.52		
郊外住宅地			8	44.4%	12	46.2%	5	50.0%	25	46.3%			
農村地域・漁村地域			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
無回答			2	11.1%	0	0.0%	1	10.0%	3	5.6%			
合計			18	100.0%	26	100.0%	10	100.0%	54	100.0%			
性別													
男性	32	100.0%	21	95.5%	36	94.7%	15	100.0%	104	97.2%	0.27		
女性	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	0	0.0%	2	1.9%			
トランスジェンダー	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%			
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%	15	100.0%	107	100.0%			
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0.27		
いいえ			15	83.3%	26	100.0%	9	90.0%	50	92.6%			
無回答			2	11.1%	0	0.0%	1	10.0%	3	5.6%			
合計			18	100.0%	26	100.0%	10	100.0%	54	100.0%			
居住形態													
独居	20	62.5%	11	50.0%	26	68.4%			57	62.0%	0.37		
同居	12	37.5%	11	50.0%	12	31.6%			35	38.0%			
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			92	100.0%			

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	24	75.0%	19	86.4%	32	84.2%					75	81.5%	0.49
ない（今回が初めての検査）	8	25.0%	3	13.6%	6	15.8%					17	18.5%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	17	53.1%	8	36.4%	25	65.8%					50	54.3%	0.09
ない	15	46.9%	14	63.6%	13	34.2%					42	45.7%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）													
保健所	6	18.8%	3	13.6%	5	13.2%					14	15.2%	0.10
病院/クリニック	7	21.9%	3	13.6%	7	18.4%					17	18.5%	0.13
郵送検査	6	18.8%	2	9.1%	11	28.9%					19	20.7%	0.13
その他	2	6.3%	4	18.2%	8	21.1%					14	15.2%	0.05
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）													
ゲイバー	9	28.1%	5	22.7%	3	7.9%					17	18.5%	0.08
ゲイイベント	2	6.3%	6	27.3%	0	0.0%					8	8.7%	<0.01
ゲイショップ	2	6.3%	3	13.6%	1	2.6%					6	6.5%	0.25
有料のハッテン場	20	62.5%	9	40.9%	11	28.9%					40	43.5%	0.02
野外のハッテン場	8	25.0%	4	18.2%	6	15.8%					18	19.6%	0.62
いずれもない	8	25.0%	6	27.3%	22	57.9%					36	39.1%	<0.01
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）													
Twitter	16	50.0%	6	27.3%	15	39.5%					37	40.2%	0.24
Instagram	1	3.1%	1	4.5%	2	5.3%					4	4.3%	0.91
VERO	3	9.4%	3	13.6%	4	10.5%					10	10.9%	0.88
9monsters	28	87.5%	16	72.7%	32	84.2%					76	82.6%	0.35
Men's Net Japan	4	12.5%	6	27.3%	3	7.9%					13	14.1%	0.11
KO-MENSTV	1	3.1%	2	9.1%	1	2.6%					4	4.3%	0.46
その他	2	6.3%	2	9.1%	3	7.9%					7	7.6%	0.92
いずれもない	0	0.0%	3	13.6%	3	7.9%					6	6.5%	0.12
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。													
受け取っていない	29	90.6%	15	68.2%	33	86.8%					77	83.7%	0.07
受け取ったけど、利用していない	1	3.1%	3	13.6%	0	0.0%					4	4.3%	
受け取って、利用した	2	6.3%	4	18.2%	5	13.2%					11	12.0%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。													
よく知っている	5	15.6%	7	31.8%	7	18.4%					19	20.7%	0.17
少し知っている	8	25.0%	10	45.5%	16	42.1%					34	37.0%	
あまり知らない	15	46.9%	3	13.6%	13	34.2%					31	33.7%	
全く知らない	4	12.5%	2	9.1%	2	5.3%					8	8.7%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用			合計
			対面配布		WEB配布		対面配布	WEB配布		
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？										
ある	32	100.0%	17	77.3%	33	86.8%		82	89.1%	0.03
ない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）										
彼氏や恋人	7	21.9%	4	18.2%	2	5.3%		13	14.1%	0.02
友達やセクフレ	23	71.9%	11	50.0%	22	57.9%		56	60.9%	0.11
その場限りの相手	25	78.1%	10	45.5%	19	50.0%		54	58.7%	0.03
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。										
ある	30	93.8%	13	59.1%	28	73.7%		71	77.2%	0.04
ない	2	6.3%	4	18.2%	5	13.2%		11	12.0%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。										
ある	22	68.8%	10	45.5%	13	34.2%		45	48.9%	<0.01
ない	10	31.3%	7	31.8%	20	52.6%		37	40.2%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。										
ある	9	28.1%	9	40.9%	11	28.9%		29	31.5%	0.04
ない	23	71.9%	8	36.4%	22	57.9%		53	57.6%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。										
ある	3	9.4%	2	9.1%	2	5.3%		7	7.6%	0.10
ない	29	90.6%	15	68.2%	31	81.6%		75	81.5%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。										
ある	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%		1	1.1%	0.03
ない	32	100.0%	16	72.7%	33	86.8%		81	88.0%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。										
ある	3	9.4%	0	0.0%	1	2.6%		4	4.3%	0.04
ない	29	90.6%	17	77.3%	32	84.2%		78	84.8%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況										
非常用	27	84.4%	12	54.5%	25	65.8%		64	69.6%	0.07
常用	5	15.6%	5	22.7%	8	21.1%		18	19.6%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
【「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。													
とてもよく知っている	11	34.4%	9	40.9%	12	31.6%					32	34.8%	0.71
具体的には知らないが、聞いた	18	56.3%	12	54.5%	20	52.6%					50	54.3%	
まったく知らない	3	9.4%	1	4.5%	6	15.8%					10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
【「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図													
服薬したくない/どちらかといえば	2	6.3%	9	40.9%	4	10.5%					15	16.3%	<0.01
服薬したい/どちらかといえば	30	93.8%	13	59.1%	34	89.5%					77	83.7%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験													
ない	26	81.3%	19	86.4%	34	89.5%					79	85.9%	0.61
ある	6	18.8%	3	13.6%	4	10.5%					13	14.1%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）													
梅毒	4	12.5%	4	18.2%	3	7.9%					11	12.0%	0.49
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
B型肝炎	2	6.3%	2	9.1%	1	2.6%					5	5.4%	0.55
C型肝炎	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%					1	1.1%	0.39
クラミジア	2	6.3%	3	13.6%	4	10.5%					9	9.8%	0.65
尖圭コンジローマ	2	6.3%	4	18.2%	1	2.6%					7	7.6%	0.09
淋病	1	3.1%	0	0.0%	4	10.5%					5	5.4%	0.17
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%					1	1.1%	0.49
毛じらみ	5	15.6%	8	36.4%	10	26.3%					23	25.0%	0.22
性器ヘルペス	2	6.3%	2	9.1%	1	2.6%					5	5.4%	0.55
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
いずれもない	20	62.5%	7	31.8%	22	57.9%					49	53.3%	0.06
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）													
アプリ広告で知った			5	27.8%	14	53.8%		3	30.0%		22	40.7%	0.24
インターネットで知った			3	16.7%	6	23.1%		3	30.0%		12	22.2%	0.46
コミュニティセンターで知った			6	33.3%	1	3.8%		2	20.0%		9	16.7%	0.03
ゲイバーで知った			2	11.1%	0	0.0%		0	0.0%		2	3.7%	0.12
友達から聞いた			0	0.0%	2	7.7%		1	10.0%		3	5.6%	0.34
その他			4	22.2%	3	11.5%		1	10.0%		8	14.8%	0.35
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。													
簡単だった			11	61.1%	17	65.4%		6	60.0%		34	63.0%	0.99
どちらでもない			3	16.7%	4	15.4%		2	20.0%		9	16.7%	
難しかった			3	16.7%	4	15.4%		2	20.0%		9	16.7%	
無回答			1	5.6%	1	3.8%		0	0.0%		2	3.7%	
合計			18	100.0%	26	100.0%		10	100.0%		54	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。													
回答した			15	83.3%	25	96.2%		8	80.0%		48	88.9%	0.50
していない			1	5.6%	0	0.0%		1	10.0%		2	3.7%	
無回答			2	11.1%	1	3.8%		1	10.0%		4	7.4%	
合計			18	100.0%	26	100.0%		10	100.0%		54	100.0%	

2021年度の大阪の状況

①コミュニティの状況

大阪府の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の要請により開館日時を縮小し、飲食を伴うイベントの禁止や最大来場者人数の制限を設ける等をし運営した（金曜、土曜、日曜（週3日開館）17:00～21:00）。

また、新型コロナウイルス感染症の対策として、来場者に利用者カードを発行し、利用者に感染者が出た場合速やかにHPに状況を説明し、体調に配慮するアナウンスをホームページに掲載出来るような取組みを行った。

②検査機会の動向

昨年度は、保健所などの検査機会が一時停止となり、検査機会の減少が見られた。

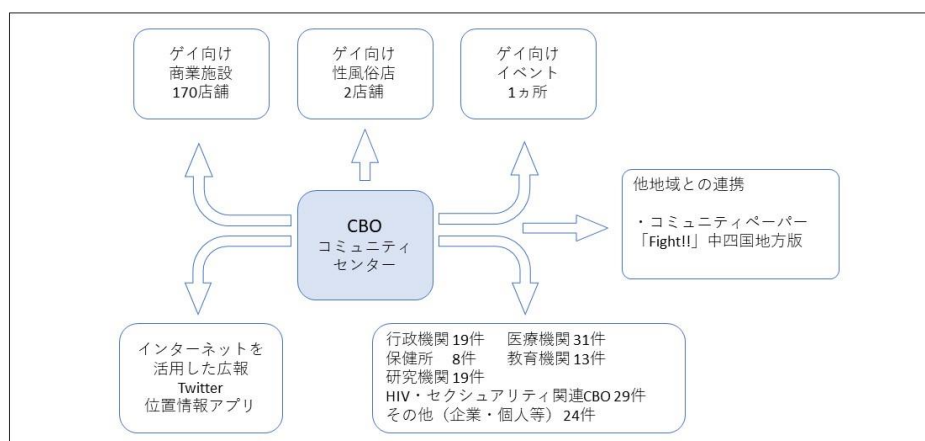
今年度の5月の時点では、大阪府下の保健所の一部で緊急事態宣言を受けて中止や人数制限を設け実施をしていたが、現在は通常で実施をしている。

地域の商業施設数と連携

2021年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カバー率）	備考
ゲイバー	235	133	56%	
有料ハッテン場	15	10	66%	
ゲイナイト	?	1	—	
ウリ専	30	1	3%	
ゲイショップ	15	7	46%	
サウナ・ホテル	4	4	100%	
マッサージ	75	1	1%	
ゲイ雑誌	?	3	—	
スマホアプリ	?	2	—	
ウェブサイト	?	1	—	
ゲイサークル	?	1	—	
その他（ ）				

普及啓発活動の状況



コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	：常勤 1人
	非常勤 3人、ボランティア 10人くらい
開館曜日	：水、木、金、土、日（週5日）
開館時間	：17時～22時
総来場者数*	：1,698名（前年度1,874人、前年度比9%減）
初来場者数*	：293名
相談件数*	：402件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談 343件）

*2021年4月～2022年1月まで

センターにおけるプログラムの展開
 同志中国語講座（講座・全般）／漫研（講座・全般）／kinky cafe（カフェ／展覧会・全般）
 レインボーアディクションミーティング（カフェ・全般）／CAMP！（カフェ・全般）
 LGBTのためのストレスフリーワークショップ（講座・全般）／サロン・ド・オニ（カフェ・全般）

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
来場者数	126	113	85	211	109	166	190	266	266	166
うち、新規	24	22	3	36	24	35	16	35	57	41
相談件数	6	18	3	2	52	5	69	87	131	29
WEB活動 HPアクセス数	4,896	6,282	3,954	5,056	4,283	6,839	2,316	4,060	2,514	4,295
WEB活動 SNSアクセス数	109,494	101,500	49,473	77,417	208,689	136,179	106,517	163,520	102,737	66,461

ゲイ向け商業施設へのアウトリーチ活動

プログラムの目的：コミュニティセンターの周知とHIV感染症・エイズに関する啓発活動の可視化
 対象：大阪地域におけるゲイ向け商業施設利用者
 予算：コミュニティセンター事業費
 実施内容：大阪地域におけるゲイ向け商業施設利用者に向け、当事者参加型の資材配布活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
セクシュアルヘルス・ HIV検査機関や医療機関の情報誌	3,013	中止	2,547	2,722	中止	2,188	3,593	3,568	1,127	3,633
イベント情報資材							4,043	5,700	3,131	
検査会情報資材	8,994		2,782				3,916	6,436		3,678

参加ボランティア数：延べ65人
 累計配布物数：61,071部
 配布：MSM向け商業施設約160店舗、大阪府・市のエイズ対策担当課、地域のコミュニティセンター、保健所、クリニック、関連団体ほか145件、計305件。
 対面での配布によってセンターの認知や雰囲気を与え、その認知度向上と来場促進を図った。

distaでピタッとちえっくん！

プログラムの目的・必要性：HIV検査会をコミュニティセンターで行うことで、定期的な検査機会の推進をコミュニティに根付かせ、ゲイコミュニティにおける検査意識を高める。
 対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
 予算：地方行政事業費



内容：大阪市、大阪健康安全基盤研究所と協働し、無料・匿名でHIV/梅毒検査を実施。外国人向けに通訳も配置し、気軽に立ち寄れる雰囲気配慮した。採血の際や結果受取時の不安等、検査の前や後の相談を行っており、初めての人やこれまで情報を届けられなかった層においてはきちんとした知識を提供する事の出来る機会を設けた。



実施内容（資材・WEB展開）：
 ゲイコミュニティで人気のイラストを起用した検査会情報資材やスケジュール表を作成。
 Webサイト「distaでピタッとちえっくん」およびdistaアカウントのtwitterをベースに、コミュニティのキーパーソンやフォロワー数の多い利用者などのネットワークを活用し、ゲイ・バイセクシュアル男性がよく利用するアプリでキャンペーン期間の前後7日間バナー広報を行い受検数向上に努めた。

distaでピタッとちえっくん！

2021年度	検査概要						計
	1回目 5月	2回目 7月	3回目 9月	4回目 11月	5回目 1月	6回目 3月	
受検者数	20人	38人	18人	23人	24人		123人
初利用者	3人	12人	3人	3人	6人		21人
指紋登録者数	18人	34人	16人	18人	19人		86人
	90.0%	89.5%	88.9%	78.3%	79.2%		69.9%
結果受け取り	19人	38人	17人	22人	24人		96人
HIV陽性判明数	0人	1人	0人	0人	1人		1人
	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	4.2%		0.8%
梅毒受検者数	19人	38人	17人	21人	4人		95人
梅毒陽性判明数 (要治療)	5人	6人	2人	人	4人		13人
	25.0%	15.8%	11.1%	0.0%	16.7%		10.6%
梅毒陽性判明数 (既往含む)	5人	8人	4人	1人	4人		18人
	25.0%	21.1%	22.2%	4.3%	16.7%		14.6%

専門家による相談会（しゃべるかあ）

「しゃべるかあ」は、distaで気軽に専門家とおしゃべりするプログラムです。日頃の思い（話しかけたこと・話しかけられたこと）や考えごとや悩み、性差や性差意識についてなど、みなさんのお話をじっくりお聞きします。お気軽にお越しください。

誰かに話さずにはいられないことを思いっきりしゃべって、スッキリしませんか？ 話したいことなんて数限りなくある方は、お気軽に「おしゃべりワークショップ」や「おしゃべりワークショップ」もご参加いただけます。イベントの持ち合わせのついでにおいで、友達と一緒に参加もできますので、是非ご参加ください。

私たちのお話を聞きましょう！

山崎 真子 (マコ) / 山崎 真子 (マコ) / 山崎 真子 (マコ)

気持のチェックシート

Q:過去30日の間に、どのくらいの頻度で次のことがありましたか？
 当てはまるように○をつけて下さい。

質問	毎日	ほぼ毎日	時々	ほとんどない	全くない
神経過敏に感じましたか	0	1	2	3	4
睡眠不足に感じましたか	0	1	2	3	4
その他、落ち込みや不安に感じましたか	0	1	2	3	4
気分が落ち込んで、何事にも気が乗らないように感じましたか	0	1	2	3	4
何事をするにも集中力が低下しましたか	0	1	2	3	4
自分自身を認めない人間だと感じましたか	0	1	2	3	4

【判定】 安定 ちょと不安 やや不安 かなり不安

しゃべるかあの流れ

●気持のチェックシートに記入
 ●スタッフとお話して
 ●スタッフとワークシートに記入

開催期間：8月～12月 総参加者数：70名

専門家による相談会（しゃべるかあ）

プログラムの目的：男性同性愛者のうち、HIV・エイズ及び他の性感染症に対する不安や悩み、またその他の生活や就労についての悩みなどをカウンセリングすることにより、行動変容を促進し、メンタルヘルスの向上とHIV・エイズ及び他の感染症の拡大防止をする。
 予算：地方行政事業費



実施内容（資料・WEB展開）：
 アウトリーチ資料の作成やSNSやアプリなどインターネットを活用し広報。



参加者：57名 オンライン参加：13名（合計70名）
 今年度の特徴として、ゲイ向けアプリに広報を行ったことで、場所を選ばず相談会を知る機会が増え、10代の相談者や旅行者、カウンセラーになりたいといった相談内容など、相談者の多様性が見受けられた。電話相談や医療機関等の公的な施設での相談と違い、どんな事柄でも話すことができる敷居の低さや、専門職者だけでなく当事者性の高いスタッフも常駐している安心感が、相談者にとって利用しやすい資源として認知されたものと考えられる。

¥0性病検査！頼れる街のお医者さん

プログラムの目的：大阪府内のHIVの感染リスクが高いとされるMSMのHIV等検査の受検機会の拡大を図るために実施する「男性同性愛者向けHIV等検査・相談事業」について、WEBサイトの作成及びアプリ広告掲載等の広報を行う。
 対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
 予算：コミュニティセンター事業費/地方行政事業費/寄付金



実施内容（資料・WEB展開）：
 キャンペーン情報、検査前後等の相談や支援の情報、検査の流れや検査方法の違いなどを記載した資料及びWebサイトを作成し
 アウトリーチやゲイ向けアプリのバナー広告掲載などの広報を行った



実施期間：2021年8月1日～9月30日（1期）、2021年11月1日～12月18日（2期）
 検査実施医療機関：大阪府外も含む12医療機関
 受検者数：1回目 即日検査120件（HIV陽性2件、梅毒31件）
 2回目 即日検査113件（HIV陽性2件、梅毒21件、B型肝炎1件）



¥0性病検査！頼れる街のお医者さん

R3年度 大阪府クリニック検査事業 集計

項目	1期	II期	合計			
			人数	（%）		
受検者数	120（6週）	113（5週）	0			
アンケート結果	アンケート回答数（率）	114	98	212	91.0	
	アンケート回答者のうち検査初回者数（率）	6	11	17	8.0	
	アンケート回答者のうち対象外（疑い含む）数（率）	2	1	3	1.3	
	アンケート回答者のうち兵庫県受検者数（率）	16	16	32	15.1	
陽性者数	HIV 全 初 既	2 0 2	2 2 0	4 2 2	1.7 0.9 0.9	
	梅毒 全 初 既	31 4 27	21 1 20	52 5 47	22.3 2.1 20.2	
	B型肝炎 全 初 既	0 0 0	1 0 1	1 0 1	0.4 0 0.4	

南界堂通信

プログラムの目的・必要性：中高年層MSMが経てきたHIV感染者に対する偏見・差別や当事者の意識のありようを踏まえ、彼らが抱える課題やライフプラン、人生や社会との関わりについての情報、街の情報に加え、セクシュアルヘルスに関する情報、HIV感染者及びその周囲の人たちに必要な情報、HIV検査機関や医療機関の情報などを収集し掲載。世代的に親しみのあるタブロイド判で作成。年4回季刊発行。distaにて関連イベント「南界堂茶会」年2回開催。
 対象となる人や施設：中高年層が主な対象層。商業施設利用者
 予算：コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費 / 寄付金

実施内容（資材・WEB展開）：次ページに写真
 紙資材は商業施設や行政へのアウトリーチや郵便送付で設置。distaホームページにPDFも掲載。
 今年度よりTwitter「南界堂通信」アカウント開設。
 医療や行政に関わる人、コミュニティやゲイタウンのキーパーソンをインタビュー形式で取り上げることでプログラムや街により馴染みを感じてもらえる。食や文化の情報によって孤立や閉塞を防ぐことに繋がるよう発信。

結果：
 実施日時）年4回発行。
 配布数）4,000部／回 MSM向け商業施設約160店舗、大阪府・市のエイズ対策担当課、地域のコミュニティセンター、保健所、クリニック、関連団体ほか145件、計305件。
 実施した反応）商業施設への配布は緊急事態宣言時やまん防時に難航したがdistaに取りに来る方も存在するなど、刊行10年の積み重ねはコミュニティにも馴染んでいるとも言えるだろう。



ゆうそう検査の取り組み

2021年度

対象：dista利用者やゲイ向け商業施設利用者
 配布方法：TwitterのDMを活用したWeb申込、コミュニティセンターでの対面配布、LGBT関連イベント、ゲイ向け商業施設
 研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費 / 寄付金

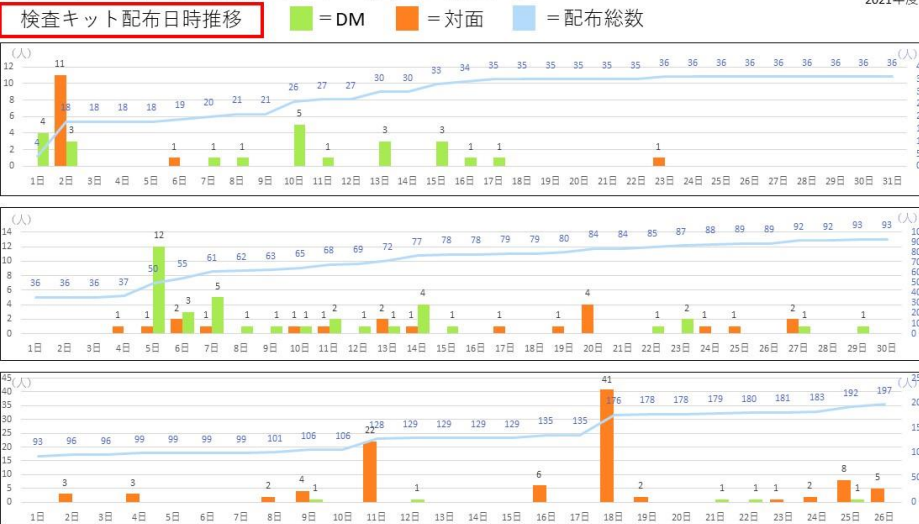
工夫した内容（資材展開 / WEB展開 / 資材・WEB展開）：
 ゲイ向け商業施設利用者向け資材「イクなび」（MASH大阪寄付金制作）、情報を掲載し、ゲイ向け商業施設アウトリーチした。またゲイ・バイセクシュアル男性がよく利用するアプリでのバナー広報、twitterでの広報を実施。
 今年度は有料ハッテン場での配布を行い、よりリスクの高い層の利用を促進した。
 Twitter広報ではdista利用者と共12本の動画を作成した（合計インプレッション数：43,132、動画総再生回数：7,675回。）

配布期間：令和3年10月1（金）～12月26日（木）

dista受取	ハッテン場受取	イベント受取	Twitter受取	合計
59	32	41	68	200

ゆうそう検査の取り組み

2021年度



ゆうそう検査の取り組み

2021年度

ゆうそう検査の広報としてTwitter用に
 配布方法や検査キットの使い方などU=Uや検査情報など交えた動画を作成
 合計インプレッション数：43,132
 動画総再生回数：7,675回。



次年度の取り組みについて

- ・コロナ感染状況による開館や情報提供への影響に柔軟に対応出来るようなICT活用による発信の工夫
- ・5ヶ年に渡る第4次大阪市エイズ対策も開始となるので、指針に沿った協力を行い、受検推進企画にも活かす
- ・検査プログラムやエイズウィークスに照らし合わせた内容の展示会を開催し、来場を促し当事者の繋がりを持ちやすいコミュニティセンターとしての施策
- ・PrEPの見守りや相談について地域医療との連携
- ・コンドームの使用率が下がっている事や、出会い系アプリでも生掘種付けなどを見かける。そのため予防についての情報をしっかり発信していきたい。

19

中国・四国における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：和田秀穂（川崎医科大学血液内科学 教授）

研究協力者：高田清式（愛媛大学医学部）、新山賢（HaaT えひめ/BRIDGE プロジェクト）

研究要旨

研究Ⅰ クリニック検査の促進に関する研究

初年度は岡山県ではクリニック検査（もんげー性病検査）を継続できたが、中国・四国の他地域ではコロナ禍の影響で展開が困難であった。今年度は、他地域でクリニック検査の協力機関を増やし実施した。

岡山県ではクリニック検査を継続し、夏季に 50 件の利用があり、HIV 陽性 6 名（12.0%）、梅毒陽性 14 名（28.0%）であり、リスクの高い層の受検機会につながったことが考えられる。また、2020 年 12 月までの保健所・拠点病院・クリニックでの受検者アンケートの解析を進め、受検者数は減少しているが、MSM 割合ではあまり変化はみられなかったことから、コロナ禍であっても感染リスクの高い層は受検している可能性が示唆された。

研究Ⅱ 郵送検査の促進に関する研究

アンケートに回答した人は 364 名であり、有効回答は 351 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 201 名であった。郵送検査利用者のうち、97.5%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 2 件（推定新規陽性率 0.8%）、梅毒の陽性件数は 27 件（既往歴も含む）（推定新規陽性率 3.3%）であった。

検体を郵送した 201 名のうち、121 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 121 名においては、30 歳未満が 36.4%を占めた。中国・四国地域の居住者が 60.3%、近畿地域が 28.1%、九州地域が 10.8%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 40.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 68.6%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 63.7%であった。

中国四国地域では、MSM コミュニティでの生涯の HIV 抗体検査受検割合は他地域より低い割合で推移していることが報告されており、コミュニティセンターがないため安定的な活動が難しい現状がある。本研究で実施している郵送検査キット配布の取り組みの利用者では、これまでの受検経験のない人の割合が 40.5%と高く、リスクの高い層に訴求している可能性を示唆している。

研究Ⅰ：クリニック検査の促進に関する研究

A. 研究目的と背景

地方都市で、地域性に配慮した形で公的機関以外の医療機関等を活用した HIV 検査の提供体制を整備し、対面型の接触を避ける MSM への検査促進を行う。

B. 研究方法

岡山県の先行事例をもとに、岡山県の近隣県

でも連携した形で、中四国地域における医療機関等を活用した新たな HIV 検査機会を拡大する。受検者へのアンケート調査、行政への検査機関別 HIV/AIDS 報告件数、コミュニティでの横断調査により効果評価を行う。

初年度はコロナ禍の影響により、岡山県の継続事業のみの展開となったが、今年度は中四国での展開を再開することを試みた。民間医療機関（クリニック）を活用した HIV と梅毒検査の提供（せとうちクリニック検査）も岡山県、広

鳥県、愛媛県、香川県で実施した。実施期間は、第1弾：2021年8月17日～9月30日（岡山県もんげ一性病検査のみ）、第2弾：2022年1月17日～2月28日（せとうち性病クリニック検査）とし、MSM限定で、岡山市内3か所、倉敷市内3か所、松山市内2か所、高松市内1か所のクリニックと協働した。検査項目はHIV・梅毒（結果は1週間後以降）とし、予約不要で自己負担を1,000円とした。広報は、中四国地方のゲイ商業施設など約50施設で冊子を制作し配布したほか、特設WEBサイトを開設し、ゲイ男性向け出会い系アプリ・ゲイ出会い系サイトでのバナー広報、Twitterプロモーションでの広告を行った。

本年度は、保健所、拠点病院、クリニック検査で行われている受検者アンケート結果をもとに、特に岡山県での成果について受検者の特性を比較検討した。

C. 研究結果

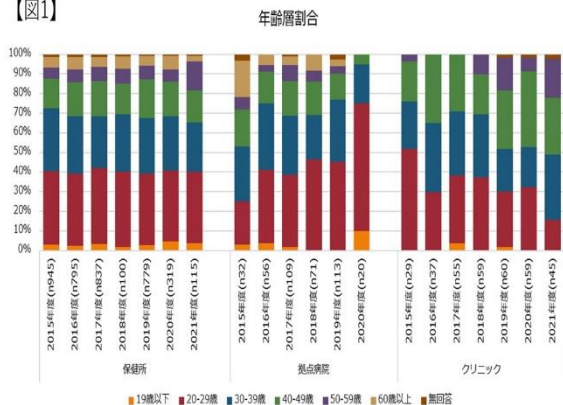
岡山県ではクリニック検査を継続し、夏季に50件の利用があり、HIV陽性6名（12.0%）、梅毒陽性14名（28.0%）であった。冬季分は解析中である。

また、2020年12月までの保健所・拠点病院・クリニックでの受検者アンケートの解析を進めた。2020年度は全国的に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、HIV抗体検査受検者数が減少していると言われている。そのことを受検者動向については、その点をふまえて考える必要がある。（表1～表4）

受検者の動向について

岡山県内の受検者の年齢層割合は、保健所では著変ないが、拠点病院では若年層割合が高く、逆にクリニック検査キャンペーンでは中高年層割合が高くなっている。【図1】

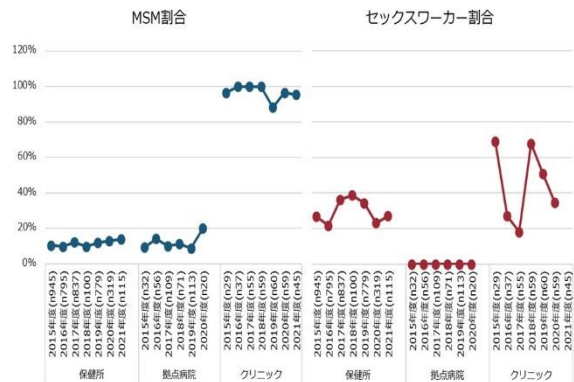
【図1】



受検者数は減少しているが、MSM割合ではあまり変化はみられなかった。一方でセックスワ

ーカーの割合では2020年度は減少した。「過去6ヵ月間の」としていることから、自粛の影響でそもそも従事する人の割合が減っていることも考えられる。【図2】

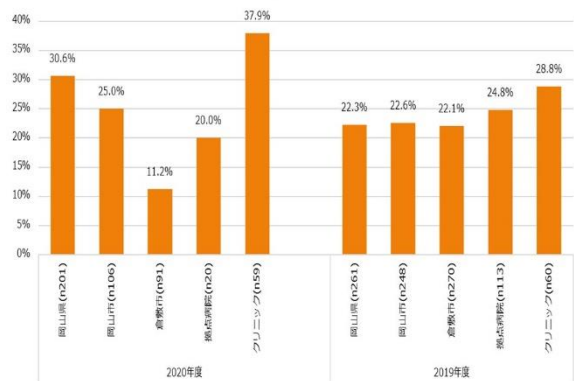
【図2】



性感染症既往は検査機関別に差異はみられなかったが、2020年度は倉敷市保健所・拠点病院利用者を除き、割合は高くなっていた。コロナ禍においてもHIV感染リスクの高い層は受検行動を維持していた可能性も考えられる。

【図3】

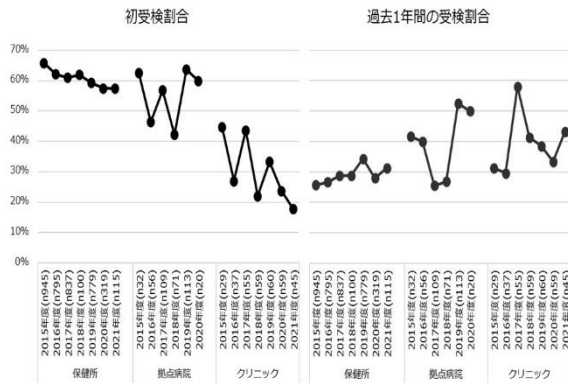
【図3】 これまでにクラミジアや淋病、梅毒などの性感染症にかかったことがある



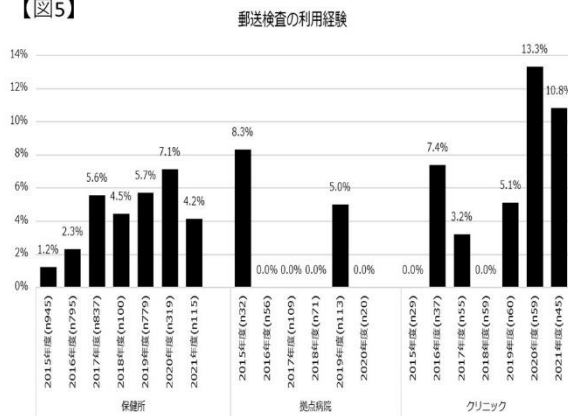
経年的に、初受検者の割合が緩やかに減少傾向で、過去1年間の受検割合は増加傾向にある。過去1年間の受検割合は、MSMコミュニティのアンケート調査と比較してもやや高いと考えられ、必要な人には、受検習慣として根付きつつあると考えられる。【図4】

郵送検査の利用経験は、経年的に増加傾向であったが、2020年度にクリニック検査キャンペーン利用者では10%越え、高くなった。【図5】

【図4】



【図5】



D. 考察

2021年度のクリニック検査の解析はまだ半期の分であるが、経年的にみると保健所に比べMSMの割合が高く、性感染症の既往歴も高い割合で推移していることから、感染リスクの高い層への利便性が高いことが、コロナ禍であっても継続していることが考えられる。当事者団体・メディアを巻き込んだ医療機関におけるHIV検査は保健所の代替施設として、あるいは検査希望者が自分のニーズに合わせて検査施設を選択できると考えられる。

E. 結論

初年度は岡山県ではクリニック検査(もんげー性病検査)を継続できたが、中国・四国の他地域ではコロナ禍の影響で展開が困難であった。今年度は、他地域でクリニック検査の協力機関を増やし実施した。

岡山県ではクリニック検査を継続し、夏季に50件の利用があり、HIV陽性6名(12.0%)、梅毒陽性14名(28.0%)であり、リスクの高い層の受検機会につながったことが考えられる。また、2020年12月までの保健所・拠点病院・クリニックでの受検者アンケートの解析を進め、受検者数は減少しているが、MSM割合ではあまり変化はみられなかったことから、コロナ禍で

あっても意識の高い層は受検している可能性が示唆された。

研究Ⅱ：郵送検査の促進に関する研究

A. 研究目的

先行研究から、HIV検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所のHIV検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は7割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、中国・四国地域のMSMを対象に、自己採血のDBS検体を送付しスクリーニング検査を受ける郵送検査をコミュニティセンターでの配布とWEBにて配布を行った。MSMが利用しやすいHIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間を限定して配布し、検査普及における有効性の評価を行うことを目的とした。

B. 研究方法

中国・四国地域にはMSM対象の予防啓発を主体としたコミュニティセンターがないため、WEBによる広報と申し込み受け付けを設置し、自宅等に郵送した。

広報はTwitterで行った。ゲイアプリでのバナー広告(ロケーション広告)も行った。また今回はWEBサイトも新設した。

メッセージとして、「中四国地方在住のゲイ・バイ男性を対象とした郵送検査キットの無料配布中です。検査項目はHIVと梅毒。キットはWEBアンケートへの回答でゲットできます。自宅などで、郵送検査で健康チェック!」とし、検査キットの使用方法は動画で確認するよう促した。広報開始2週間で予定配布数に達したため広報を停止、50キットを追加し再度広報を開始した。

倫理審査

本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会、川崎医科大学に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

(参考資料)

ゆうそう検査の流れ

Flow of mail inspection

**STEP 1 「ゆうそう検査」
特設WEBへアクセス**

当サイトです



STEP 2 WEBアンケートに答える



WEBアンケートはこちら！ **Click!!**

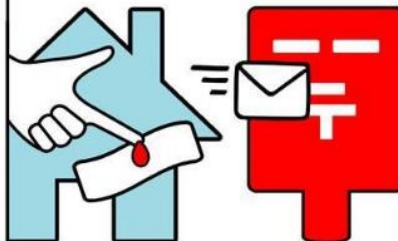
**STEP 3 検査キットを郵送または
局留めで受け取る**



自宅に郵送または、家族の目が気になるなど自宅での受け取りが難しい方は郵便局留めでの受け取りも可能です。

ゆうそう検査キット受取サイト **Click!!**

**STEP 4 自宅で採血して
検体を郵送**



指などにキットに同封されている専用の針で穿刺（せんし）後、ろ紙に血を染み込ませて検体を郵送。
※検査キットの利用説明が動画にまとめられています。
※同封されている検査キットの説明書を確認ください。

検査キットの使い方はこちら！ **Click!!**

STEP 5 検査結果はWEBでチェック



検査キットを郵送（通常1～3日後到着）して受け付けから1～3日後に検査結果がでて結果確認WEBから結果をチェックできます。

検査結果サイトはこちら！ **Click!!**

C. 研究結果

1. 郵送検査キットの配布日・概要

今年度は2期に分けて合計300セット(前期250セット、後期50セット)を配布した。

前期; 10月1日~10月14日

(WEB 広報期間: 10月1日~10月14日)

後期; 11月12日~12月9日

(WEB 広報期間: 12月5日~12月9日)

表5 郵送検査利用者の概要

	地域	中国・四国
	CBO	HaaTえひめ
	コミュニティセンター	/BRIDGE
		-
a 配布総数		300
対面配布数		
WEB配布数		300
b 受検者アンケート回答者数		351
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		201
利用率; 配布数に占める利用者数(c/a)		67.0%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)	196 (97.5%)	
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		2 (1.0%)
f 陽性数 (割合 f/c)		2 (1.0%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		1.6 (0.8%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		7 (3.5%)
h 陽性数 (割合 h/c)		27 (13.9%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		6.4 (3.3%)
i 追跡可能者実数; 無料ID利用者数 (割合 i/c)	121 (60.2%)	
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)	131 (65.2%)	
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)	87 (43.3%)	

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数) に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

2. 検体の送付状況とアンケートの結果

アンケートに回答した人は364名であり、有効回答は351名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは201名であった。郵送検査利用者のうち、97.5%が結果サイトにログインしていた。

HIV陽性件数は2件(推定新規陽性率0.8%)、梅毒の陽性件数は27件(既往歴も含む)(推定新規陽性率3.3%)であった。

検体を郵送した201名のうち、121名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た121名においては、30歳未満が36.4%を占めた。中国・四国地域

の居住者が60.3%、近畿地域が28.1%、九州地域が10.8%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は40.5%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち68.6%であった。

過去6ヶ月間の男性との性交経験は90.9%と高く、ハッテン場を利用した性交経験が24.8%であった。3人以上の複数人での性交経験も15.7%であった。また過去6ヶ月間のPrEPの使用経験は8.3%であった。コンドーム常用割合は13.2%であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は63.7%であった。

3. 実施しての振り返り

WEB 配布では昨年度よりも需要増を見越して2020年度100セットから、2021年度250セット配布予定数を増やしたが早々に配布を終了した。コロナ禍のなか保健所検査が大幅減となっているが受検ニーズは一定あることが予想できる。コロナ禍の中で受けやすい検査環境を整えていくことが求められていると考える。

D. 考察

コミュニティセンターのない中国・四国地域では他地域と比べ人員的な面で脆弱であり、WEBでの広報と配布を継続している。WEB 広報では対象となる地域以外に拡散することもあり、周囲の近畿地域、九州地域からの利用もあったが、6割程度は対象となる地域居住者の利用であり、各地域で予防啓発に取り組むことの重要性を示唆していると思われる。

中国四国地域では、MSM コミュニティでの生涯の HIV 抗体検査受検割合は他地域より低い割合で推移していることが報告されており、コミュニティセンターがないため安定的な活動が難しい現状がある。本研究で実施している郵送検査キット配布の取り組みの利用者では、これまでの受検経験のない人の割合が40.5%と高く、リスクの高い層に訴求している可能性を示唆している。

E. 結論

中四国地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。情報提供の準備を行い、クリニック検査と並行しつつ、ゆうそう検査キットの配布を実施した。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Nakagiri I, Tasaka T, Okai M, Nakai F, Bunya R, Nagai S, Yoshida T, Tokunaga H, Kondo E, Wada H. : Screening for human immunodeficiency virus using a newly developed fourth generation lateral flow immunochromatography assay. J. Virol. Methods. 274 :113746, 2019.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表1-1 経年別 保健所における受検者アンケート結果
*2021年度は10月分までの集計

	2015年度 n=945	2016年度 n=795	2017年度 n=837	2018年度 n=1009	2019年度 n=779	2020年度 n=398	2021年度 n=115	合計 n=4878	Pearson カイ2乗
保健所									
岡山県	242	235	261	286	261	201	82	1568	<0.01
岡山市	429	303	329	475	248	106	21	1911	
倉敷市	274	257	247	248	270	91	12	1399	
年齢層									
19歳以下	28	18	28	16	22	18	4	134	0.10
20-29歳	354	293	323	389	284	144	42	1829	
30-39歳	302	234	223	296	220	110	29	1414	
40-49歳	145	137	150	158	153	71	19	833	
50-59歳	53	51	60	77	55	25	17	338	
60歳以上	50	52	42	62	40	27	3	276	
無回答	13	10	11	11	5	3	1	54	
居住地									
岡山市	449	339	354	479	371	190	111	2293	<0.01
倉敷市	259	250	250	244	224	96	0	1323	
県南東部	65	48	51	74	45	27	0	310	
県南西部	39	45	69	84	42	28	0	307	
高梁/新見/真庭/津山/英田	84	73	67	79	70	43	0	416	
福山市	3	0	6	6	0	0	0	15	
県外・無回答	46	40	40	43	27	14	4	214	
性別									
男性	646	561	575	697	523	267	81	3350	0.61
女性	294	233	259	304	255	129	34	1508	
その他	1	0	0	4	0	1	0	6	
無回答	4	1	3	4	1	1	0	14	
性指向別3群									
MSM以外の男性	547	483	473	597	430	215	65	2810	0.35
女性	294	233	259	304	255	129	34	1508	
MSM	99	78	102	100	93	52	16	540	
不明(性別がその他または不明)	5	1	3	8	1	2	0	20	
あなたはこれまでにセックスをしたことがありますか?									
ある	935	786	826	979	757	389	111	4783	<0.01
ない	7	4	5	8	12	2	1	39	
無回答	3	5	6	22	10	7	3	56	
あなたはこれまでにクラミジアや淋病、梅毒などの性感染症にかかったことはありますか?¹⁾									
ある	220	176	168	218	169	96	26	1073	0.67
ない	696	595	637	747	575	287	85	3622	
無回答	19	15	21	14	13	6	0	88	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか?¹⁾									
ある	273	244	223	305	204	73	23	1345	<0.01
ない	648	533	576	667	544	310	87	3365	
無回答	14	9	27	7	9	6	1	73	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか?¹⁾									
ある	25	17	30	38	26	9	3	148	<0.01
ない	885	744	757	923	716	369	108	4502	
無回答	25	25	39	18	15	11	0	133	
あなたは検査に来る前に、以下の印刷物やロゴ、ホームページなどを見たことがありますか?									
岡山県のホームページ	148	134	125	175	165	90	33	870	<0.01
岡山市のホームページ	158	141	146	193	159	79	24	900	0.43
倉敷市のホームページ	103	89	91	106	100	45	9	543	0.67
あうとびーち	11	17	16	11	10	4	2	71	0.41
HaaTえひめ	21	17	22	22	12	9	2	105	0.88
fight!!	14	17	11	8	14	7	1	72	0.34
やる!プロジェクト	8	20	23	20	23	9	1	104	0.04
もんげー性病検査**	17	27	43	59	48	24	9	227	<0.01

**「もんげー性病検査」は選択肢にない期間があり、それを除いて分析したため、総数は異なる。

1) これまでにセックスをしたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

表1-2 経年別 保健所における受検者アンケート結果 (続き)
*2021年度は10月分までの集計

	2015年度 n=945	2016年度 n=795	2017年度 n=837	2018年度 n=1009	2019年度 n=779	2020年度 n=398	2021年度 n=115	合計 n=4878	Pearson カイ2乗
今回を除いて、これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?									
ある	323	300	324	381	315	168	48	1859	0.14
ない(今回初めて)	622	494	511	625	462	229	66	3009	
無回答	0	1	2	3	2	1	1	10	
今回を除いて、一番最近に受けたHIV検査(エイズ検査)はいつでしたか? ²⁾									
過去1年間	83	80	93	110	108	47	15	536	0.47
過去1~2年前(過去1年より以前)	104	80	113	117	92	54	17	577	
過去3年以上前	128	133	112	148	110	62	16	709	
無回答	8	7	6	6	5	5	0	37	
これまでのHIV検査受検場所 ²⁾									
保健所	259	233	233	296	234	131	39	1425	0.30
エイズ治療拠点病院	10	8	17	15	16	7	3	76	0.70
病院・診療所・クリニック	64	67	84	89	81	37	14	436	0.64
郵送検査	4	7	18	17	18	12	2	78	0.05
その他	4	5	9	10	5	4	1	38	0.83
検査満足度 1) 話し方・言葉づかいはどうでしたか?									
とても満足	837	681	724	852	652	343	94	4183	<0.01
やや満足	92	87	87	102	85	40	19	512	
やや不満	5	5	6	4	5	2	0	27	
とても不満	2	5	4	3	2	2	0	18	
無回答	9	17	16	48	35	11	2	135	
検査満足度 2) 質問しやすい雰囲気についてはどうでしたか?									
とても満足	827	682	714	837	642	334	95	4131	<0.01
やや満足	101	82	93	114	93	49	15	547	
やや不満	6	7	8	5	5	1	3	35	
とても不満	2	7	3	3	3	3	0	21	
無回答	9	17	19	50	36	11	2	144	
検査満足度 3) 安心できる雰囲気についてはどうでしたか?									
とても満足	803	660	689	816	630	331	96	4025	<0.01
やや満足	118	95	109	124	97	50	14	607	
やや不満	12	16	15	12	13	3	2	73	
とても不満	3	7	6	7	3	3	1	30	
無回答	9	17	18	50	36	11	2	143	
検査満足度 4) プライバシー保護についてはどうでしたか?									
とても満足	743	616	649	765	583	314	94	3764	<0.01
やや満足	150	120	127	139	118	62	15	731	
やや不満	37	32	35	45	33	7	3	192	
とても不満	3	7	9	10	7	3	1	40	
無回答	12	20	17	50	38	12	2	151	
HIV検査(エイズ検査)で受けやすいのはどれですか? ³⁾									
平日日中	325	294	306	419	297	172	51	1864	<0.01
平日夜間	452	401	420	483	393	182	54	2385	0.47
土曜日	339	297	297	374	327	152	51	1837	0.20
日曜日	370	324	338	414	343	163	43	1995	0.63
その他	24	21	16	11	9	8	6	95	0.01
あなたは検査広報カードをみたことがありますか?									
ある	60	55	58	72	71	39	14	369	0.01
ない	878	733	770	913	693	353	98	4438	
無回答	7	7	9	24	15	6	3	71	
どこで見ましたか? ⁴⁾									
トイレ	21	15	16	21	32	13	4	122	0.51
会社	4	1	4	1	0	3	1	14	0.28
学校・大学	2	4	3	4	3	0	0	16	0.73
病院	16	13	18	33	26	14	7	127	0.27
クラブイベント	5	5	6	3	4	3	1	27	0.84
ゲイバー	8	9	8	5	11	4	5	50	0.29
その他	15	17	14	17	10	9	2	84	0.53

2) これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

3) 無回答を除いて分析したため、総数は異なる。

4) 検査広報カードをみたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

表 2-1 経年別 拠点病院における受検者アンケート結果

	2015年度 n=32	2016年度 n=56	2017年度 n=109	2018年度 n=71	2019年度 n=113	2020年度 n=20	合計 n=401	Pearson カイ2乗
年齢層								
19歳以下	1 3.1%	2 3.6%	2 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	7 1.7%	0.04
20-29歳	7 21.9%	21 37.5%	40 36.7%	33 46.5%	51 45.1%	13 65.0%	165 41.1%	
30-39歳	9 28.1%	19 33.9%	33 30.3%	16 22.5%	36 31.9%	4 20.0%	117 29.2%	
40-49歳	6 18.8%	9 16.1%	19 17.4%	12 16.9%	15 13.3%	1 5.0%	62 15.5%	
50-59歳	2 6.3%	2 3.6%	9 8.3%	4 5.6%	4 3.5%	0 0.0%	21 5.2%	
60歳以上	6 18.8%	3 5.4%	5 4.6%	6 8.5%	4 3.5%	0 0.0%	24 6.0%	
無回答	1 3.1%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	3 2.7%	0 0.0%	5 1.2%	
居住地								
岡山市	10 31.3%	35 62.5%	60 55.0%	32 45.1%	55 48.7%	20 100.0%	212 52.9%	<0.01
倉敷市	10 31.3%	8 14.3%	24 22.0%	17 23.9%	25 22.1%	0 0.0%	84 20.9%	
県南東部	3 9.4%	2 3.6%	3 2.8%	5 7.0%	7 6.2%	0 0.0%	20 5.0%	
県南西部	2 6.3%	7 12.5%	11 10.1%	5 7.0%	10 8.8%	0 0.0%	35 8.7%	
高梁/新見/真庭/津山/英田	5 15.6%	2 3.6%	8 7.3%	8 11.3%	12 10.6%	0 0.0%	35 8.7%	
福山市	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	
県外・無回答	2 6.3%	2 3.6%	1 0.9%	4 5.6%	4 3.5%	0 0.0%	13 3.2%	
性別								
男性	27 84.4%	43 76.8%	81 74.3%	60 84.5%	93 82.3%	13 65.0%	317 79.1%	0.11
女性	4 12.5%	13 23.2%	28 25.7%	11 15.5%	19 16.8%	7 35.0%	82 20.4%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	
無回答	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	
性指向別3群								
MSM以外の男性	24 75.0%	35 62.5%	70 64.2%	52 73.2%	83 73.5%	9 45.0%	273 68.1%	0.26
女性	4 12.5%	13 23.2%	28 25.7%	11 15.5%	19 16.8%	7 35.0%	82 20.4%	
MSM	3 9.4%	8 14.3%	11 10.1%	8 11.3%	10 8.8%	4 20.0%	44 11.0%	
不明(性別がその他または不明)	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	2 0.5%	
あなたはこれまでにセックスをしたことがありますか?								
ある	31 96.9%	55 98.2%	108 99.1%	70 98.6%	109 96.5%	20 100.0%	393 98.0%	0.93
ない	1 3.1%	1 1.8%	1 0.9%	1 1.4%	3 2.7%	0 0.0%	7 1.7%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	
あなたはこれまでにクラミジアや淋病、梅毒などの性感染症にかかったことはありますか?¹⁾								
ある	4 12.9%	13 23.6%	27 25.0%	14 20.0%	27 24.8%	4 20.0%	89 22.6%	<0.01
ない	27 87.1%	42 76.4%	81 75.0%	56 80.0%	81 74.3%	14 70.0%	301 76.6%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	2 10.0%	3 0.8%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか?¹⁾								
ある	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 0.3%	<0.01
ない	0 0.0%	44 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	44 11.2%	
無回答	31 100.0%	11 20.0%	108 100.0%	70 100.0%	109 100.0%	19 95.0%	348 88.5%	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか?¹⁾								
ある	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<0.01
ない	0 0.0%	44 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	45 11.5%	
無回答	31 100.0%	11 20.0%	108 100.0%	70 100.0%	109 100.0%	19 95.0%	348 88.5%	
あなたは検査に来る前に、以下の印刷物やロゴ、ホームページなどを見たことがありますか?								
岡山県のホームページ	6 18.8%	21 37.5%	32 29.4%	21 29.6%	35 31.0%	3 15.0%	118 29.4%	0.34
岡山市のホームページ	4 12.5%	9 16.1%	24 22.0%	13 18.3%	23 20.4%	6 30.0%	79 19.7%	0.65
倉敷市のホームページ	2 6.3%	5 8.9%	4 3.7%	8 11.3%	5 4.4%	4 20.0%	28 7.0%	0.06
あうとぴーち	1 3.1%	1 1.8%	2 1.8%	3 4.2%	2 1.8%	0 0.0%	9 2.2%	0.84
HaaTえひめ	1 3.1%	2 3.6%	2 1.8%	2 2.8%	1 0.9%	1 5.0%	9 2.2%	0.79
fight!!	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	2 2.8%	4 3.5%	0 0.0%	7 1.7%	0.36
やる!プロジェクト	1 3.1%	3 5.4%	3 2.8%	0 0.0%	1 0.9%	1 5.0%	9 2.2%	0.31
もんげー性病検査**	1 3.1%	4 7.1%	5 4.6%	7 9.9%	9 8.0%	3 15.0%	29 7.2%	0.47

**「もんげー性病検査」は選択肢にない期間があり、それを除いて分析したため、総数は異なる。

1) これまでにセックスをしたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

表 2-2 経年別 拠点病院における受検者アンケート結果 (続き)

	2015年度 n=32	2016年度 n=56	2017年度 n=109	2018年度 n=71	2019年度 n=113	2020年度 n=20	合計 n=401	Pearson カイ二乗
今回を除いて、これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?								
ある	12	30	47	41	40	8	178	0.18
ない(今回初めて)	20	26	62	30	72	12	222	
無回答	0	0	0	0	1	0	1	
今回を除いて、一番最近に受けたHIV検査(エイズ検査)はいつでしたか? ²⁾								
過去1年間	5	12	12	11	21	4	65	0.12
過去1~2年前(過去1年より以前)	4	11	14	17	10	1	57	
過去3年以上前	3	7	21	12	8	2	53	
無回答	0	0	0	1	1	1	3	
これまでのHIV検査受検場所 ²⁾								
保健所	10	13	23	16	10	2	74	<0.01
エイズ治療拠点病院	4	12	13	14	16	2	61	0.19
病院・診療所・クリニック	6	10	22	19	18	4	79	0.19
郵送検査	1	0	0	0	2	0	3	0.03
その他	0	0	0	0	1	0	1	0.20
検査満足度 1) 話し方・言葉づかいはどうでしたか?								
とても満足	24	46	87	55	70	19	301	<0.01
やや満足	7	8	19	14	25	0	73	
やや不満	0	2	2	2	2	1	9	
とても不満	0	0	1	0	0	0	1	
無回答	1	0	0	0	16	0	17	
検査満足度 2) 質問しやすい雰囲気についてはどうでしたか?								
とても満足	24	45	83	52	68	19	291	<0.01
やや満足	6	6	19	12	26	0	69	
やや不満	1	4	6	7	3	0	21	
とても不満	0	1	1	0	0	1	3	
無回答	1	0	0	0	16	0	17	
検査満足度 3) 安心できる雰囲気についてはどうでしたか?								
とても満足	22	46	80	52	69	19	288	<0.01
やや満足	6	6	22	16	24	0	74	
やや不満	3	2	5	3	4	0	17	
とても不満	0	2	2	0	0	1	5	
無回答	1	0	0	0	16	0	17	
検査満足度 4) プライバシー保護についてはどうでしたか?								
とても満足	20	46	77	55	69	19	286	<0.01
やや満足	10	5	22	13	23	1	74	
やや不満	1	5	7	3	5	0	21	
とても不満	0	0	3	0	0	0	3	
無回答	1	0	0	0	16	0	17	
HIV検査(エイズ検査)で受けやすいのはどれですか?								
平日日中	13	25	48	27	44	7	164	0.92
平日夜間	12	21	45	26	50	14	168	0.14
土曜日	17	26	45	32	62	9	191	0.44
日曜日	13	23	40	29	46	11	162	0.79
その他	1	0	2	4	3	0	10	0.41
あなたは検査広報カードをみたことがありますか?								
ある	2	7	8	12	12	2	43	0.67
ない	30	49	101	59	100	18	357	
無回答	0	0	0	0	1	0	1	
どこで見ましたか? ³⁾								
トイレ	0	4	2	3	6	1	16	0.46
会社	0	0	0	2	0	0	2	0.37
学校・大学	0	0	1	0	0	0	1	0.48
病院	1	5	4	6	9	1	26	0.78
クラブイベント	0	1	1	0	1	1	4	0.34
ゲイバー	1	0	0	0	2	0	3	0.09
その他	0	1	2	1	0	0	4	0.52

2) これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

3) 検査広報カードをみたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

表3-1 経年別 クリニック検査における受検者アンケート結果
*2021年度は第1回分のみの集計

	2015年度 n=29	2016年度 n=37	2017年度 n=55	2018年度 n=59	2019年度 n=60	2020年度 n=59	2021年度 n=45	合計 n=344	Pearson カイ2乗
年齢層									
19歳以下	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	0.02
20-29歳	15 51.7%	11 29.7%	19 34.5%	22 37.3%	17 28.3%	19 32.2%	7 15.6%	110 32.0%	
30-39歳	7 24.1%	13 35.1%	18 32.7%	19 32.2%	13 21.7%	12 20.3%	15 33.3%	97 28.2%	
40-49歳	6 20.7%	13 35.1%	16 29.1%	12 20.3%	18 30.0%	23 39.0%	13 28.9%	101 29.4%	
50-59歳	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 10.2%	10 16.7%	4 6.8%	9 20.0%	30 8.7%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	1 2.2%	3 0.9%	
居住地									
岡山市	20 69.0%	24 64.9%	28 50.9%	33 55.9%	31 51.7%	46 78.0%	42 93.3%	224 65.1%	0.01
倉敷市	6 20.7%	5 13.5%	8 14.5%	12 20.3%	9 15.0%	3 5.1%	0 0.0%	43 12.5%	
県南東部	0 0.0%	3 8.1%	3 5.5%	3 5.1%	5 8.3%	3 5.1%	0 0.0%	17 4.9%	
県南西部	1 3.4%	0 0.0%	6 10.9%	2 3.4%	5 8.3%	2 3.4%	0 0.0%	16 4.7%	
高梁/新見/真庭/津山/英田	0 0.0%	1 2.7%	3 5.5%	4 6.8%	5 8.3%	1 1.7%	0 0.0%	14 4.1%	
県外・無回答	2 6.9%	4 10.8%	7 12.7%	5 8.5%	5 8.3%	4 6.8%	3 6.7%	30 8.7%	
性別									
男性	29 100.0%	37 100.0%	55 100.0%	59 100.0%	59 98.3%	59 100.0%	44 97.8%	342 99.4%	0.49
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	1 0.3%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	
性指向別3群									
MSM以外の男性	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 10.0%	2 3.4%	1 2.2%	10 2.9%	0.06
MSM	28 96.6%	37 100.0%	55 100.0%	59 100.0%	53 88.3%	57 96.6%	43 95.6%	332 96.5%	
不明(性別がその他または不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	1 2.2%	2 0.6%	
あなたはこれまでにセックスをしたことがありますか?									
ある	29 100.0%	37 100.0%	55 100.0%	59 100.0%	59 98.3%	58 98.3%	43 95.6%	340 98.8%	0.36
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	2 4.4%	4 1.2%	
あなたはこれまでにクラミジアや淋病、梅毒などの性感染症にかかったことはありますか?¹⁾									
ある	9 31.0%	8 21.6%	9 16.4%	19 32.2%	17 28.8%	22 37.9%	16 37.2%	100 29.4%	0.17
ない	20 69.0%	29 78.4%	46 83.6%	40 67.8%	42 71.2%	36 62.1%	27 62.8%	240 70.6%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか?¹⁾									
ある	2 6.9%	4 10.8%	1 1.8%	7 11.9%	11 18.6%	4 6.9%		29 9.8%	<0.01
ない	27 93.1%	33 89.2%	24 43.6%	52 88.1%	48 81.4%	54 93.1%		238 80.1%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	30 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		30 10.1%	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか?¹⁾									
ある	2 6.9%	1 2.7%	1 1.8%	4 6.8%	3 5.1%	2 3.4%		13 4.4%	<0.01
ない	27 93.1%	36 97.3%	24 43.6%	55 93.2%	56 94.9%	56 96.6%		254 85.5%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	30 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		30 10.1%	
あなたは検査に来る前に、以下の印刷物やロゴ、ホームページなどを見たことがありますか?									
岡山県のホームページ	4 13.8%	9 24.3%	9 16.4%	6 10.2%	12 20.0%	11 18.6%	9 20.0%	60 17.4%	0.65
岡山市のホームページ	8 27.6%	9 24.3%	9 16.4%	6 10.2%	10 16.7%	7 11.9%	8 17.8%	57 16.6%	0.33
倉敷市のホームページ	1 3.4%	3 8.1%	5 9.1%	1 1.7%	4 6.7%	0 0.0%	1 2.2%	15 4.4%	0.16
あつとぴーち	10 34.5%	5 13.5%	9 16.4%	10 16.9%	11 18.3%	17 28.8%	8 17.8%	70 20.3%	0.20
HaaTえひめ	9 31.0%	15 40.5%	19 34.5%	16 27.1%	18 30.0%	22 37.3%	13 28.9%	112 32.6%	0.80
fight!!	6 20.7%	10 27.0%	11 20.0%	12 20.3%	15 25.0%	9 15.3%	11 24.4%	74 21.5%	0.83
やる!プロジェクト	2 6.9%	17 45.9%	19 34.5%	21 35.6%	18 30.0%	15 25.4%	12 26.7%	104 30.2%	0.03
もんげー性病検査**	24 82.8%	32 86.5%	47 85.5%	49 83.1%	45 75.0%	49 83.1%	37 82.2%	283 82.3%	0.80

**「もんげー性病検査」は選択肢にない期間があり、それを除いて分析したため、総数は異なる。#2021年度分には金銭の授受を伴う性行為経験の項目はない。

1) これまでにセックスをしたことがあると回答した人を対象として分析したため、総数は異なる。

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

		配布方法とIDの利用状況												
		アンケート		ID使用				ID不使用				合計		
		回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				Pearson カイ2乗
配布CBO														
HaaTえひめ/BRIDGE (中国・四国)		230	23.2%	0	0.0%	121	29.2%	0	0.0%	80	28.6%	431	18.8%	
検査DATA 採取した月														
2021年9月						0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	<0.01
2021年10月						78	64.5%			38	47.5%	116	57.7%	
2021年11月						6	5.0%			16	20.0%	22	10.9%	
2021年12月						29	24.0%			14	17.5%	43	21.4%	
2022年1月						8	6.6%			12	15.0%	20	10.0%	
合計						121	100.0%			80	100.0%	201	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果														
初めて陽性と知った						1	0.8%			1	1.3%	2	1.0%	0.21
陰性だった						120	99.2%			77	96.3%	197	98.0%	
判定不能						0	0.0%			2	2.5%	2	1.0%	
再罹患						0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計						121	100.0%			80	100.0%	201	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果														
既往あり						2	1.7%			0	0.0%	2	1.0%	<0.01
初めて陽性と知った						4	3.3%			12	15.0%	16	8.0%	
陰性だった						101	83.5%			64	80.0%	165	82.1%	
判定不能						3	2.5%			4	5.0%	7	3.5%	
再罹患						11	9.1%			0	0.0%	11	5.5%	
合計						121	100.0%			80	100.0%	201	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況														
未読						3	2.5%			2	2.5%	5	2.5%	1.00
既読						118	97.5%			78	97.5%	196	97.5%	
合計						121	100.0%			80	100.0%	201	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)														
29歳以下		94	40.9%			44	36.4%			35	43.8%	173	40.1%	0.65
30-39歳		73	31.7%			43	35.5%			28	35.0%	144	33.4%	
40-49歳		40	17.4%			24	19.8%			13	16.3%	77	17.9%	
50-59歳		19	8.3%			10	8.3%			4	5.0%	33	7.7%	
60歳以上		4	1.7%			0	0.0%			0	0.0%	4	0.9%	
年齢不明		0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計		230	100.0%			121	100.0%			80	100.0%	431	100.0%	

表7 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.20		
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
東京	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
南関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
北陸	1	0.4%	0	0.0%	1	2.3%	2	0.5%					
東海	6	2.6%	1	0.8%	0	0.0%	7	1.8%					
近畿	56	24.3%	34	28.1%	9	20.5%	99	25.1%					
中国	79	34.3%	50	41.3%	17	38.6%	146	37.0%					
四国	48	20.9%	23	19.0%	9	20.5%	80	20.3%					
九州	32	13.9%	10	8.3%	6	13.6%	48	12.2%					
沖縄	8	3.5%	3	2.5%	1	2.3%	12	3.0%					
不明	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	1	0.3%					
合計	230	100.0%	121	100.0%	44	100.0%	395	100.0%					
国籍													
日本	219	95.2%	117	96.7%			336	95.7%	0.59				
アジア	11	4.8%	4	3.3%			15	4.3%					
欧米	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%					
その他	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%					
合計	230	100.0%	121	100.0%			351	100.0%					
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			35	40.2%	15	34.1%	50	38.2%	0.88				
郊外住宅地			38	43.7%	23	52.3%	61	46.6%					
農村地域・漁村地域			6	6.9%	3	6.8%	9	6.9%					
山間部			5	5.7%	1	2.3%	6	4.6%					
離島			1	1.1%	1	2.3%	2	1.5%					
無回答			2	2.3%	1	2.3%	3	2.3%					
合計			87	100.0%	44	100.0%	131	100.0%					
性別													
男性	229	99.6%	120	99.2%	79	98.8%	428	99.3%	0.38				
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					
トランスジェンダー	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.2%					
その他	1	0.4%	0	0.0%	1	1.3%	2	0.5%					
合計	230	100.0%	121	100.0%	80	100.0%	431	100.0%					
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			5	5.7%	0	0.0%	5	3.8%	0.09				
いいえ			78	89.7%	44	100.0%	122	93.1%					
無回答			4	4.6%	0	0.0%	4	3.1%					
合計			87	100.0%	44	100.0%	131	100.0%					
居住形態													
独居	134	58.3%	68	56.2%			202	57.5%	0.73				
同居	96	41.7%	53	43.8%			149	42.5%					
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%					
合計	230	100.0%	121	100.0%			351	100.0%					

表8 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗
	アンケート		ID使用		ID不使用			
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。								
ある	121	52.6%	72	59.5%	193	55.0%	0.26	
ない（今回が初めての検査）	109	47.4%	49	40.5%	158	45.0%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。								
ある	63	27.4%	38	31.4%	101	28.8%	0.46	
ない	167	72.6%	83	68.6%	250	71.2%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去1年の受検場所（複数回答）								
保健所	23	10.0%	17	14.0%	40	11.4%	0.53	
病院/クリニック	22	9.6%	12	9.9%	34	9.7%	0.65	
郵送検査	22	9.6%	17	14.0%	39	11.1%	0.47	
その他	6	2.6%	4	3.3%	10	2.8%	0.67	
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）								
ゲイバー	44	19.1%	22	18.2%	66	18.8%	0.89	
ゲイイベント	2	0.9%	0	0.0%	2	0.6%	0.55	
ゲイショップ	5	2.2%	5	4.1%	10	2.8%	0.32	
有料のハッテン場	47	20.4%	29	24.0%	76	21.7%	0.50	
野外のハッテン場	42	18.3%	13	10.7%	55	15.7%	0.09	
いずれもない	127	55.2%	70	57.9%	197	56.1%	0.65	
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）								
Twitter	84	36.5%	38	31.4%	122	34.8%	0.35	
Instagram	16	7.0%	7	5.8%	23	6.6%	0.82	
VERO	17	7.4%	13	10.7%	30	8.5%	0.32	
9monsters	212	92.2%	108	89.3%	320	91.2%	0.43	
Men's Net Japan	26	11.3%	19	15.7%	45	12.8%	0.24	
KO-MENSTV	28	12.2%	21	17.4%	49	14.0%	0.20	
その他	19	8.3%	7	5.8%	26	7.4%	0.52	
いずれもない	9	3.9%	8	6.6%	17	4.8%	0.30	
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。								
受け取っていない	218	94.8%	106	87.6%	324	92.3%	0.05	
受け取ったけど、利用していない	2	0.9%	3	2.5%	5	1.4%		
受け取って、利用した	10	4.3%	12	9.9%	22	6.3%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。								
よく知っている	18	7.8%	11	9.1%	29	8.3%	0.65	
少し知っている	51	22.2%	33	27.3%	84	23.9%		
あまり知らない	96	41.7%	48	39.7%	144	41.0%		
全く知らない	65	28.3%	29	24.0%	94	26.8%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		

表9 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用		ID不使用			
			対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？								
ある	200	87.0%	110	90.9%	310	88.3%	0.30	
ない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）								
彼氏や恋人	46	20.0%	30	24.8%	76	21.7%	0.38	
友達やセクフレ	132	57.4%	77	63.6%	209	59.5%	0.42	
その場限りの相手	126	54.8%	60	49.6%	186	53.0%	0.19	
その他	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%	0.41	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。								
ある	175	76.1%	97	80.2%	272	77.5%	0.54	
ない	25	10.9%	13	10.7%	38	10.8%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。								
ある	56	24.3%	30	24.8%	86	24.5%	0.54	
ない	144	62.6%	80	66.1%	224	63.8%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。								
ある	41	17.8%	19	15.7%	60	17.1%	0.43	
ない	159	69.1%	91	75.2%	250	71.2%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。								
ある	13	5.7%	7	5.8%	20	5.7%	0.55	
ない	187	81.3%	103	85.1%	290	82.6%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。								
ある	9	3.9%	3	2.5%	12	3.4%	0.40	
ない	191	83.0%	107	88.4%	298	84.9%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。								
ある	1	0.4%	1	0.8%	2	0.6%	0.50	
ない	199	86.5%	109	90.1%	308	87.7%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		
過去6カ月間のコンドーム使用状況								
非常用	162	70.4%	94	77.7%	256	72.9%	0.33	
常用	38	16.5%	16	13.2%	54	15.4%		
過去6ヶ月間 にない	30	13.0%	11	9.1%	41	11.7%		
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%		

表 1 0 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況						Pearson カイ2乗		
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。									
とてもよく知っている	47	20.4%	26	21.5%	73	20.8%	0.13		
具体的には知らないが、聞いた	140	60.9%	62	51.2%	202	57.5%			
まったく知らない	43	18.7%	33	27.3%	76	21.7%			
合計	230	100.0%	121	100.0%	351	100.0%			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図									
服薬したくない/どちらかといえば	37	16.2%	31	25.6%	68	19.4%	0.05		
服薬したい/どちらかといえば	192	83.8%	90	74.4%	282	80.6%			
合計	229	100.0%	121	100.0%	350	100.0%			
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験									
ない	219	95.6%	111	91.7%	330	94.3%	0.15		
ある	10	4.4%	10	8.3%	20	5.7%			
合計	229	100.0%	121	100.0%	350	100.0%			
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）									
梅毒	29	12.6%	13	10.7%	42	12.0%	0.73		
A型肝炎	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%	1.00		
B型肝炎	15	6.5%	4	3.3%	19	5.4%	0.32		
C型肝炎	0	0.0%	1	0.8%	1	0.3%	0.34		
クラミジア	27	11.7%	11	9.1%	38	10.8%	0.59		
尖圭コンジローマ	17	7.4%	7	5.8%	24	6.8%	0.66		
淋病	18	7.8%	6	5.0%	24	6.8%	0.38		
HIV感染症	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%	1.00		
赤痢アメーバ	4	1.7%	0	0.0%	4	1.1%	0.30		
毛じらみ	50	21.7%	23	19.0%	73	20.8%	0.58		
性器ヘルペス	2	0.9%	1	0.8%	3	0.9%	1.00		
その他	1	0.4%	1	0.8%	2	0.6%	1.00		
いずれもない	125	54.3%	76	62.8%	201	57.3%	0.14		
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）									
アプリ広告で知った			77	88.5%	40	90.9%	117	89.3%	0.60
インターネットで知った			5	5.7%	6	13.6%	11	8.4%	0.19
コミュニティセンターで知った			0	0.0%	2	4.5%	2	1.5%	0.08
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
友達から聞いた			4	4.6%	1	2.3%	5	3.8%	0.47
その他			2	2.3%	1	2.3%	3	2.3%	0.60
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。									
簡単だった			59	67.8%	28	63.6%	87	66.4%	0.84
どちらでもない			7	8.0%	5	11.4%	12	9.2%	
難しかった			15	17.2%	9	20.5%	24	18.3%	
無回答			6	6.9%	2	4.5%	8	6.1%	
合計			87	100.0%	44	100.0%	131	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。									
回答した			86	98.9%	36	81.8%	122	93.1%	<0.01
していない			0	0.0%	7	15.9%	7	5.3%	
無回答			1	1.1%	1	2.3%	2	1.5%	
合計			87	100.0%	44	100.0%	131	100.0%	

2021年度の中四国地域の状況

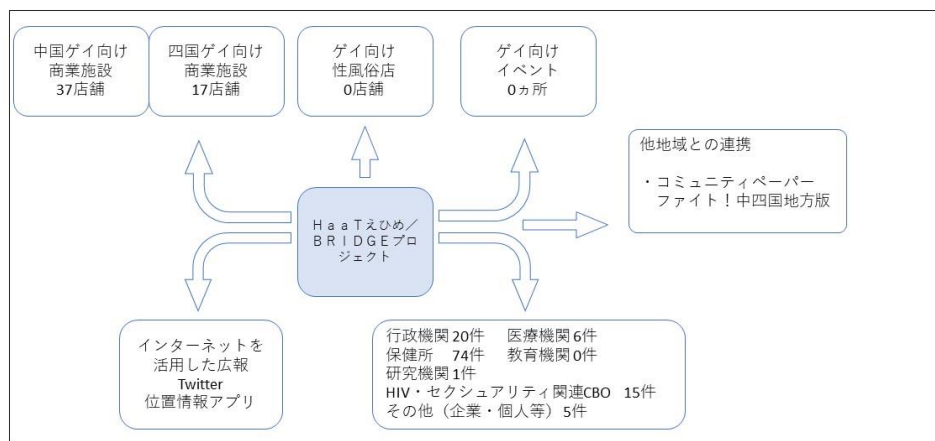
①コミュニティの状況
 ・2022年2月現在、山口県・広島県・岡山県・島根県・香川県・高知県にまん延防止等重点措置が発令（岡山県・広島県は延期を要請or視野、山口県・島根県は解除）されていることにより、ゲイバーは休業、または時短営業をしている。愛媛県はまん防は出ていないがゲイバー1店が平日休業などしている。
 ・2020年度コロナの影響で延期された岡山でのパレードが実施された。

②検査機会の動向
 ・中四国地方の保健所は通常通り検査を実施している。
 ・広島市（とうかさん）でのイベント検査の中止。
 ・岡山県のクリニック検査、愛媛県松山市のMSM向け保健所検査はコロナ禍の中でも実施。
 ・2020年度実施できなかった「せとうち性病クリニック検査（研究事業）」は21年度は実施。

地域の商業施設数と連携

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カパー率）	2021年1月31日時点備考
ゲイバー	中国37、四国17 (計54)	中国37、四国17 (計54)	100	
有料ハッテン場	5	4	80%	
ゲイナイト	7→0	0	0	コロナ禍で開催なし
ウリ専	2→1	1	100	
ゲイショップ	0	0	0	
サウナ・ホテル	-	-	-	-
マッサージ	7	0	0	
ゲイ雑誌	0	0	0	
スマホアプリ	1	1	100	
ウェブサイト	1	1	100	
ゲイサークル	4	0	0	活動休止
その他（ ）	-	-	-	-

普及啓発活動の状況



活動・啓発資材の製作・配布



・ゲイコミュニティペーパー ファイト！ 中四国地方版

季刊。各2,500部発行、中四国地方約50か所のゲイ商業施設やコミュニティセンター、NPO施設などで配布。

プログラムの目的・必要性：地域情報や予防啓発に関する基礎的情報を繰り返し伝える
 対象となる人や施設：中四国地方のゲイ商業施設/在住MSM
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：

アウトリーチ：6月、7月、10月、11月に実施済み、3月に実施予定



・セーフセックスガイド2021年版

2,000部発行

プログラムの目的・必要性：予防啓発に関する基礎的情報を繰り返し伝える
 対象となる人や施設：中四国地方のゲイ商業施設/在住MSM
 予算：地方行政事業費（松山市）
 その他の投入資源：

ゆうそう検査の取り組み

2021年度

主に対象となる人や施設：中四国地方に在住するMSM。
 配布方法：対面を介さないWEB申込みによる配布。



工夫した内容（資材展開 / WEB展開 / 資材・WEB展開）：ゆうそう検査キットのパッケージ製作。ゲイアプリでのバナー広告（起動時画面広告からロケーション広告をはじめて使用）、団体ツイッターアカウントでのツイート告知を実施。



結果：昨年度に引き続き中四国地方では対面を避け、WEB申込みによるキット配布をおこなった。今回はWEBサイトを新設（<http://sh-check.net/yuusou/>）した。広報開始2週間で予定配布数に達したため広報を停止。予定していた広報予算を検査キット購入に振り分け、50セットを追加し再度広報を開始した。

実施日時 対面：前期（10月1日～10月14日）（WEB広報期間：10月1日～10月14日）
 後期（11月12日～12月9日）（WEB広報期間：12月5日～12月9日）
 配布数やアクセス数：合計300セット（前期250セット、後期50セット）

WEBアクセス解析：ユーザ数7,460、10,262セッション（Googleアナリティクス）

実施した反応 WEB配布では昨年度よりも需要増を見越して2020年度100セットから、2021年度250セット配布予定数を増やしたが早々に配布を終了した。コロナ禍のなか保健所検査が大幅減となっているが受検ニーズは一定あることが予想できる。コロナ禍の中で受けやすい検査環境を整えていくことが求められていると考える。

郵送検査キット

無料

匿名

Alfa (Alpha) プロジェクト
 0120-712-680
 096-6228-8142

BRIDGE プロジェクト × Haat えひめ

【実施内容】

期間：2021年10月1日～12月27日

- ・中四国在住のMSM限定
- ・HIV・梅毒

【配布方法】

・WEB上で完結し誰にも会わずに受検できることを優先した。

・特設WEBサイト開設
 (<http://sh-check.net/yuusou/>)

WEBで申し込み→自宅などに郵送→検体を自分で採血→検査会社へ郵送→WEBで結果受け取り

【広報】

- ・コミュニティペーパーの広報記事
- ・バナー広報(ゲイ男性向け出会い系アプリ)



【特記】

・検査キットの配布が早期に終了したことから、キット取り寄せの方へ検査促し(リマインド)の広報を実施した。

(リマインド広報期間(ゲイアプリ)：12月10日～12月21日、Twitterでは2022年1月18日まで実施)

・WEB配布(都道府県別の配布数：別紙有り)

活動・松山市保健所ゲイバイ男性限定検査会



松山市保健所 ゲイバイ男性限定HIV検査会

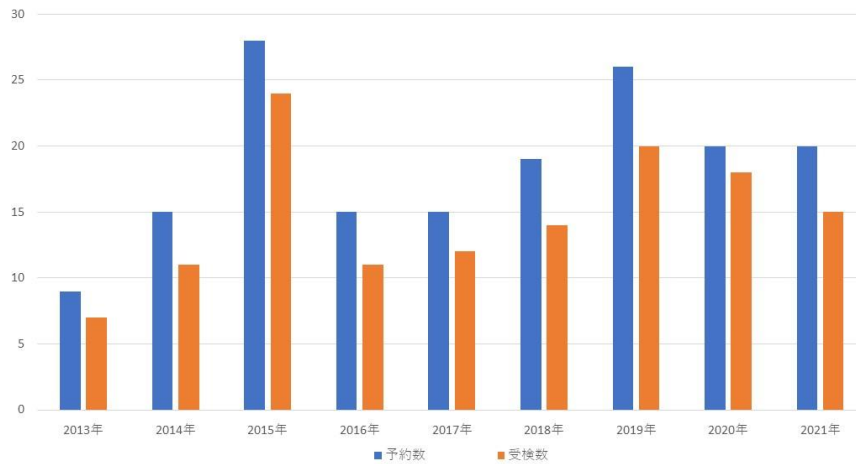
2021年6月6日(日) 16~17時30分

2021年12月5日(日) 16~17時30分

- ・MSM限定
- ・特設WEBサイトの開設
- ・HIV／梅毒／B・C型肝炎
- ・要予約
- ・ネット予約／電話予約
- ・ゲイ情報サイトでのバナー広報

プログラムの目的・必要性：松山市（近郊）在住のMSMを対象としたHIV検査勧奨
対象となる人や施設：松山市（近郊）在住のMSM
予算：地方行政事業費
その他の投入資源：なし

活動・松山市保健所ゲイバイ男性限定検査会



活動・中四国のクリニック検査

第1弾：2021年8月17日～9月30日

第2弾：2022年1月17日～2月28日（せとうち性病クリニック検査コラボ）



- ・MSM限定
- 岡山市内3か所、倉敷市内3か所
- 松山市内2か所、高松市内1か所
- ・HIV・梅毒（結果は1週間後以降）
- ・予約不要
- ・自己負担1,000円
- ・広報資材（冊子製作・配布）
- 中四国地方のゲイ商業施設など約50施設で配布
- ・特設WEBサイト開設(http://sh-check.net/setouchi_cl)
- ・バナー広報(ゲイ男性向け出会い系アプリ・ゲイ出会い系サイト)
- ・Twitterプロモーション広告

プログラムの目的・必要性：岡山県・せとうち圏在住のMSMを対象としたHIV検査勧奨
対象となる人や施設：岡山県・せとうち圏在住のMSM
予算：地方行政事業費（岡山県）／研究費
その他の投入資源：なし

活動・中四国のクリニック検査

■クリニック検査 受検者数推移

H27 (2015) 年度【受検者31名】		
第1弾 (8/17~9/30)	受検者：15人 (HIV陽性1名、梅毒陽性3名)	
第2弾 (1/12~2/29)	受検者：16人 (HIV陽性0名、梅毒陽性1名)	
H28 (2016) 年度【受検者46名】		
第1弾 (8/17~9/30)	受検者：33人 (HIV陽性0名、梅毒陽性4名)	
第2弾 (1/10~2/28)	受検者：13人 (HIV陽性0名、梅毒陽性0名)	
H29 (2017) 年度【受検者56名】		
第1弾 (8/17~9/30)	受検者：31人 (HIV陽性1名、梅毒陽性4名)	
第2弾 (1/09~2/28)	受検者：25人 (HIV陽性0名、梅毒陽性5名)	
H30 (2018) 年度【受検者95名】		
岡山県 もんげ～ 性病検査	第1弾 (8/17~9/30)	受検者：31人 (HIV陽性1名、梅毒陽性6名)
	第2弾 (1/07~2/28)	受検者：34人 (HIV陽性2名、梅毒陽性7名)
せとうち 性病検査	第1弾 (8/17~9/30)	受検者：12人 (HIV陽性0名、梅毒陽性1名)
	第2弾 (1/07~2/28)	受検者：18人 (HIV陽性0名、梅毒陽性1名)

R1 (2019) 年度【受検者90名】		
岡山県 もんげ～ 性病検査	第1弾 (8/17~9/30)	受検者：31人 (HIV陽性1名、梅毒陽性3名)
	第2弾 (1/06~2/29)	受検者：33人 (HIV陽性0名、梅毒陽性6名)
せとうち 性病検査	第1弾 (8/17~9/30)	受検者：26人 (HIV陽性1名、梅毒陽性2名)
R2 (2020) 年度【受検者56名】		
第1弾 (8/17~9/30)	受検者：31人 (HIV陽性0名、梅毒陽性1名)	
第2弾 (2/15~3/15)	受検者：25人 (HIV陽性0名、梅毒陽性4名)	
R3 (2021) 年度【受検者50名+実施中】		
岡山県 もんげ～ 性病検査	第1弾 (8/19~9/30)	受検者：50人 (HIV陽性6名、梅毒陽性14名)
	第2弾 (1/17~2/28)	実施中
せとうち 性病検査	第1弾 (1/17~2/28)	実施中

活動・中四国のLGBTムーブメント

●同性パートナーシップ制度

導入済み：広島県広島市、三原市、安芸高田市、岡山県岡山市、倉敷市、総社市、備前市、真庭市、山口県宇部市、香川県高松市、善通寺市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、多度津町、徳島県徳島市、吉野川市、三好市、那賀町、北島町、高知県高知市

導入検討：香川県丸亀市

導入議論：愛媛県松山市、徳島県鳴門市・小松島市・阿南市・美馬市



●レインボーパレード

2019年8月25日 四国地方初開催 丸亀レインボーパレード
2021年11月28日 中国地方初開催 ももたろうOKAYAMA虹の祭典

●LGBT活動団体の立ち上げ(愛媛県松山市)

LGBT当事者相談支援・居場所事業・講師派遣

次年度の取り組みについて

- インターネットでのHIV検査広報の仕組みを作りたい。
(中四国セクシュアルヘルスチェック：<http://sh-check.net/>)
- コンドーム常用率が中国地方14.5%、四国地方18.4%と20%を割り込んでいる。コンドームプロモーションの強化が求められている。
- 新しい知見(TasP、U=U)やPrEPのある時代の、コンビネーション予防の概念をゲイコミュニティへの丁寧伝えていくことをMSM ALL JAPANで考えなければいけない。
- コロナ禍で検査受検数が大幅に減った、検査機会の拡大とコロナ禍に対応した検査提供の構築(ゆうそう検査・クリニック検査など)が求められる。
- コロナ禍後の地域活性化(ゲイコミュニティのエンパワー)の取り組みの準備
- 団体のビジョン・ミッション・バリューの見直し

九州における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：船石翔馬、灰来人（認定 NPO 法人 魅惑的倶楽部/コミュニティセンターHACO）

古賀康雅（博多区保健福祉センター）

山本政弘、南留美、高濱宗一郎（九州医療センター）

研究要旨

総計 186 キットを配布した。実際にアンケートに回答したものは 217 名であり、有効回答は 197 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 117 名であった。そのうち 95.8%が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件（推定新規陽性率 1.2%）、梅毒の陽性件数は 19 件（既往歴も含む）（推定新規陽性率 3.6%）であった。検体を郵送した 68 名のうち、83 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 20 名においては、30 歳未満が 50.0%を占めた。九州地域の居住者が 95.0%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 15.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 30.0%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 20.0%であった。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 63 名においては、30 歳未満が 25.4%を占めた。九州地域の居住者が 69.8%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 30.2%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 58.7%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 52.4%であった。

九州地域で、対面型と WEB での検査キットの配布を組み合わせ実施し予定数をすべて配布した。2 年目の試みであったが、入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型では不安を軽減する工夫を行い、WEB 配布については特設サイトを開設し、必要な情報提供を心掛け計画通りに実施できた。

A. 研究目的

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるが、保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

九州地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査キットをコミュニティセンターで対面と WEB で配布した。特にコミュニティセンターの近隣以外に居住する者や山口県も重要なターゲット層であることから WEB 配布を本年度も導入し

た。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行うことを目的とする。

B. 研究方法

コミュニティセンターにおいて、本プロジェクトに関する説明事項を含むウェブサイトを開設した。コミュニティセンターでの対面型配布のみとした。公式ホームページ、公式 Twitter、HACO スタッフ個人 Twitter、コミュニティセンター周辺のゲイ向け商業施設へのチラシ配布（ゲイバー、ハッテン場、ショップ等の約 60 店舗）、スタッフの 9monsters（ゲイ向けマッチングアプリ）アカウントで、ハウリングという機能を使って、今すぐ会いたい「HACO で郵送検査キットの無料配布を行った。

アンケート回答後にお渡ししています」と投稿した。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケートに答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。今回はWEB配布も行うため、特設サイトでの説明の充実を図った。特に九州・山口各県も対象視野に入れ、各県の保健所の検査情報を掲載した。また、陽性判明時に郵送検査会社が発行する病院への紹介状が一部病院では無効となるため、熊本大学医学部附属病院、佐賀大学医学部附属病院に対応を依頼し、受け入れの承諾を得た。

対面布時用のガイダンス資料を作成し、希望者の細かな疑問等に対応した。また、コロナまん延時期でもあるため、検査希望者に配布後にコロナ感染が判明した場合、連絡等の協力をお願いした。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1. 郵送検査キットの配布日・概要

対面は顔を見られるリスクとともにコロナまん延時期でもあり、伸びは鈍かった。WEB配布は、前期終了前に100セットの予定数に達したため、11月5・6日に開催される九州レインボー・プライドに合わせ50セット追加を依頼、ツイキャス等でよびかけ全量の配布を終了した。

実施日時については、対面では：前期（9月18日～10月3日）・後期（11月13日～12月5日）、WEB配布は（9月18日～12月5日）であった。配布数やアクセス数については、対面での配布60人、WEB配布：150人であった。特設サイトのアクセス数は2,167PVであった。

2. 検体の送付状況とアンケートの結果

総計186キットを配布した。実際にアンケートに回答したものは217名であり、有効回答は197名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは117名であった。そのうち95.8%が結果にログインしていた。

HIV陽性件数は3件（推定新規陽性率1.2%）、梅毒の陽性件数は19件（既往歴も含む）（推定新規陽性率3.6%）であった。検体を郵送した

68名のうち、83名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た20名においては、30歳未満が50.0%を占めた。九州地域の居住者が95.0%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は15.0%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち30.0%であった。

過去6ヶ月間の男性との性交経験は95.0%と高く、ハッテン場を利用した性交経験が50.0%であった。3人以上の複数人での性交経験も25.0%であった。また過去6ヶ月間のPrEPの使用経験は0.0%であった。コンドーム常用割合は15.0%であった。

MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は20.0%であった。

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	福岡
	CBO	魁惑的倶楽部 福岡支部
	コミュニティセンター	HACO
a 配布総数		186
対面配布数		36
WEB配布数		150
b 受検者アンケート回答者数		197
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		120
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		64.5%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	115（95.8%）	
抗体検査結果		*重複感染（2名）
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）	2（1.7%）	
f 陽性数（割合 f/c）	3（2.5%）	
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	1.4（1.2%）	
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）	4（3.3%）	
h 陽性数（割合 h/c）	19（16.4%）	
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	4.2（3.6%）	
i 追跡可能者実数；無料ID使用者数（割合 i/c）	83（69.2%）	
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）	88（73.3%）	
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）	66（55.0%）	

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

WEB配布かつID連結の同意を得た63名においては、30歳未満が25.4%を占めた。九州地域の居住者が69.8%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は30.2%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち58.7%であった。

過去 6 ヶ月間の男性との性交経験は 92.1%と高く、ハッテン場を利用した性交経験が 68.3%であった。3 人以上の複数人での性交経験も 17.5%であった。また過去 6 ヶ月間の PrEP の使用経験は 3.2%であった。コンドーム常用割合は 19.0%であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 52.4%であった。

3. 実施しての振り返り

対面では希望者には丁寧な対応を心がけたことで HIV/AIDS やセーフターセックス、PrEP などについて理解を深めることができたと感じる。WEB 配布では予定数を早々に終了し、郵送検査本来の利便性に需要があることが推測できた。アンケートについては、だいたいの人が 5 分前後で回答していた。

説明・ガイダンスについては、経験豊富なスタッフが対応し、説明中に受取希望者が来た場合は若手スタッフが対応した。2 人の説明に差異がでないように、HACO でオリジナルの説明資料を作成し、それを使用して説明した。

相談については、昨年と同様に検査キット受け渡し時の説明の際の質問や相談に関しては別途 Q&A 形式でまとめ、すべてのスタッフが同一オリエティで対応できるようにした。

D. 考察

今年度も新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査の提供件数が落ち込み、定期的に保健所で検査を受けていた人が、検査キットを受け取りに来ることがあった。また、保健所やクリニックでの受検経験はあるが、郵送検査は生涯初という受検者もいた。また WEB でも配布を実施し、広範囲からの利用ニーズがあることが示された。このようなことから、郵送検査キットの無料配布キャンペーンは多くの MSM に対して新たな検査機会の提供になったのではないかと考えられる。

福岡コミュニティセンター-HACO では、郵送検査キットの配布方法は、去年は対面による受け渡しのみであったが、今年度は WEB 配布も実施した。受検者と直接接することで、検査方法を詳細に伝えることができ、問い合わせに対してもその場で答えることで、受検者に対して安心感を与えることができる点が対面の強みである。一方 WEB 型配布は福岡市以外や山口県の利用ニーズがある層にも届くことができる強みがある。

E. 結論

九州地域で、対面型と WEB での検査キットの配布を組み合わせて実施し予定数をすべて配布した。2 年目の試みであったが、入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型では不安を軽減する工夫を行い、WEB 配布については特設サイトを開設し、必要な情報提供を心掛け計画通りに実施できた。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS Care, 2020.
DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.
- 3) Kaneko N, Shiono S, Hill AO, et al.: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan. AIDS care. 1-8. 2020.
- 4) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

		配布方法とIDの利用状況												
		アンケート		ID使用				ID不使用				合計		
		回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO														
HACO/HACO (福岡)		114	11.5%	20	3.9%	63	15.2%	2	2.0%	35	12.5%	234	10.2%	
検査DATA 採取した月														
2021年9月				7	35.0%	15	23.8%			9	25.7%	31	26.3%	0.01
2021年10月				5	25.0%	25	39.7%			4	11.4%	34	28.8%	
2021年11月				6	30.0%	11	17.5%			6	17.1%	23	19.5%	
2021年12月				1	5.0%	8	12.7%			6	17.1%	15	12.7%	
2022年1月				1	5.0%	4	6.3%			10	28.6%	15	12.7%	
合計				20	100.0%	63	100.0%			35	100.0%	118	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果														
初めて陽性と知った				0	0.0%	1	1.6%			1	2.9%	2	1.7%	0.86
陰性だった				20	100.0%	61	96.8%			33	94.3%	114	96.6%	
判定不能				0	0.0%	1	1.6%			1	2.9%	2	1.7%	
再罹患				0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計				20	100.0%	63	100.0%			35	100.0%	118	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果														
既往あり				0	0.0%	1	1.6%			0	0.0%	1	0.8%	0.21
初めて陽性と知った				1	5.0%	2	3.2%			4	11.4%	7	5.9%	
陰性だった				15	75.0%	51	81.0%			30	85.7%	96	81.4%	
判定不能				0	0.0%	3	4.8%			1	2.9%	4	3.4%	
再罹患				4	20.0%	6	9.5%			0	0.0%	10	8.5%	
合計				20	100.0%	63	100.0%			35	100.0%	118	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況														
未読				2	10.0%	1	1.6%			1	2.9%	4	3.4%	0.19
既読				18	90.0%	62	98.4%			34	97.1%	114	96.6%	
合計				20	100.0%	63	100.0%			35	100.0%	118	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)														
29歳以下		42	36.8%	10	50.0%	16	25.4%			10	28.6%	78	33.6%	0.53
30-39歳		42	36.8%	5	25.0%	29	46.0%			16	45.7%	92	39.7%	
40-49歳		17	14.9%	3	15.0%	14	22.2%			4	11.4%	38	16.4%	
50-59歳		12	10.5%	2	10.0%	4	6.3%			4	11.4%	22	9.5%	
60歳以上		1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%			1	2.9%	2	0.9%	
年齢不明		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計		114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%			35	100.0%	232	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	<0.01
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北関東	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	
東京	6	5.3%	0	0.0%	5	7.9%	3	15.0%	14	6.5%			
南関東	3	2.6%	0	0.0%	5	7.9%	0	0.0%	8	3.7%			
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北陸	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.5%			
東海	2	1.8%	0	0.0%	3	4.8%	0	0.0%	5	2.3%			
近畿	5	4.4%	0	0.0%	2	3.2%	1	5.0%	8	3.7%			
中国	4	3.5%	1	5.0%	1	1.6%	1	5.0%	7	3.2%			
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	90	78.9%	19	95.0%	44	69.8%	12	60.0%	165	76.0%			
沖縄	3	2.6%	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	5	2.3%			
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	15.0%	3	1.4%			
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%	20	100.0%	217	100.0%			
国籍													
日本	113	99.1%	19	95.0%	63	100.0%			195	99.0%	0.05		
アジア	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%			1	0.5%			
欧米	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%			1	0.5%			
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%			197	100.0%			
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			4	26.7%	19	37.3%	11	55.0%	34	39.5%	0.17		
郊外住宅地			10	66.7%	27	52.9%	5	25.0%	42	48.8%			
農村地域・漁村地域			1	6.7%	2	3.9%	0	0.0%	3	3.5%			
山間部			0	0.0%	1	2.0%	1	5.0%	2	2.3%			
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
無回答			0	0.0%	2	3.9%	3	15.0%	5	5.8%			
合計			15	100.0%	51	100.0%	20	100.0%	86	100.0%			
性別													
男性	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%	35	100.0%	232	100.0%			
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%	35	100.0%	232	100.0%			
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0.06		
いいえ			14	93.3%	49	96.1%	17	85.0%	80	93.0%			
無回答			0	0.0%	2	3.9%	3	15.0%	5	5.8%			
合計			15	100.0%	51	100.0%	20	100.0%	86	100.0%			
居住形態													
独居	62	54.4%	10	50.0%	37	58.7%			109	55.3%	0.87		
同居	51	44.7%	10	50.0%	26	41.3%			87	44.2%			
定住先はない	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%			1	0.5%			
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%			197	100.0%			

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	77	67.5%	17	85.0%	44	69.8%					138	70.1%	0.29
ない（今回が初めての検査）	37	32.5%	3	15.0%	19	30.2%					59	29.9%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%					197	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	34	29.8%	14	70.0%	26	41.3%					74	37.6%	<0.01
ない	80	70.2%	6	30.0%	37	58.7%					123	62.4%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%					197	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）													
保健所	15	13.2%	4	20.0%	11	17.5%					30	15.2%	0.03
病院/クリニック	3	2.6%	0	0.0%	2	3.2%					5	2.5%	0.02
郵送検査	18	15.8%	12	60.0%	14	22.2%					44	22.3%	<0.01
その他	6	5.3%	1	5.0%	0	0.0%					7	3.6%	<0.01
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）													
ゲイバー	25	21.9%	8	40.0%	15	23.8%					48	24.4%	0.22
ゲイイベント	1	0.9%	1	5.0%	2	3.2%					4	2.0%	0.36
ゲイショップ	4	3.5%	1	5.0%	0	0.0%					5	2.5%	0.28
有料のハッテン場	28	24.6%	10	50.0%	15	23.8%					53	26.9%	0.05
野外のハッテン場	20	17.5%	5	25.0%	3	4.8%					28	14.2%	0.02
いずれもない	61	53.5%	4	20.0%	38	60.3%					103	52.3%	<0.01
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）													
Twitter	51	44.7%	14	70.0%	29	46.0%					94	47.7%	0.11
Instagram	9	7.9%	3	15.0%	5	7.9%					17	8.6%	0.56
VERO	17	14.9%	2	10.0%	12	19.0%					31	15.7%	0.58
9monsters	92	80.7%	14	70.0%	52	82.5%					158	80.2%	0.46
Men's Net Japan	7	6.1%	1	5.0%	4	6.3%					12	6.1%	0.98
KO-MENSTV	2	1.8%	2	10.0%	0	0.0%					4	2.0%	0.02
その他	9	7.9%	2	10.0%	1	1.6%					12	6.1%	0.18
いずれもない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%					21	10.7%	0.38
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。													
受け取っていない	105	92.1%	8	40.0%	54	85.7%					167	84.8%	<0.01
受け取ったけど、利用していない	2	1.8%	0	0.0%	1	1.6%					3	1.5%	
受け取って、利用した	7	6.1%	12	60.0%	8	12.7%					27	13.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%					197	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。													
よく知っている	10	8.8%	9	45.0%	6	9.5%					25	12.7%	<0.01
少し知っている	40	35.1%	7	35.0%	24	38.1%					71	36.0%	
あまり知らない	47	41.2%	2	10.0%	25	39.7%					74	37.6%	
全く知らない	17	14.9%	2	10.0%	8	12.7%					27	13.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%					197	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用			合計
			対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布				
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？										
ある	99	86.8%	19	95.0%	58	92.1%		176	89.3%	0.38
ない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）										
彼氏や恋人	23	20.2%	3	15.0%	16	25.4%		42	21.3%	0.54
友達やセクフレ	68	59.6%	15	75.0%	44	69.8%		127	64.5%	0.50
その場限りの相手	57	50.0%	11	55.0%	25	39.7%		93	47.2%	0.26
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。										
ある	80	70.2%	16	80.0%	45	71.4%		141	71.6%	0.66
ない	19	16.7%	3	15.0%	13	20.6%		35	17.8%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。										
ある	32	28.1%	10	50.0%	15	23.8%		57	28.9%	0.14
ない	67	58.8%	9	45.0%	43	68.3%		119	60.4%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。										
ある	22	19.3%	5	25.0%	11	17.5%		38	19.3%	0.65
ない	77	67.5%	14	70.0%	47	74.6%		138	70.1%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。										
ある	6	5.3%	0	0.0%	2	3.2%		8	4.1%	0.47
ない	93	81.6%	19	95.0%	56	88.9%		168	85.3%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。										
ある	3	2.6%	0	0.0%	2	3.2%		5	2.5%	0.63
ない	96	84.2%	19	95.0%	56	88.9%		171	86.8%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。										
ある	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%		2	1.0%	0.48
ない	97	85.1%	19	95.0%	58	92.1%		174	88.3%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況										
非常用	78	68.4%	16	80.0%	46	73.0%		140	71.1%	0.70
常用	21	18.4%	3	15.0%	12	19.0%		36	18.3%	
過去6ヶ月間がない	15	13.2%	1	5.0%	5	7.9%		21	10.7%	
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%		197	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用				ID不使用					合計
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布				
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。												
とてもよく知っている	27	23.7%	4	20.0%	15	23.8%			46	23.4%	1.00	
具体的には知らないが、聞いた	72	63.2%	13	65.0%	40	63.5%			125	63.5%		
まったく知らない	15	13.2%	3	15.0%	8	12.7%			26	13.2%		
合計	114	100.0%	20	100.0%	63	100.0%			197	100.0%		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図												
服薬したくない/どちらかといえば	25	21.9%	3	15.8%	13	20.6%			41	20.9%	0.83	
服薬したい/どちらかといえば	89	78.1%	16	84.2%	50	79.4%			155	79.1%		
合計	114	100.0%	19	100.0%	63	100.0%			196	100.0%		
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験												
ない	105	92.1%	19	100.0%	61	96.8%			185	94.4%	0.23	
ある	9	7.9%	0	0.0%	2	3.2%			11	5.6%		
合計	114	100.0%	19	100.0%	63	100.0%			196	100.0%		
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）												
梅毒	11	9.6%	4	20.0%	7	11.1%			22	11.2%	0.40	
A型肝炎	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%			1	0.5%	0.69	
B型肝炎	5	4.4%	0	0.0%	2	3.2%			7	3.6%	0.61	
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
クラミジア	13	11.4%	0	0.0%	6	9.5%			19	9.6%	0.28	
尖圭コンジローマ	6	5.3%	3	15.0%	6	9.5%			15	7.6%	0.25	
淋病	7	6.1%	0	0.0%	6	9.5%			13	6.6%	0.31	
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%			1	0.5%	0.34	
毛じらみ	21	18.4%	3	15.0%	16	25.4%			40	20.3%	0.45	
性器ヘルペス	3	2.6%	0	0.0%	1	1.6%			4	2.0%	0.71	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
いずれもない	68	59.6%	14	70.0%	32	50.8%			114	57.9%	0.27	
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）												
アプリ広告で知った			0	0.0%	29	56.9%	6	30.0%	35	40.7%	<0.01	
インターネットで知った			2	13.3%	7	13.7%	7	35.0%	16	18.6%	0.02	
コミュニティセンターで知った			11	73.3%	5	9.8%	2	10.0%	18	20.9%	<0.01	
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
友達から聞いた			1	6.7%	5	9.8%	2	10.0%	8	9.3%	0.16	
その他			1	6.7%	5	9.8%	0	0.0%	6	7.0%	0.09	
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。												
簡単だった			9	60.0%	29	56.9%	13	65.0%	51	59.3%	0.45	
どちらでもない			4	26.7%	9	17.6%	2	10.0%	15	17.4%		
難しかった			2	13.3%	12	23.5%	3	15.0%	17	19.8%		
無回答			0	0.0%	1	2.0%	2	10.0%	3	3.5%		
合計			15	100.0%	51	100.0%	20	100.0%	86	100.0%		
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。												
回答した			15	100.0%	50	98.0%	13	65.0%	78	90.7%	<0.01	
していない			0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	2	2.3%		
無回答			0	0.0%	1	2.0%	5	25.0%	6	7.0%		
合計			15	100.0%	51	100.0%	20	100.0%	86	100.0%		

九州地域(福岡)の予防啓発に関する 状況と検査機会の取り組み

福岡コミュニティセンターHACO

船石翔馬

灰来人

2021年度の九州地域（主に福岡）の状況

①コミュニティの状況

2022年2月現在、まん延防止等重点措置が発令されていることにより、ゲイバーは休業、または時短営業をしている。ハッテン場は通常営業。コミュニティセンターの来館者も1月後半から激減している。住吉（ゲイバー街）自体に人通りが少ない。
ゲイバーの1店舗は閉店。

ゲイバー／時短営業：9店舗 / 通常営業：5店舗 / 休業：45店舗
ハッテン場・ホテル・サウナ／全店通常営業
ウリ専・ホスト／全店通常営業

②検査機会の動向

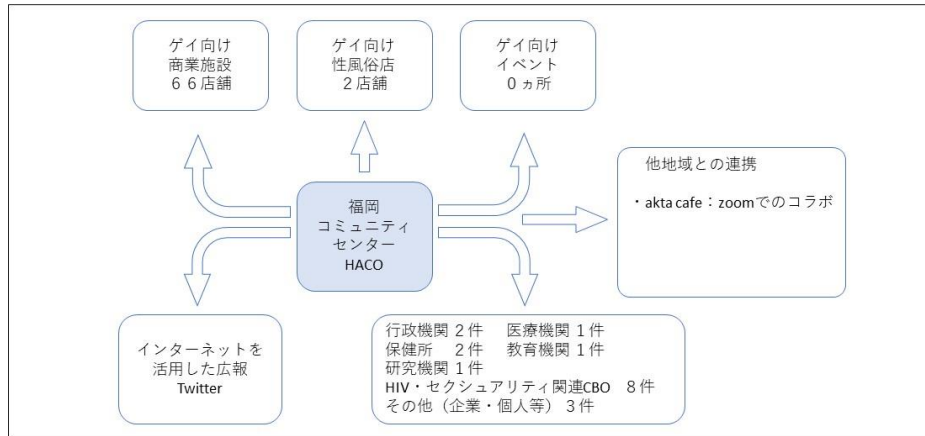
福岡県内の保健所は福岡市南区を除いて通常通りに検査を実施している。
民間の医療機関では通常通り検査を実施している。

地域の商業施設数と連携

2021年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カバー率）	備考
ゲイバー	約60	59	90%以上	
有料ハッテン場	6	5	71%	
ゲイナイト	1	1	100%	今年度は大阪開催のため連携なし
ウリ専	2	2	100%	
ゲイショップ	2	1	50%	
サウナ・ホテル	1	0	0	現在は連携なし
マッサージ	?	0	0	現在は連携なし
ゲイ雑誌	0	0	0	
スマホアプリ	?	0	0	
ウェブサイト	2	0	0	
ゲイサークル	?	0	0	現在は連携なし
その他（ ）				

普及啓発活動の状況（2021年度）



コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	：常勤 2人
	非常勤 0人、ボランティア 3人くらい
開館曜日	：木・金・土・日・祝
開館時間	：木・金 15時～22時/土・日・祝 18時～22時（自治体の時短要請に合わせる）
総来場者数*	：2,341名（前年度比 約120%）
初来場者数*	：90名（前年度比 約113%）
相談件数*	：約80件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談約50件）
	*2021年4月～2022年1月まで

センターにおけるプログラムの展開：
集客を目的としたシーズン毎のイベント（花火大会、クリスマスパーティー）はコロナ禍もあり規模を縮小して開催。花火大会35名、クリスマスパーティー30名参加。対象年齢は全年齢。

コミュニティセンターの活動状況

2022年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	347	195	190	266	181	114	309	334	236	169			2341
うち、新規	18	3	3	9	2	9	16	18	6	6			90
相談件数	3	1	2	5	2	10	4	10	8	5			50
WEB活動 HACO コミュニティ アクセス数	1617	1840	2355	1055	894	1733	1617	1695	1050	1041			14897
WEB活動 Twitter アクセス数	5617	4590	3558	4496	4986	5991	7969	9214	5072	6420			57913

【レッドリボンネオンプロジェクト】

プログラムの目的・必要性：レッドリボン30周年を記念して、レッドリボンに込められた意味を改めて知ってもらい、関心を持ってもらうことを目的とする。
 対象となる人や施設：コミュニティセンター来館者を含めた一般市民。
 予算：福岡HIV感染症治療研究会からの寄付金



実施内容（資材展開）：HACO運営本部「認定NPO法人魅惑的倶楽部」と以前より協働で事業を行っていたアオイネオン株式会社によってレッドリボンの形のネオンサインを制作し、HACOの館外からも見える位置に設置した。
 館外からも見える位置に設置したことにより、地域住民に向けての啓発も行う。



結果：ボランティアスタッフの送別会の裏テーマとしてレッドリボンの啓発を込めたイベントを実施。当日は館内のいたる場所にレッドリボンのポスターを掲示。HACOスタッフはレッドリボンのピンバッジをつけて参加。
 実施日時）2021年11月27日(土)
 参加者数）42名
 実施した反応）集客が見込めるイベントにレッドリボンの啓発を組み合わせることにより、多くの来館者にレッドリボンの意味を知ってもらうことができた。参加者からはイベントを実施することにより来館がしやすくなるという声も多く上がった。

ケンちゃんのHACO情報!
レッドリボン・ネオンサイン登場!

●今年レッドリボンが生まれて30年なのだ!

レッドリボンとは、
 エイズで亡くなった人への哀悼の気持ち、
 HIV/エイズへの理解と支援、
 HIV陽性者やエイズ患者を差別しない
 という意思表示なんだ!

HACOのウィンドーにレッドリボンのネオンサインが登場したよ!
 これは福岡HIV感染症治療研究会からの寄付金で作成!
 制作はアオイネオン社さん!
 これから住吉の夜を照らします!
 レッドリボンは、まだエイズが恐怖の病気だった1991年、ニューヨークのアーティストたちが始めたプロジェクトなんだ。
 このレッドリボン・ネオンサインを見て、HIVやエイズに少しでも興味を持ってくれたら嬉しいな!

オリジナルイラスト © 松岡大典

九州レインボープライド2021へのオンライン参加

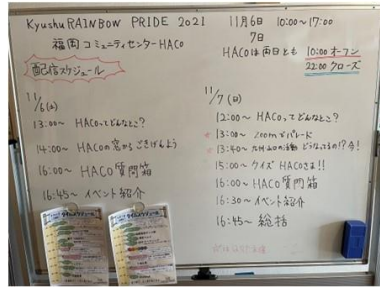
プログラムの目的・必要性：九州最大のセクシュアルマイノリティの啓発イベントは集客もあり、参加することで、多くの人への情報発信、予防啓発が期待できる。また他団体との交流の場にもなる。
 対象となる人や施設：インターネット環境がある人
 予算：コミュニティセンター事業費



実施内容（WEB展開）：
 九州レインボープライド開催中に、HACOからツイキャスを放送。HIV/エイズの基礎知識やコンドームのつけ方、トークイベントなどを配信した。
 HACOでは配信しつつ、通常オープンもしていたので、来館者参加型の配信になったし、初来者の誘致にもつながった。



結果：
 実施日時）2021年11月6日(土)7日(日)の2日間。
 参加者数 or 配布数 or アクセス数）HACOへの来館者は両日合わせて63人。ツイキャス総視聴者372名。
 実施した反応）普段、HACOを居場所として利用している来館者にとっても、性感染症の情報やコンドームの使い方などを改めて知る機会になった。配信内容も分かりやすかった等、反応はよかった。



10

オリジナル資材制作 & 配布

プログラムの目的・必要性：Twitter上に掲載したものを冊子として形にすることで、インターネットに不慣れた世代も手に取って情報を得ることができる。また、ゲイタウンマップを掲載している資材を作成し、ゲイバーなどの商業施設に配布することで、MSMのお客さんに手に取ってもらい、情報発信、予防啓発に繋げる。
 対象となる人や施設：MSM、ゲイ向け商業施設、医療機関、行政機関。
 予算：コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費



実施内容（資材展開/ 資材・WEB展開）：昨年度、緊急事態宣言発令でのHACO休館中にTwitterで更新していた『ケンちゃんトリボン先生のHIV/AIDSミニ講座』を冊子化。さらに福岡ゲイタウンマップを掲載した機関紙『NEW SEASON vol.2』を発行。コンドームの全国的な常用率低下をうけて、コンドームに関する記事をトップに掲載。福岡市の予算でオリジナルコンドームを制作。



結果：
 発行部数）冊子200部 / 機関紙1500部 / オリジナルコンドーム3000個
 実施日時）2022年2月下旬、3月上旬
 配布予定数）冊子150部、機関紙1200部、オリジナルコンドーム2000個
 実施した反応）2月末に配布予定。MSM向け商業施設、全国のコミュニティセンター、地方自治体、他関係機関に配布予定。



12



13

ゆうそう検査の取り組み

2021年度

主に対象となる人や施設：九州・山口県に居住するMSM。
配布方法：福岡コミュニティセンターHACOにて対面配布、および対面を介さないWEBでの申込みによる配布。



工夫した内容（資材展開 / WEB展開 / 資材・WEB展開）：主にTwitter、9mon(スタッフの個人アカウントでのハウリング)、ツイキャス等で告知を行った。前回行った商業施設でのポスター掲示はコロナの影響でほとんどの店舗が休業していたためHACOのみで掲示。今回はWEB配布も行ったので特設サイトでの説明の充実を図った。特に九州・山口各県も対象視野に入れ、各県の保健所の検査情報を掲載した。
また、陽性判明時に発行する病院への紹介状が一部病院では無効となるため、熊本大学医学部附属病院、佐賀大学医学部附属病院に対応を依頼し、受け入れ承諾を得た。
対面配布時用のガイダンス資材を作成し、希望者の細かな疑問等に対応。また、コロナまん延時期でもあるため、検査希望者に配布後にコロナ感染が判明した場合、連絡等の協力をお願いした。



結果：対面は顔を見られるリスクとともにコロナまん延時期でもあり、伸びは鈍かった。WEB配布は、前期終了前に100セットの予定数に達したため、11月5・6日に開催される九州レインボー・プライドに合わせ50セット追加を依頼、ツイキャス等でよびかけ全量の配布を終了することができた。
実施日時) 対面：前期(9月18日～10月3日)・後期(11月13日～12月5日) / WEB配布(9月18日～12月5日)
配布数やアクセス数)：対面での配布60人、WEB配布：150人(特設サイト：2,167PV)
実施した反応) 対面では希望者には丁寧な対応を心がけたことでHIV/AIDSやセーフアセックス、PrEPなどについて理解を深めることができたと感じる。WEB配布では予定数を早々に終了し、郵送検査本来の利便性に需要があることが推測できた。

ゲイ・バイ男性・MSM(男性同士でセックスする人)限定!
HIV & 梅毒 郵送検査 無料・匿名
キャンペーン2021
at HACO & WEB
かんたん検査キット 無料配布
アンケートに答えて郵送検査キットをゲット!
自宅で採血、そして郵送。
約1週間後、ホームページの画面で結果を確認!

●検査の申し込みは、今回は2通り!

●セット数限定、先着順!検査キットがなくなり次第、終了します!

●HACOで直接申し込み
前期 9月18日(土)～10月3日(日)
後期 11月13日(土)～12月5日(日)
お渡し 木・金・土・日・祝祭日
時間 木・金：15時～22時
土・日・祝日：18時～22時
予約 不要

●インターネットから申し込み
前期 9月18日(土)～12月5日(日)
申し込み 郵送検査特設サイトから
お申し込みください
●他の人がいる場所では
受け取りづらく、
遠く時間合わない
という方にオススメです!

●郵送検査キャンペーン特設サイト開設
検査申し込みの他、キットの使い方、HIVや梅毒の情報、
九州・山口の保健所情報も掲載!

●検査のお問い合わせも特設サイトから!

ゲイ・バイ男性・MSM限定!
HIV & 梅毒 無料・匿名
郵送検査
キャンペーン2021
at HACO
前期：9/18(土)～10/3(日)
後期：11/13(土)～12/5(日)
インターネットで申し込み
9/18(土)～12/5(日)

ゲイ・バイ男性・MSM限定!
HIV & 梅毒 無料・匿名
郵送検査
キャンペーン2021
at HACO
後期：11/13(土)～12/5(日)
●インターネットで申し込み
RYUJUN RAINBOW PRIDE 開催記念!
11/6(土)0:00～(先着50名限定)

15

**世界エイズデー
無料・匿名
郵送検査キャンペーン
at HACO**

■まずはアンケートにご協力！

■HIVと梅毒の感染可能性が分かります！

■今日使用するのは？

■会場の検査はスクリーニング検査です！

■検査結果

■検査結果

■検査結果

■HIV/エイズについて

■梅毒について

■検査のポイント

■検査できる部位

■検査に失敗しないポイント

■検査に失敗しないポイント

■検査に失敗しないポイント

■検査に失敗しないポイント

■検査は早いほど！

■不安になったら

■最後に

■検査に失敗しないポイント

■検査に失敗しないポイント

■検査に失敗しないポイント

■検査に失敗しないポイント

郵送検査キットお申し込みの方へ
ご協力お願いします

郵送検査キット受け取り後2週間以内に
郵送キットの検体利用を届けられた方は、
匿名で購得できますが、HACOまでご一
方ください。お申し込みありがとうございます。

来館日 月 日

haco.fuk@gmail.com

次年度の取り組みについて

- ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より、行政との協働が止まっていたが、今年度の終わりから再開することができた。次年度は行政と協働でクリニック検査を実施したい。
- ・疎遠になっているガイバーやハッテン場に実際に行き、ゲイコミュニティとの関係の再構築を図る。MAPを掲載した資料とオリジナルコンドームを配布していく。
- ・陽性者支援の観点から、現在HACOでnotAloneFukuokaが開催している陽性者交流会の参加者の幅を広げて、パートナーや家族も対象にして開催したい。また、スピーカーとして企業や教育機関等でスピーカー活動を実施したい。
- ・次年度のエイズ学会が浜松での開催なので、魅惑的倶楽部の本部と図り、何かしらのイベントを実施したい。

沖縄における MSM に対する検査提供と介入の効果評価 - I

研究分担者：健山正男（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学）
研究協力者：新里尚美（沖縄県感染症診療ネットワーク・コーディネーター）
仲村秀太、藤田次郎（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学）
宮城京子、前田サオリ（琉球大学病院・看護部）
玉城祐貴（nankr 沖縄）

研究要旨

研究 I クリニック検査の促進に関する研究

目的：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のアウトブレイクにより、沖縄県内では保健所における HIV 検査数は、2021 年 1 月～6 月の期間中は 0 件であった。そこで保健所の代替として民間医療機関にて HIV・梅毒検査を提供するために必要な要因を調査した。

対象：HIV・梅毒検査を希望し、かつ男性と性行為を行う男性（Men who have sex with men、以下 MSM）と自認する者で匿名アンケート調査に同意した者。対象期間：2022 年 1 月 4 日～1 月 31 日（受付期間 2021 年 12 月 1 日～2022 年 1 月 31 日）、対象施設：沖縄県内の 5 医療機関。方法：本研究のエントリー基準を満たした者に HIV・梅毒検査を 1,000 円で受検できる ID 番号を付与したクーポン券を発行した。

令和 3 年度は、前年度と異なり本事業の専用予約サイトを立ち上げ、サイト内でアンケート回答をした者へ ID 番号発行し、その後の予約、検査、結果すべてを ID 番号で行う匿名性が担保された検査を実施した。広報は検査実施期間の 1 か月前より、ゲイ向けアプリを主軸に、SNS、沖縄県ホームページ、nank 沖縄のホームページ及び、県内新聞社の取材を通じて広報した。

結果：募集枠 80 人に対して、78 人の応募があり、最終的には 26 人が受検した。アンケート回収率は 97.5% (78/80) であった。99%が日本人で、58%が那覇市以南の居住者であった。初回検査歴は 26%であるが、既検査歴者でも 2 年以上経過した者は 39%であった。過去 6 カ月間に 2 人以上の複数のパートナーとセックス歴の有る者は 72%であった。PrEP（プレップ）経験者は 12%であった。スクリーニング検査結果は HIV 陽性 1 件、梅毒は 0 件であった。

考察：COVID-19 の影響もあり、予約に占める実受検者の割合は、前年度の 78%から大幅に低下した。これは COVID-19 患者数が全国 1 蔓延し、自粛が強化されたことが原因と考えられる。PrEP 経験有無は、有りが 12%と予想外に県内でも 1 割強が実施している実態が明らかとなり、今後は医療機関における PrEP 実施者に対する外来診療の受け入れ体制も必要となると予想された。キャンペーン告知初期から予約枠が速やかに埋まった理由として、保健所での HIV 検査が中止、縮小されても、強い HIV 検査のニーズがあったことが示唆する。また専用サイトで時間、場所に関係なく匿名性を保った形での ID 取得ができることが要因として考えられた。

研究 I：クリニック検査の促進に関する研究

A. 研究目的と背景

COVID-19 の影響により、全国の保健所における HIV 検査数は、72%減少したことが報告されている。県内も 2021 年 1 月～6 月は、0 件と全国最低であった。しかしながら、全国の HIV

報告数の減少とは異なり、県内では 2021 年における HIV/AIDS 患者数は過去 35 年間で 4 位をしめるまでに増加していた。このことから、HIV 検査の中止、縮小が続く沖縄県内の保健所に代わり、民間医療機関等を活用した HIV 検査の提供体制を整備することは喫緊の課題であった。そこで、HIV 感染者の 97%を占める MSM

を対象とし、匿名性を担保した上でアンケートを実施、収集、解析することにより、保健所代替機関として、民間医療機関がなり得るための必要な要因を調査することを目的とした。

B. 研究方法

沖縄県内の5カ所の病院・クリニックにおいて、MSMを対象とした性病検査(HIV、梅毒)を行った。研究対象者の募集は、専用サイト、ゲイ向けアプリ、SNS等を用いた。

受検希望者は専用サイトにアクセスし、匿名アンケート回答後に自動返信メールにてID番号を取得させた。

冒頭に研究の説明とエントリー基準を設け基準は下記のように設定した。

- ① 18歳以上の者
- ② MSMを自認する者
- ③ 研究期間中に性感染症検査を希望する者
- ④ アンケート回答、提出に同意できる者

これらを満たした者にクリニック・病院の予約、受付時に必要となるID番号発行し、検査日にはID番号を提示し、研究対象者は1,000円で性病検査を受けることができるとした。残りの検査費用は本研究費で支弁した。

C. 研究結果

1. アンケート結果

Q1. 受検者の年代 (n=78) (図1)

40代が29人(37%)ともっとも高く、次いで20代24人(31%)、30代17人(22%)、50代6人(8%)、10代2人(2%)であった。

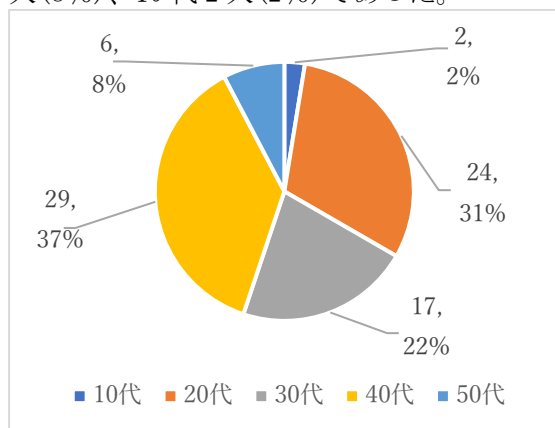


図1 受検者の年代割合

Q2. 自認する性別 (n=78)

男性: 78人 (100%)

Q3. 国籍 (n=78)

日本: 77人 (99%)

その他: 1人 (1%)

Q4. 居住地 (n=78)

那覇市が47%と最も多く、那覇市以南の地域とあわせると72%が那覇市・南部地域であった。選択肢には本島北部、離島も含めたが、希望者はいなかった。

表1 受検者の居住地

那覇市	37 (47%)
浦添市	4 (1%)
糸満市	6 (8%)
南城市	2 (3%)
それ以外の沖縄県内の南部地域	10 (13%)
宜野湾市	6 (8%)
沖縄市	8 (10%)
うるま市	1 (1%)
それ以外の沖縄県内の中部地域	3 (4%)
その他	1 (1%)

表2 居住地と希望医療機関の相関

(横軸のA~Eは医療機関、()内に医療機関が位置する地域を表している。A(南部)、B(中部)、C(那覇市)、D(南部)、E(中部)。

縦軸で受検希望者の居住地を示している。)

	A	B	C	D	E
那覇市			32	5	
浦添市(南部)	3		1		
糸満市(南部)	1		4	1	
南城市(南部)				2	
それ以外の沖縄県内の南部地域	3	1	3	3	
宜野湾市(中部)	1		1	2	2
沖縄市(中部)	2	1	1	1	3
うるま市(中部)	1				
それ以外の沖縄県内の中部地域	1			2	
その他			1		

居住地と希望する医療機関には有意に関連を認めた。(P < 0.001)

Q5. 希望医療機関を選択した理由 (n=28)

(図 2)

「生活圏から徒歩圏内」、「対応している曜日が幅広い」と回答した者が6名で最も多く、次いで「公共交通機関が整っている」が5名だった。(有効回答数 28)

(検査キャンペーン募集期間 (2022 年 1 月 5 日～29 日)、希望医療機関を選択した理由に関する設問を追加)

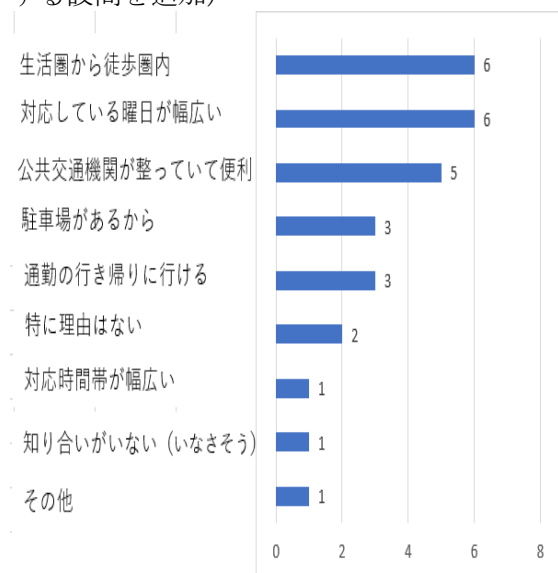


図 2 希望医療機関を選択した理由

Q6. HIV 検査歴 (n=78) (図 3)

有 : 58 人 (74%)、無 : 20 人 (26%)。

検査経験有りは、10 代(0%)、20 代(67%)、30 代(71%)、40 代(83%)、50 代(83%)と年代が高くなるにつれ、検査経験が有ると回答する割合が高かった。

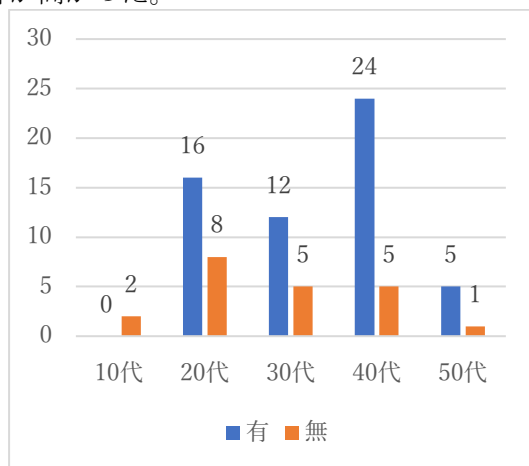


図 3 年代別 HIV 検査経験の有無

Q7. 最近 HIV 検査を受けた時期 (n=78)

(図 4)

今回初めて : 20 人 (26%)

過去 1 年間の間 : 28 人 (36%)

過去 1~2 年間の間 : 17 人 (22%)

過去 3 年以上 : 13 人 (17%)

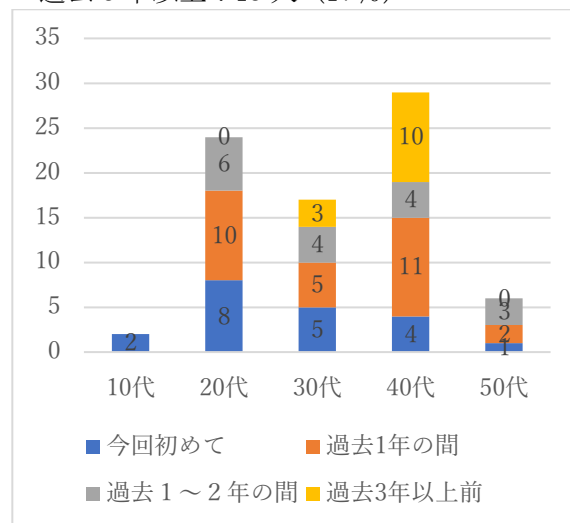


図 4 年代別 HIV 検査受検時期

Q8. PrEP (プレップ) 経験の有無 (n=78)

(図 5)

有 : 9 人 (12%)、無 : 69 人 (88%) と 1 割強経験があった。

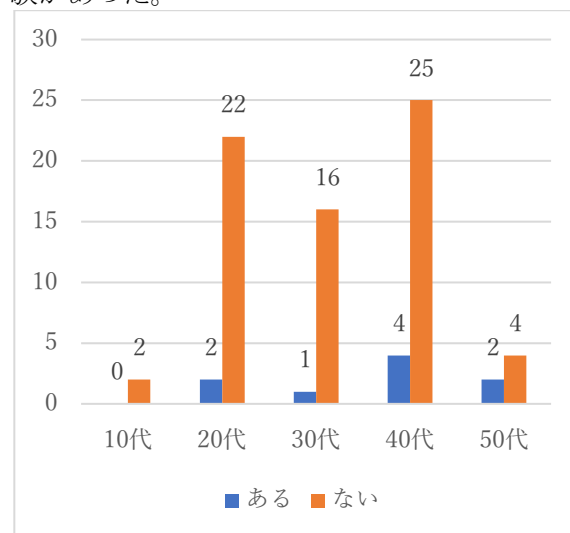


図 5 年代別 PrEP 経験の有無

Q9. U=Uの認知度について (n=78) (図6)
 知っている：40人(51%)、知らない：38人(49%)であった。

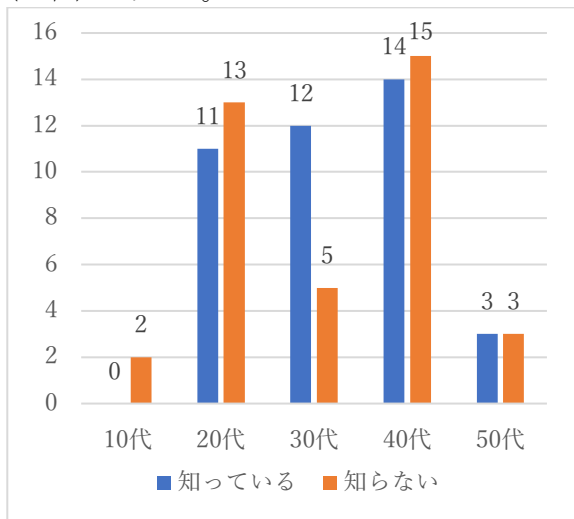


図6 年代別U=U認知度

Q10. セックスの経験 (n=78)
 有：78人(100%)であった。

Q11. セックスの相手の性別 (n=78) (図7)
 女性のみという回答はなく、男性のみ：49人(63%)、両方：29人(37%)であった。年代が高くなるにつれ、男女両方がセックスの相手と回答したものが多かった。

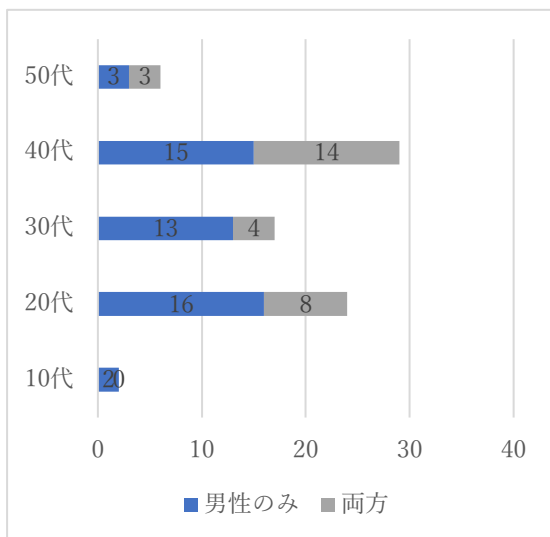


図7 年代別セックスの性別

Q12. 過去6か月間に相手にお金を払ってのセックスの有無(n=78) (図8)
 有：5人(6%)、無：73人(94%)だった。

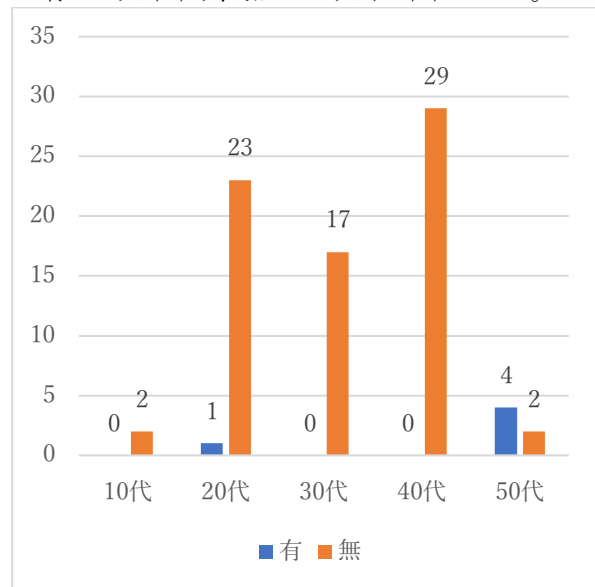


図8 年代別過去6か月間でお金を支払ったセックス歴

Q13. 過去6か月間に相手にお金をもらってのセックスの有無(n=78) (図9)
 有：1人(1%)、無：77人(99%)だった。

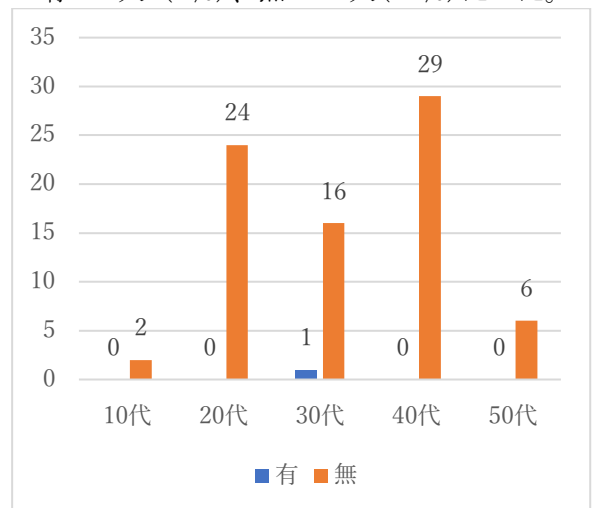


図9 年代別過去6か月間に金銭を受け取ったセックス歴

Q14. 過去 6 カ月間に 2 人以上の複数のパートナーとセックスの有無(n=78) (図 10)
有 : 56 人(72%)、無 : 22 人 (28%) だった。

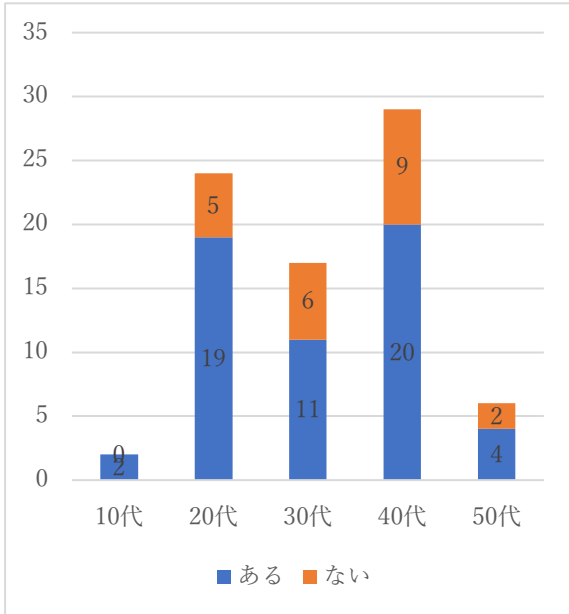


図 10 年代別複数のパートナーとのセックス経験

Q15. 過去 6 カ月間のセックスのときにドラッグ(ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ)の使用経験
無 : 78 人(100%)であった。

Q16. 性感染症の既往歴(複数回答) (図 11)
無 : 55 人(71%)と最も高かった。次いで、梅毒 14 人(18%)、クラミジア感染症 5 人(6%)、その他性感染症 : 5 人(6%)であった。

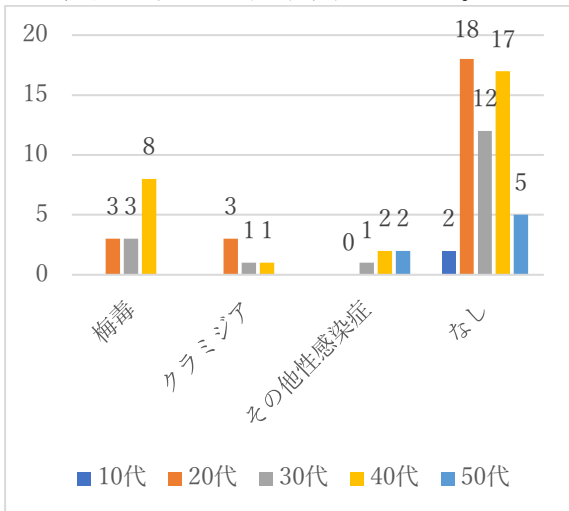


図 11 年代別性感染症罹患歴

Q17. 検査情報得るために以下のホームページを見たことがありますか?(複数回答)

HIV 検査相談マップ : 25 人、沖縄県ホームページ : 25 人、コミュニティセンターmabui : 19 人、那覇市ホームページ : 17 人、nankr 沖縄ホームページ : 17 人、ニュースペーパーnankr : 1 人であった。

年代別での大きな違いはみられなかったが、HIV 検査相談マップ、沖縄県ホームページは全ての年代でみたことがあると回答があった。

2, 専用サイト解析

1) サイトアクセスと ID 取得時間

図 12 は、専用サイトへのアクセス、ID 取得の時間帯を示したものである。

サイトアクセスを解析すると、赤枠で示した 17 時以降から 2 時までの時間帯に 53 人(68%)が ID 取得を行っていた。これは現在、県保健所が行っている受付時間帯とは合致しない。

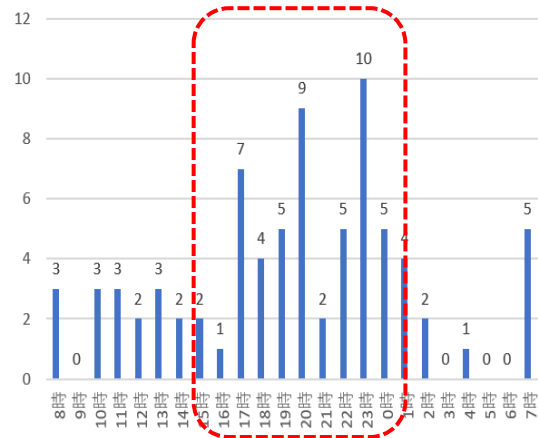


図 12 サイトアクセスと ID 取得時間帯

2) ID 取得と広報媒体の関連

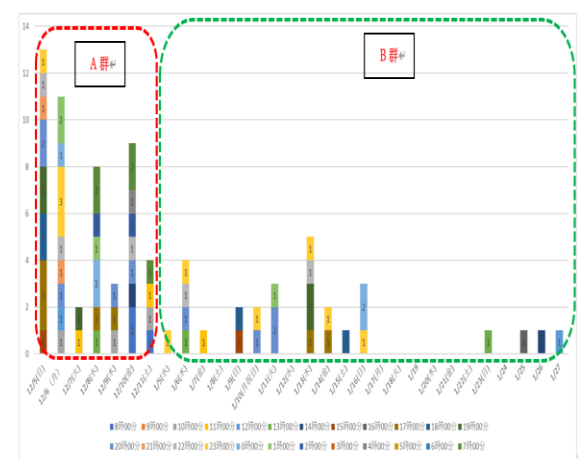


図 13 ID 取得と広報媒体の関連

図 13 は、専用サイトからの ID 取得を 1 日単位で示したものである。一般公開から 5 日で予

約 50 件に達した。

2021 年 12 月 5 日～12 月 10 日(A 群)は、ゲイ向けアプリへのバナー広告及び Twitter、沖縄県ホームページ、nankr 沖縄ホームページで告知を実施。開始 5 日で予約数 50 件(10 件/日)となった。12 月 10 日にゲイ向けアプリバナー広告を停止し、2022 年 1 月 5 日～1 月 27 日(B 群)は、Twitter、沖縄県ホームページ、nankr 沖縄ホームページで広報した結果である。後半(B 群)の予約数は 28 件(2.3 件/日)だった。

3) ID 取得時期と実検査

図 14 は、A 群(2021 年 12 月 5 日～10 日)、B 群(2022 年 1 月 5 日～27 日)の ID 取得と実検査に繋がった割合を示したものである。

A 群は ID 取得数 50 件のうち 24 件、B 群は ID 取得 30 件のうち 4 件が実検査へ繋がった。

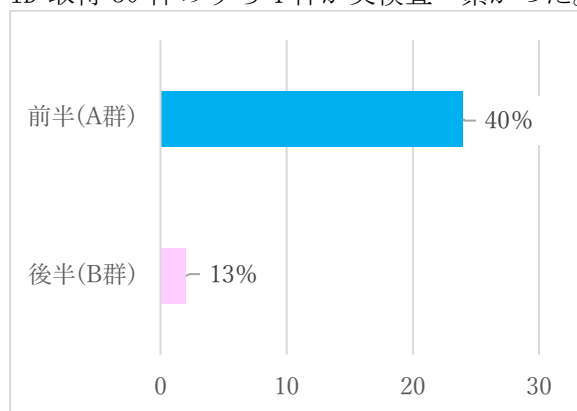


図 14 ID 取得期間 A 群、B 群と実検査

D. 考察

1) 希望医療機関と居住地の関係性：

表 1、表 2 に示したように、検査希望者数が最も多かった那覇市居住と回答した 37 名のうち 32 名(86%)が那覇市内の医療機関を希望しており、その他の中南部地域居住者でも同様の傾向が見られ、検査希望者の多くが希望医療機関の近隣に居住していた。(希望する医療機関と居住地は有意な関連を認めた ($P < 0.001$)) 令和 2 年の同調査では、居住地と希望医療機関で乖離がみられたが、今回は匿名性が担保されていたことが影響しているのではないかと推察される。

また、検査キャンペーン募集期間後半に追加した設問(希望医療機関を選択した理由)では、28 名の回答者のうち、生活圏から徒歩圏内である、対応している曜日が幅広い、との回答が同数 6 名で最も多く、次いで、公共交通機関が整って便利との回答が 5 名確認できた。(図 2) 今後、検査機会を提供にあたり匿名性、地域、

受検希望者が選択できる曜日、公共交通機関がある環境は考慮すべき点であるといえる。

2) PrEP について

PrEP 経験の有無をアンケート項目に加え、県内でも 1 割強が実施している実態が明らかとなり医療機関における PrEP 実施者に対する外来診療の受け入れ体制も必要となると予想された。(図 5)

3) 複数のパートナーとのセックス

これまでの同調査では、経験無しが約 7 割を示していたが、今回の調査では逆転しており、図 10 で示したとおり、各年代で半数以上が経験有りと回答し、全体では、56 人(72%)の高値を示した。複数の相手との性行為は、性行動が活発であり、性感染症罹患のリスクが高まること示唆されることから今後の性感染症への感染状況などを注視していく必要があると思われる。

4) 性感染症既往歴

図 11 のとおり、3 割が何らかの性感染症の罹患歴があった。また希望する検査項目では、HIV 検査単体よりも HIV と梅毒のセットで検査を希望する者が、半数以上であった。このことから受検者は梅毒への関心が高いため、HIV 検査へ誘導するには、同一感染経路である梅毒等の性感染症検査をセットにすることが受検者の検査意欲を高め、ハイリスク層の HIV の早期診断に繋がると思われる。今後も梅毒とセットでの検査提供は重要であると考えられた。

5) HIV 検査情報取得方法

令和 2 年度の調査では、沖縄県ホームページは 11%と最も低かったが、今回の調査では、全年代で沖縄県ホームページからの情報取得を示しており、HIV 検査相談マップ、沖縄県ホームページがともに 32%であった。情報を得る手段として、行政関連のホームページが選択されている要因としては、新型コロナウイルスの影響により、保健所での HIV 検査に関する休止などの最新情報が発信されていることや HIV 検査可能な医療機関を紹介していることが影響していると思われる。

6) 専用サイトの解析：

図 12 に示したように、県保健所が行っている受付時間帯(9 時～17 時)にアクセスがあったのは、16 件(20%)、日勤帯を外れた時間帯(17 時～2 時)にアクセスが多く、68%を占め、

サイトアクセス時間と従来の電話による保健所の予約時間帯には大きな乖離を認めた。

また、保健所が提供している電話による受付方法は、受付側（保健所）に最低一名電話応対する人員が必要となり、受付側と受検希望者双方のタイミングが合致しなければ、予約に繋がらず、ニーズ把握もできないといった課題がある。それに比べ、WEBシステムは、発信者（受験希望者）のタイミングで接続ができ、口頭での疎通が無い場合、周囲に気づかれることなく、プライバシーが保てるといった利点がある。また実際の受検に繋がらない場合でもアナリティクス（ユーザー層・時間帯・サイト遷移・広告効果や成果など、幅広いデータの分析ツール）を設定することで解析ができ、ニーズ把握などが可能であった。

今後、ハイリスク層を検査へ繋げるためには、受検希望者の希望する時間と環境を設定すべきであり、その点からWEBシステムは、優れた方法であり、有用な手段であると考えられた。

7) 匿名性の意義：

図13で示したID取得数では、募集開始から5日で50枠がうまった(10/日)。令和2年度は、募集期間を延長、再延長を行い、その間、広報媒体を追加し、1か月(検査キャンペーン終了前日まで)募集をかけ、50枠に対し、最終的に46名応募であった(3.5/日)。

考察1)で述べた居住地と希望医療機関に有意な関連を認める点も含め、性病検査において匿名性を担保することは検査意欲、行動を高めるために重要であると推察する。次年度は匿名性の評価についてのアンケートが必要であると考えられた。

8) 広報媒体：

図13で示したA群、B群の予約数を比較するとゲイ向けアプリの効果によるものにみえる。しかしながら、図14でも示したように、募集開始前半(A群)の時期にID取得を行い、実検査に繋がった者は、B群の13%であるのに対し、40%と高く、このことから前半(A群)にID取得を行った者は受検意欲が高かったと推察された。

その他Twitterによる告知は、ゲイバー等がリツイートしたことや「#」をつけることで、誘導されたケースもあり、MSMコミュニティーの中で情報がつながっていると思われ、検査キャンペーン関連ツイートは通常の10倍を超える閲覧があった。SNSは広報媒体の一つとして有効であり、どのワードに「#」をつけるかに

よって、拡散効果にも影響があると推察する。

E. 結論

- ① 従来、保健所が提供している受付法及び検査予約時間等は受検者のニーズと合致していないことが把握できた。
- ② WEBシステムは匿名性の担保、予約受付時間帯が受検希望者のタイミングでアクセスできること等から受検希望者のニーズと合致し、予約件数の伸びに繋がった。
- ③ 新型コロナウイルスアウトブレイク期間中においても複数回の性行為頻度、性活動度が高まっていた。
- ④ 匿名性を担保したことは、受検希望者の居住地と希望検査機関に強い相関を認め、クリニック検査の開拓において重要な情報となった。
- ⑤ 今回、得られた結果を踏まえて、WEBシステムの利便性を生かし保健所に替わりうる民間医療機関を活用した検査システムを構築したい。

倫理審査

本研究は琉球大学「人を対象とする医学系系研究倫理審査委員会」より承認された(2022年1月-)学内研第459号

文献

- 1) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究」令和2年総括・分担研究報告書
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSMにおける予防啓発活動手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究」平成30年度～令和2年度総合研究報告書

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Nanako Oshiro¹ KK, Shoji Tsuneyoshi³, Masao Tateyama⁴, Ryo Zamami², Hitoshi Uehara⁵, Jiro Fujita⁴ and Yusuke Ohya :Changes in serum concentration of rilpivirine in an HIV-infected patient treated with a combination therapy of hemodialysis and peritoneal dialysis. Renal Replacement Therapy. 6. 33. 2020.
- 2) Nakamura H, Tateyama M, Tasato D, et al. :Human immunodeficiency virus-associated pulmonary sarcoidosis in a

Japanese man as a manifestation of immune reconstitution inflammatory syndrome. Clinical case reports.8:3440-4. 2020.

- 3) Kaneko N, Shiono S, Hill AO, et al.:Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan. AIDS care.1-8. 2020.

2. 学会発表

- 1) 健山正男：スポンサードセミナー 11「HIVの早期診断・早期治療における新たな課題と目標」 1. HIV 早期診断のポイントとHIV 検査拡充の重要性、第95回日本感染症学会学術講演会、2021. P270.
- 2) 仲村 秀太：EACS LIVE! Case-based discussion, 第35回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021
- 3) 新里尚美:医療機関における HIV 検査に関する調査からみえてくるもの, 第35回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021
- 4) 前田サオリ:意識障害を起こした HIV 陽患者の自立支援医療制度を代理申請し、ART 導入に至った事例, 第35回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021
- 5) 石郷岡美穂:薬害 HIV 感染患者への就労支援～ソーシャルワーカーの立場から～第35回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021
- 6) 辺士名由美子:薬害 HIV 感染患者への就労支援～心理士の立場から～, 第35回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

沖縄における MSM に対する検査提供と介入の効果評価 - II

研究分担者：健山正男（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学）
研究協力者：新里尚美（沖縄県感染症診療ネットワーク・コーディネーター）
仲村秀太、藤田次郎（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学）
宮城京子、前田サオリ（琉球大学病院・看護部）
玉城祐貴（nankr 沖縄）

研究要旨

研究 II 郵送検査の促進に関する研究

総計 148 キットを配布した。アンケートに回答したものは 130 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 117 名 (79.1%) であった。そのうち 92.3% が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 23 件（既感染も含む）であった。

HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 23 件（既感染も含む）であった。検体を郵送した 117 名のうち、29 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 38 名においては、30 歳未満が 23.7% を占め、沖縄県の居住者が 92.1% であった。生涯初の検査経験割合は 18.4% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 68.4% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 42.1% を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 40 名においては、30 歳未満が 42.5% を占め、沖縄県の居住者が 82.5% であった。生涯初の検査経験割合は 22.5% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 62.5% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 50.0% を占めた。

郵送検査の受検利用者では、沖縄県在住者が高く、地域での配布のニーズが示唆された。初受検者の割合も高く、新規の HIV スクリーニング陽性率 1.3%、梅毒は推定スクリーニング陽性率 5.7% であり、感染リスクの高い層にリーチしていることが考えられる。したがって、陽性になった場合の受診行動の促進への取り組みも重要であると考えられる。

研究 II：郵送検査の促進に関する研究

A. 研究目的

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、沖縄地域の MSM を対象に、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受

ける郵送検査をコミュニティセンターでの配布と WEB にて配布を行った。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間を限定して配布し、検査普及における有効性の評価を行うことを目的とした。

B. 研究方法

コミュニティセンターでは、本検査に関する説明事項を含むメッセージを mabui の公式 HP と公式 Twitter 等の SNS で配信した。

また、mabui メンバーをモデルに広報用のポスターを制作した。メッセージとして、「今は外出を控えている！誰にも会わずに検査を受けたい！自宅や郵便局でキットを受け取りたい！そんな方は是非、今回の郵送検査キット配

布会をご利用ください。」と twitter 等で広報した。

郵送検査を受ける方法は、1) 郵送検査キット配布の予約をする(メール・電話、コミュニティセンターmabui での受け取りの場合は予約不要)。2) 簡単な検査の説明を受ける。3) アンケートに答える。4) 郵送検査キットを受け取る。5) 自宅で採血。6) 郵送する。7) 検査会社のホームページにアクセスして結果を見る。の7段階とした。

郵送検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとったものもいたが、今年度は他地域の取り組みを参考に、WEBでの配布も行い、利用も多かった。離島からの利用者もあり、必要時には郵送を行った。

倫理審査

本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1. 郵送検査キットの配布日・概要

配布期間：2021年9月21日～1月31日のコミュニティセンターオープン日

2. 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 148 キットを配布した。アンケートに回答したものは 130 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 117 名(79.1%)であった。そのうち 92.3%が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 23 件(既感染も含む)であった。

HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 23 件(既感染も含む)であった。検体を郵送した 117 名のうち、29 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 38 名においては、30 歳未満が 23.7%を占め、沖縄県の居住者が 92.1%であった。生涯初の検査経験割合は 18.4%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 68.4%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 42.1%を占めた。WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 40 名においては、30 歳未満が 42.5%を占め、沖縄県の居

住者が 82.5%であった。生涯初の検査経験割合は 22.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 62.5%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 50.0%を占めた。

表 1 郵送検査利用者の概要

	地域	沖縄
	CBO	nankr沖縄
	コミュニティセンター	
	mabui	
a 配布総数	148	
対面配布数	59	
WEB配布数	89	
b 受検者アンケート回答者数	122	
c 利用者数；郵送検査会社での受付数	117	
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)	79.1%	
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録(割合 d/c)	108 (92.3%)	
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数(割合 e/c)	1 (0.9%)	
f 陽性数(割合 f/c)	2 (1.7%)	
推定 新規陽性者数(新規陽性率) *	1.5 (1.3%)	
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数(割合 g/c)	6 (5.1%)	
h 陽性数(割合 h/c)	23 (20.7%)	
推定 新規陽性者数(新規陽性率) *	5.7 (5.1%)	
i 追跡可能者実数；無料ID利用者数(割合 i/c)	78 (66.7%)	
j 事後アンケート回答者数(割合 j/c)	74 (63.2%)	
k 追跡可能な事後アンケート回答者数(割合 k/c)	49 (41.9%)	

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に掛けて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

D. 考察

今年度も新型コロナウイルスの影響が続き、保健所での HIV 検査機会は減少し、定期的に保健所で検査を受けていた人が、郵送検査キットを受け取りに来ることがあった。配布数に占める利用者割合も 79.1%と昨年度の 54.5%より上昇した。

昨年度の課題であったクリニックでの受検促進との時期を調整しつつ行ったが、クリニック検査のキャパシティが満たされることが早く、郵送検査が利用できなかった人への受け皿となった可能性もある。利用者では若年層の割合が高く、ネットの親和性の高い層に訴求していることが考えられる。WEBでの配布、対面配布でも自己採血が難しかったと回答する人が 3 割程度であり、特に初受検者に対しては丁寧なオリエンテーションが必要だと考える。

企業で郵送検査キットを受け付けた時は、郵便局留めができたのだが、mabui の場合は自宅郵送しかできなかったため、断られることもあった。離島や山間部に居住する MSM が行きやすい拠点を県内でいくつか設定する必要もある。

郵送検査の受検利用者では、沖縄県在住者が高く、地域での配布のニーズが示唆された。初受検者の割合も高く、新規の HIV スクリーニング陽性率 1.3%、梅毒は推定スクリーニング陽性率 5.7% であり、感染リスクの高い層にリーチしていることが考えられる。したがって、陽性になった場合の受診行動の促進への取り組みも重要であると考えられる。

E. 結論

沖縄地域の MSM を対象に、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受ける郵送検査をコミュニティセンターでの配布と WEB にて配布を行った。期間限定の取り組みであったが、感染リスクの高い MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、検査行動の促進につながる可能性が示唆された。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Nanako Oshiro¹ KK, Shoji Tsuneyoshi³, Masao Tateyama⁴, Ryo Zamami², Hitoshi Uehara⁵, Jiro Fujita⁴ and Yusuke Ohya :Changes in serum concentration of rilpivirine in an HIV-infected patient treated with a combination therapy of hemodialysis and peritoneal dialysis. Renal Replacement Therapy.6. 33. 2020.
- 2) Nakamura H, Tateyama M, Tasato D, et al. :Human immunodeficiency virus-associated pulmonary sarcoidosis in a Japanese man as a manifestation of immune reconstitution inflammatory syndrome. Clinical case reports.8:3440-4. 2020.
- 3) Kaneko N, Shiono S, Hill AO, et al. :Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan. AIDS care.1-8. 2020.

2. 学会発表

- 1) 健山正男 :スポンサードセミナー 11「HIV の早期診断・早期治療における新たな課題と目標」 1. HIV 早期診断のポイントと HIV 検査拡充の重要性、第 95 回日本感染症学会学術講演会、2021. P270.
- 2) 仲村秀太 : EACS LIVE! Case-based discussion, 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021
- 3) 新里尚美 :医療機関における HIV 検査に関する調査からみえてくるもの、第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021
- 4) 前田サオリ :意識障害を起こした HIV 陽患者の自立支援医療制度を代理申請し、ART 導入に至った事例、第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会 WEB2021

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

配布方法とIDの利用状況													
	アンケート		ID使用				ID不使用				合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布					
配布CBO													
nankr沖縄/mabui (沖縄)	44	4.4%	38	7.5%	40	9.7%	10	9.9%	29	10.4%	161	7.0%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	<0.01
2021年10月			9	23.7%	19	47.5%	0	0.0%	10	34.5%	38	32.5%	
2021年11月			9	23.7%	10	25.0%	0	0.0%	3	10.3%	22	18.8%	
2021年12月			9	23.7%	9	22.5%	5	50.0%	6	20.7%	29	24.8%	
2022年1月			11	28.9%	2	5.0%	5	50.0%	10	34.5%	28	23.9%	
合計			38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	117	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%	1	2.5%	1	10.0%	0	0.0%	2	1.7%	0.29
陰性だった			38	100.0%	38	95.0%	9	90.0%	29	100.0%	114	97.4%	
判定不能			0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計			38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	117	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0.08
初めて陽性と知った			2	5.3%	2	5.0%	1	10.0%	9	31.0%	14	12.0%	
陰性だった			30	78.9%	30	75.0%	8	80.0%	19	65.5%	87	74.4%	
判定不能			2	5.3%	2	5.0%	1	10.0%	1	3.4%	6	5.1%	
再罹患			4	10.5%	5	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	9	7.7%	
合計			38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	117	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			6	15.8%	0	0.0%	1	10.0%	2	6.9%	9	7.7%	0.07
既読			32	84.2%	40	100.0%	9	90.0%	27	93.1%	108	92.3%	
合計			38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	117	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)													
29歳以下	16	36.4%	9	23.7%	17	42.5%	3	30.0%	8	27.6%	53	32.9%	0.26
30-39歳	12	27.3%	13	34.2%	14	35.0%	1	10.0%	9	31.0%	49	30.4%	
40-49歳	9	20.5%	14	36.8%	6	15.0%	4	40.0%	6	20.7%	39	24.2%	
50-59歳	7	15.9%	2	5.3%	3	7.5%	2	20.0%	6	20.7%	20	12.4%	
60歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	161	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用								
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布						
居住地															
北海道	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0.24
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東京	2	4.5%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	4	2.7%	
南関東	1	2.3%	1	2.6%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.0%	
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東海	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
近畿	1	2.3%	0	0.0%	5	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	4.1%	
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	2	4.5%	1	2.6%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.7%	
沖縄	37	84.1%	35	92.1%	33	82.5%	4	100.0%	18	85.7%	0	0.0%	127	86.4%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	0	0.0%	2	1.4%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%	4	100.0%	21	100.0%	147	100.0%			
国籍															
日本	44	100.0%	36	94.7%	39	97.5%							119	97.5%	0.31
アジア	0	0.0%	2	5.3%	1	2.5%							3	2.5%	
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%							0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%							0	0.0%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%							122	100.0%	
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。															
中心市街地			11	44.0%	14	58.3%	2	50.0%	10	47.6%	37	50.0%	0.98		
郊外住宅地			12	48.0%	8	33.3%	2	50.0%	8	38.1%	30	40.5%			
農村地域・漁村地域			0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%	1	4.8%	2	2.7%			
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
離島			1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	2	2.7%			
無回答			1	4.0%	1	4.2%	0	0.0%	1	4.8%	3	4.1%			
合計			25	100.0%	24	100.0%	4	100.0%	21	100.0%	74	100.0%			
性別															
男性	43	97.7%	38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	160	99.4%	0.61		
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
その他	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%			
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%	10	100.0%	29	100.0%	161	100.0%			
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。															
はい			0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0.84		
いいえ			23	92.0%	22	91.7%	4	100.0%	20	95.2%	69	93.2%			
無回答			2	8.0%	1	4.2%	0	0.0%	1	4.8%	4	5.4%			
合計			25	100.0%	24	100.0%	4	100.0%	21	100.0%	74	100.0%			
居住形態															
独居	23	52.3%	17	44.7%	15	37.5%					55	45.1%	0.40		
同居	21	47.7%	21	55.3%	25	62.5%					67	54.9%			
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%			
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%			

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	30	68.2%	31	81.6%	31	77.5%					92	75.4%	0.35
ない（今回が初めての検査）	14	31.8%	7	18.4%	9	22.5%					30	24.6%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	14	31.8%	12	31.6%	15	37.5%					41	33.6%	0.82
ない	30	68.2%	26	68.4%	25	62.5%					81	66.4%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）													
保健所	6	13.6%	5	13.2%	7	17.5%					18	14.8%	0.82
病院/クリニック	8	18.2%	4	10.5%	5	12.5%					17	13.9%	0.55
郵送検査	4	9.1%	6	15.8%	7	17.5%					17	13.9%	0.64
その他	3	6.8%	2	5.3%	0	0.0%					5	4.1%	0.38
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）													
ゲイバー	13	29.5%	9	23.7%	14	35.0%					36	29.5%	0.55
ゲイイベント	1	2.3%	2	5.3%	2	5.0%					5	4.1%	0.75
ゲイショップ	0	0.0%	1	2.6%	1	2.5%					2	1.6%	0.56
有料のハッテン場	14	31.8%	9	23.7%	12	30.0%					35	28.7%	0.70
野外のハッテン場	9	20.5%	10	26.3%	11	27.5%					30	24.6%	0.72
いずれもない	18	40.9%	15	39.5%	15	37.5%					48	39.3%	0.95
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）													
Twitter	12	27.3%	8	21.1%	16	40.0%					36	29.5%	0.17
Instagram	3	6.8%	2	5.3%	6	15.0%					11	9.0%	0.26
VERO	4	9.1%	1	2.6%	1	2.5%					6	4.9%	0.28
9monsters	39	88.6%	35	92.1%	33	82.5%					107	87.7%	0.42
Men's Net Japan	2	4.5%	2	5.3%	1	2.5%					5	4.1%	0.81
KO-MENSTV	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%					1	0.8%	0.41
その他	5	11.4%	3	7.9%	4	10.0%					12	9.8%	0.87
いずれもない	3	6.8%	2	5.3%	5	12.5%					10	8.2%	0.47
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。													
受け取っていない	42	95.5%	27	71.1%	32	80.0%					101	82.8%	0.06
受け取ったけど、利用していない	0	0.0%	2	5.3%	1	2.5%					3	2.5%	
受け取って、利用した	2	4.5%	9	23.7%	7	17.5%					18	14.8%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。													
よく知っている	2	4.5%	13	34.2%	5	12.5%					20	16.4%	0.02
少し知っている	19	43.2%	9	23.7%	15	37.5%					43	35.2%	
あまり知らない	16	36.4%	13	34.2%	14	35.0%					43	35.2%	
全く知らない	7	15.9%	3	7.9%	6	15.0%					16	13.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用			合計
			対面配布		WEB配布		対面配布	WEB配布		
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？										
ある	41	93.2%	37	97.4%	39	97.5%		117	95.9%	0.52
ない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）										
彼氏や恋人	10	22.7%	10	26.3%	9	22.5%		29	23.8%	0.83
友達やセクフレ	23	52.3%	20	52.6%	22	55.0%		65	53.3%	0.85
その場限りの相手	26	59.1%	27	71.1%	23	57.5%		76	62.3%	0.55
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。										
ある	38	86.4%	30	78.9%	31	77.5%		99	81.1%	0.35
ない	3	6.8%	7	18.4%	8	20.0%		18	14.8%	
過去6ヶ月間がない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。										
ある	13	29.5%	14	36.8%	15	37.5%		42	34.4%	0.78
ない	28	63.6%	23	60.5%	24	60.0%		75	61.5%	
過去6ヶ月間がない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。										
ある	11	25.0%	6	15.8%	6	15.0%		23	18.9%	0.50
ない	30	68.2%	31	81.6%	33	82.5%		94	77.0%	
過去6ヶ月間がない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。										
ある	2	4.5%	1	2.6%	5	12.5%		8	6.6%	0.31
ない	39	88.6%	36	94.7%	34	85.0%		109	89.3%	
過去6ヶ月間がない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。										
ある	3	6.8%	0	0.0%	3	7.5%		6	4.9%	0.37
ない	38	86.4%	37	97.4%	36	90.0%		111	91.0%	
過去6ヶ月間がない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。										
ある	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%		1	0.8%	0.53
ない	40	90.9%	37	97.4%	39	97.5%		116	95.1%	
過去6ヶ月間がない	3	6.8%	1	2.6%	1	2.5%		5	4.1%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況										
非常用	11	25.0%	7	18.4%	5	12.5%		23	18.9%	0.61
常用	24	54.5%	23	60.5%	28	70.0%		75	61.5%	
過去6ヶ月間がない	9	20.5%	8	21.1%	7	17.5%		24	19.7%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%		122	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート		ID使用				ID不使用					合計	
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布					
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。													
とてもよく知っている	241	24.3%	132	25.9%	86	20.8%					459	24.0%	0.02
具体的には知らないが、聞いた	613	61.8%	329	64.5%	259	62.6%					1,201	62.7%	
まったく知らない	138	13.9%	49	9.6%	69	16.7%					256	13.4%	
合計	992	100.0%	510	100.0%	414	100.0%					1,916	100.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図													
服薬したくない/どちらかといえば	5	11.4%	10	26.3%	3	7.5%					18	14.8%	0.05
服薬したい/どちらかといえば	39	88.6%	28	73.7%	37	92.5%					104	85.2%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験													
ない	41	93.2%	35	92.1%	37	92.5%					113	92.6%	0.98
ある	3	6.8%	3	7.9%	3	7.5%					9	7.4%	
合計	44	100.0%	38	100.0%	40	100.0%					122	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）													
梅毒	9	20.5%	4	10.5%	6	15.0%					19	15.6%	0.46
A型肝炎	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%					1	0.8%	0.41
B型肝炎	2	4.5%	2	5.3%	3	7.5%					7	5.7%	0.83
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
クラミジア	7	15.9%	1	2.6%	2	5.0%					10	8.2%	0.06
尖圭コンジローマ	4	9.1%	0	0.0%	4	10.0%					8	6.6%	0.14
淋病	5	11.4%	1	2.6%	2	5.0%					8	6.6%	0.25
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
赤痢アメーバ	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%					1	0.8%	0.41
毛じらみ	8	18.2%	11	28.9%	10	25.0%					29	23.8%	0.51
性器ヘルペス	0	0.0%	2	5.3%	1	2.5%					3	2.5%	0.31
その他	1	2.3%	2	5.3%	0	0.0%					3	2.5%	0.32
いずれもない	20	45.5%	21	55.3%	23	57.5%					64	52.5%	0.50
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）													
アプリ広告で知った			14	56.0%	13	54.2%	2	50.0%	15	71.4%	44	59.5%	0.73
インターネットで知った			2	8.0%	2	8.3%	1	25.0%	5	23.8%	10	13.5%	0.54
コミュニティセンターで知った			9	36.0%	2	8.3%	0	0.0%	1	4.8%	12	16.2%	0.06
ゲイバーで知った			1	4.0%	2	8.3%	0	0.0%	1	4.8%	4	5.4%	0.91
友達から聞いた			3	12.0%	4	16.7%	0	0.0%	1	4.8%	8	10.8%	0.74
その他			0	0.0%	2	8.3%	1	25.0%	0	0.0%	3	4.1%	0.18
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。													
簡単だった			15	60.0%	13	54.2%	1	25.0%	14	66.7%	43	58.1%	0.81
どちらでもない			3	12.0%	3	12.5%	1	25.0%	2	9.5%	9	12.2%	
難しかった			6	24.0%	7	29.2%	1	25.0%	4	19.0%	18	24.3%	
無回答			1	4.0%	1	4.2%	1	25.0%	1	4.8%	4	5.4%	
合計			25	100.0%	24	100.0%	4	100.0%	21	100.0%	74	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。													
回答した			25	100.0%	23	95.8%	0	0.0%	17	81.0%	65	87.8%	<0.01
していない			0	0.0%	0	0.0%	3	75.0%	2	9.5%	5	6.8%	
無回答			0	0.0%	1	4.2%	1	25.0%	2	9.5%	4	5.4%	
合計			25	100.0%	24	100.0%	4	100.0%	21	100.0%	74	100.0%	

令和3年 沖縄地域MSMを対象と した予防啓発活動



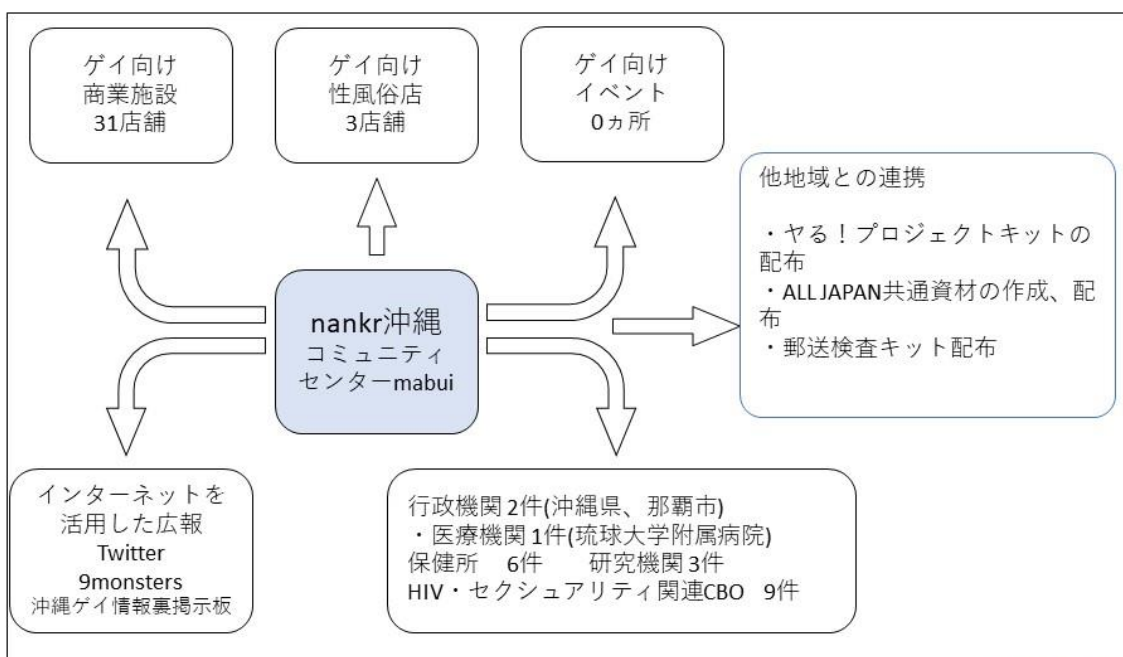
地域の商業施設数と連携数

2021年12月19日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率 (カバー率)
ゲイバー	31	31	100(MIX店抜き)
有料ハッテン場	3	3	100
ゲイナイト	0コロナ禍で年度内全て中止	0	(MIX抜き)
ウリ専	?	1	-
ゲイショップ	0	0	-
サウナ・ホテル	0	0	-
マッサージ	?	10	-
ゲイ雑誌	0	0	-
スマホアプリ	?	2(9mon/blued)	-
ウェブサイト	?	1(裏掲示板)	-
ゲイサークル	コロナ禍で大会等ほぼ中止	2(テニス、バレーボール大会)	-(開催予定の大会に随時声をかけている)
その他 ()			



普及啓発活動の状況



nankr
-okinawa-

mabuiパーティー

プログラムの目的・必要性：HIV感染症・エイズに関心のない層に対して、MSMが関心のあるアイテムや食べ物などをテーマとしてパーティ形式でイベントを行い、センターの周知及び初来館者を促進する目的で実施した。
また、医療色が強く保健所のようなイメージを持たれることも多いため、ゲイの居場所感を強める目的で実施した。

対象となる人や施設：

予算：コミュニティセンター事業費/寄付金

その他の投入資源：

実施内容：ケーキやジュースの寄付をたくさん頂き、SNSにも上げて話題性を高めた。

新規の来場者が来たり、久しぶりの来場者もいた。

結果：

実施日時) 2021/10/31(土)、2021/12/25(土)(LTと活動報告会も同時開催)

参加者数 or 配布数 or アクセス数) 6名,11名

実施した反応) 「久しぶりに参加できてよかった/初めてだったけど緊張しないで楽しめた」

nankr
-okinawa-



ハロウィンパーティー



クリスマスパーティー



6

活動報告会(クリスマスパーティと同時開催)

プログラムの目的・必要性：センターを利用して実施したプログラム及び調査研究等の結果をゲイコミュニティや協力関連機関等に還元し、課題を共有する
対象となる人や施設：センターに来所したMSM
予算：コミュニティセンター事業費



実施内容)：作成したスライドをもとに今年度のプログラムの実施状況や研究結果等を来場者に説明した。



結果：
実施日時) 2021/12/25(土)(LTと活動報告会も同時開催)
参加者数 or 配布数oアクセス数) 11名
実施した反応)「何気なく普段来ていたけどいろいろなプログラムをしていることがわかった」「ナマ派が増えていることを初めて知った」

nankr
-okinawa-

Living Together café in Ryukyu

(クリスマスパーティと同時開催)

プログラムの目的・必要性：Living Together計画が発行しているHIV陽性者やその周囲の人たちによる手記を来場者に朗読してもらうとともに、なぜその手記を選んだのかなど、自分が感じているHIV感染症・エイズについて話をしてもらう。また、陽性者の存在を可視化し、リアリティを伝えて受検行動と予防行動を促進する。
対象となる人や施設：センターに来所したMSM
予算：コミュニティセンター事業費



実施内容)：事前に用意した手記を来場者に朗読し、感想を共有してもらった。



結果：
実施日時) 2021/12/25(土)(LTと活動報告会も同時開催)
参加者数 or 配布数oアクセス数) 11名
実施した反応)「HIVについて考える機会になった」「社会の中でHIV陽性者が差別されていることがわかった」「自分が陽性者の立場になったときどうなるか想像する事ができた」

nankr
-okinawa-

コミュニティペーパー『nankr』の発行

HIV感染症・エイズの情報やコミュニティセンターmabui、保健所の情報を伝え、予防啓発や検査促進を促した。また、沖縄県内MSM向け商業施設の情報も掲載し、MSMの手に取りやすくした。
配布場所については、沖縄県MSM向け商業施設、沖縄県外MSM向け商業施設、MSM向けイベント会場、各地のコミュニティセンターなど

・新型コロナウイルス等の影響を受けて県内MSM向け商業施設の営業状況が大きく変わったため、商業施設の情報(営業状況、開店時間、定休日等)を整理して発行予定。

結果：
発行数) 2000部



nankr
-okinawa-

オリジナルコンドームの作成

プログラムの目的・必要性：沖縄県内のMSMは実家暮らしが多いため、なかなかゲイ的要素の多いパッケージは持ち帰りづらく、また県外からのMSMが観光などで多く訪れることからその方たちにもお土産感覚で持ち帰るように沖縄の風景画像をパッケージデザインとして配布を行ってきた。そのコンドームは沖縄のMSMコミュニティでも評判がよく継続していく。

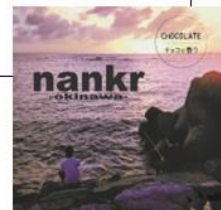
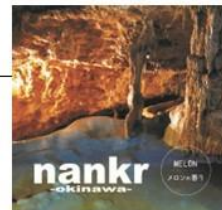
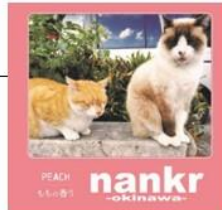
対象となる人や施設：沖縄県MSM向け商業施設39施設、MSM向けイベント会場他
予算：コミュニティセンター事業費

実施内容)：

- ・現在作成中
- ・今年度は4種類のデザインのうち1デザインを無地とし、メッセージや絵を描くなどデザインできるようにする予定。

結果：

作成数：16000個



nankr
-okinawa-

コンドームアウトリーチ

プログラムの目的・必要性：セーフアークスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。

対象となる人や施設：沖縄県MSM向け商業施設39施設、MSM向けイベント会場他

予算：コミュニティセンター事業費



実施内容)：

毎月第1第3金曜日に(沖縄市は月1回)、お揃いのユニフォームを着て、桜坂を中心としたゲイバーにコンドームやその他の啓発資材を配布した。



結果：

配布数：2,182個

コンドームアウトリーチ



- ・ 11/1～沖縄県内MSM向け商業施設に再び配布再開
- ・ 離島のMSM向け商業施設には郵送している

12.やる！プロセットの配布

継続：〇年から

プログラムの目的・必要性：若年層MSMやゲイ向け性風俗店利用者へ向けたセーフセックス（コンドーム使用）の促進

対象となる人や施設：沖縄県MSM向け商業施設39施設、MSM向けイベント会場他

予算：コミュニティセンター事業費/
その他の投入資源：

実施内容（資材展開 / WEB展開 / 資材・WEB展開）：

- ・MSM向け商業施設(ゲイバー)にて配布。
- ・11/28(日)開ぐるくんカップ(テニス大会)100個
- ・3月末しーじゃーカップで配布予定
- ・クラブイベントでの配布は年度内はすべて中止



結果：

実施日時)

参加者数 or 配布数 or アクセス数) 264個

実施した反応) ポケットサイズで持ち運びやすい、お客さんが喜ぶからいっぱいおいてほしい

nankr
-okinawa-

郵送検査キットの配布会

沖縄で受け取れる！

ゆうそう検査

Men only
梅毒&HIV
無料・匿名

キットを受け取るためには…

期間：10/7(木)～12/27(月)

①mabuiで直接!

②電話で (098-862-0114)

③メールで (office@nankr.jp)

郵便局や自宅でも受け取れます！
なくなり次第配布も中止します。

・新型コロナウイルス感染症による県内保健所の検査業務の停止や以前から指摘されている保健所でのHIV検査のハードルの高さから、MSMのHIV検査機会の拡充を目的として研究費で郵送検査キットの配布を行った。(広報は事業費)

・10/1(木)からHIV郵送検査キットの配布を開始。

・対面での受け取りを中心としたが、離島在住者や身バレ不安の声も多かったため、郵送受取も受け付けた。

・9monstersで(10/1-10/14)広報を行った

・11/4～県内商業施設での広報を行った(離島地域には郵送した)

・9monstersにて(12/13-12/27)でビジュアルを変えて配布終了の広報を行った。

・12/17～県内MSM向け商業施設での広報を行った(離島地域には郵送した)

nankr
-okinawa-

15. 沖縄県中部地域での郵送検査キット配布会

#MEN ONLY
#無料・匿名
#梅毒&HIV
#予約不要

ゆうそう
検査

沖縄市で
検査キットが受け取れる!

日付: 2021年12月26日(SUN)
時間: 14時~21時
場所: 沖縄市男女共同参画センター会議室(3F)
問い合わせ先
メール: office@nankr.jp
電話: 098-862-0114
※男女共同参画センターへの連絡はご遠慮ください

・主に沖縄県中北部在住MSMの方を対象とし、県内中部地域でのHIV検査キットの配布を企画

・9monstersでも広報を開始(12/14-12/26)
・県内MSM向け商業施設でも広報を開始(12/17-)

・当日配布数(14個)
・「説明がわかりやすくてよかった」
・「コロナで中北部で検査が受けられる場所が探せなかったのがよかった」
・「職場だと検査が受けづらいのがよかった」
・「対面だったので安心できた」

nankr
-okinawa-

講座キャス

モイ! iPadからキャス配信中 -



・HIVをはじめとする性感染症に関する情報提供や、HIV検査の受検勧奨等を行った。

総閲覧者(のべ人数): 629人、総コメント数: 502件

総配信時間: 19時間33分

- ・心理学的にゲイについて学べて興味深かった
- ・mabuiやHIVの情報が知れた
- ・コメントでチャット形式で相談することができた。

nankr
-okinawa-

TwitCasting(動画配信)でのオンライン開館



- ・緊急事態宣言中は木曜日、金曜日にTwitcastingでオンライン開館(動画配信)を行った。
- ・通常開館時も隔週日曜21:00～動画配信を行っている。
- ・総閲覧者(のべ人数)：3,691人(今年度)、通知登録者：494人(累計)
- ・総配信時間：194時間49分、総コメント数：8,9414件
- ・スタッフに慣れてmabuiに来るキッカケとなった
- ・スタッフの仲の良さが伝わって楽しい



琉球大学病院との連携①



- ・県内医療機関の検査情報のステッカーとシールを作成
- ・MSM向け商業施設(ゲイバー、ハッテン場)に配布
- ・離島地域には郵送した。

琉球大学病院との連携②

2021-2022
沖縄限定

MEN ONLY 匿名検査
マルっと!! スバッと!!
クリニック 1000円検査

HIVと梅毒
今なら検査が1000円

※検査期間:1月4日~1月31日
※予約期間:12月1日~1月17日まで
※予約枠に達しますと受付を終了いたします

場所

- ・アドベンチストメディカルセンター
- ・なしおハルフクリニック
- ・中部徳州会病院
- ・名嘉病院
- ・クリニックおもろまち

ご予約はこちらから!
<https://men-kensa.com/>

- ・MSMの検査機会拡充を目的として、昨年度に引き続き、1000円で受検できるクリニックでのHIV検査キャンペーンを開催。
- ・琉球大学病院が主催で、5つの協力医療機関で実施
- ・9monterでも広報を開始(12/1-12/14)
- ・12/15時点で当初の予約枠が全て埋まり、追加で50枠増やした。

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
金子典代, 塩野徳史	コミュニティセンターに来場する ゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度 と HIV 検査経験, コンドーム使用 との関連	日本エイズ 学会誌	23(2)	78-86	2021
宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代	MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランス ジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考 察-ハッテン場利用経験のある女装 者 2 名の事例から	日本エイズ 学会誌	23(1)	18-25	2021
金子典代, 塩野徳史	MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義	日本エイズ 学会誌	22(3)	136-146	2020
Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa	Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan	AIDS Care		DOI: 10.1080 /095401 21.2020. 1837339	2020
Nakagiri I, Wada H.	A Follow up Study on False- Positive Preoperative HIV Test Results.	Health Science Journal.	14: 713	DOI: 10.3664 8/1791- 809X.14 .2.713	2020
Nanako Oshiro KK, Shoji Tsuneyoshi, Masao Tateyama, Ryo Zamami, Hitoshi Uehara, Jiro Fujita and Yusuke Ohya	Changes in serum concentration of rilpivirine in an HIV-infected patient treated with a combination therapy of hemodialysis and peritoneal dialysis.	Renal Replacement Therapy.	6. 33.		2020.

Nakamura H, Tateyama M, Tasato D, et al.	Human immunodeficiency virus-associated pulmonary sarcoidosis in a Japanese man as a manifestation of immune reconstitution inflammatory syndrome.	Clinical case reports.	8:	3440-4.	2020
金子典代,塩野徳史, 本間隆之,岩橋恒太, 健山正男,市川誠一	地方都市在住の MSM(Men who have sex with men)における調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因	日本エイズ学会誌	21(1)	34-44	2019.2
塩野徳史,市川誠一, 金子典代,佐々木由理	都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性	厚生指標	65(5)	35-42	2018.5
金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政弘, 健山政男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市川誠一	成人男性の HIV 検査受検,知識,HIV 関連情報入手状況, HIV 陽性者の身近さの実態 - 2009 年調査と 2012 年調査の比較-	日本エイズ学会誌	19(1)	16-23	2017

厚生労働大臣 殿

機関名 大阪青山大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 久田 敏彦

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業2. 研究課題名 MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究3. 研究者名 (所属部署・職名) 健康科学部 看護学科 准教授(氏名・フリガナ) 塩野 徳史・シオノ サトシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	大阪青山大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 4年 3月 14日

厚生労働大臣 殿

機関名 公立大学法人 名古屋市立大学

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 郡 健二郎

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業

2. 研究課題名 MSMに対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究 (20HB1006)

3. 研究者名 (所属部局・職名) 大学院看護学研究科・准教授

(氏名・フリガナ) 金子典代・カネコ ノリヨ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	名古屋市立大学大学院 看護学研究科	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 4年 3月 14日

厚生労働大臣 殿

機関名 川崎医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 福永 仁夫

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
2. 研究課題名 MSMに対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究 (20HB1006)
3. 研究者名 (所属部局・職名) 医学部・教授
(氏名・フリガナ) 和田 秀穂・ワダ ヒデホ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	名古屋市立大学大学院 看護学研究科	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人琉球大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 西田 睦

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業

2. 研究課題名 MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学研究科・准教授

(氏名・フリガナ) 健山 正男 (タテヤマ マサオ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	琉球大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。